

独立行政法人 農畜産業振興機構 御中

平成 27 年度

# 牛乳・乳製品の消費動向に関する調査

## 報告書

独立行政法人 農畜産業振興機構

## 目次

調査概要	1
調査結果	6
I. 白もの牛乳類の飲用実態	7
1. 白もの牛乳類の飲用頻度	7
(1) 白もの牛乳類の飲用頻度	7
(2) 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度	9
(3) 他のものと混ぜて飲む頻度	10
(4) 季節による変動	11
2. 白もの牛乳類の飲用量	14
3. 白もの牛乳類の飲用シーン	17
4. 白もの牛乳類の飲用理由	19
II. この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識	21
1. 飲み方別飲用量の増減	21
(1) そのまま飲む量の増減	21
(2) 混ぜて飲む量の増減	22
(3) 全体での増減	23
2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因	26
3. 白もの牛乳類の飲用意向	29
III. 白もの牛乳類の購入実態	31
1. 白もの牛乳類の購入頻度	31
2. 白もの牛乳類の購入量	33
3. 白もの牛乳類を購入する人	34
4. 白もの牛乳類の買い方の変化	35
5. 主に購入している白もの牛乳類	36
6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由	37
IV. 普段よく飲む飲み物	38
1. 普段よく飲む飲み物	38
2. 普段もっともよく飲む飲み物	39
V. 白もの牛乳類を使った料理の実態	41
1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動	41
2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理	46
VI. 乳製品の飲食実態	48
1. ヨーグルトの飲食状況	48
(1) ヨーグルトの飲食頻度	48
(2) ヨーグルトの飲食量	49
(3) ヨーグルトのタイプ	50
2. チーズの食用状況	52
(1) チーズを食べる頻度	52
(2) チーズを食べる量	53
(3) チーズ料理	54
(4) チーズを購入する人	57
(5) 購入するチーズのタイプ	58
(6) ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況	59
(7) 普段チーズを購入する時に意識すること	61
(8) チーズの購入場所	65

3. バターの食用状況 .....	66
(1) バターの購入頻度 .....	66
(2) バターを購入するときに意識すること .....	67
(3) バターの使い方 .....	68
(4) バターについての評価 .....	69
(5) バターがない時に使うもの .....	70
(6) バターの購入意向 .....	71
VII. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識 .....	73
1. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識 .....	73
2. 見聞きしたことのある白もの牛乳類のベネフィット .....	74
3. 白もの牛乳類についてのニーズ .....	75
VIII. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向 .....	77
1. 我が国の人口動向 .....	77
2. 諸外国の消費動向 .....	80
調査票、参考資料 .....	81

## 調査概要

# 調査概要

## 1. 調査目的

近年の飲用牛乳などの消費が減少していることを踏まえ、酪農・乳業の安定的発展を図る観点から、飲用牛乳を中心とした消費拡大を推進することが必要である。

このため、全国（沖縄県を除く）の中学生から後期高齢者までの消費者を対象としてアンケート調査を実施し、牛乳・乳製品の消費・購入・嗜好などに関する基本的な調査項目について、地域・年代などに偏りが生じないように調査設計した上で、消費構造の変化や消費動向を把握し、牛乳・乳製品の消費拡大に向けた取り組みなどに役立つ情報を得ることとした。

調査結果については、基本的な調査項目に関してクロス集計、時系列集計などを用いて考察する。また、直近 11 年間（平成 16 年度～）のデータ（過去データは、機構から提供）と併せ、これからの我が国の人口動向、諸外国の消費動向などを考慮した上で、今後 10 年程度の牛乳・乳製品の長期的な消費動向などについて簡易に見通すとともに、誰がいつどのような食べ方で牛乳・乳製品を消費し、牛乳を飲まない人を含め、どのようにすれば牛乳・乳製品の消費拡大につながるかなどについて明らかにすることとする。

## 2. 調査方法

■留置併用訪問面接法により、本人が調査票に回答

## 3. 調査内容

- (1) 白もの牛乳類の飲用実態
- (2) この 1 年間の白もの牛乳類の飲用量の変化
- (3) 白もの牛乳類の購入実態
- (4) 普段よく飲む飲み物
- (5) 白もの牛乳類を使った料理の実態
- (6) 乳製品の飲食実態
- (7) 白もの牛乳類のベネフィットについての認識

## 4. 調査対象者

■全国の中学生以上の男女個人 3200 人（回収ベース）

## 5. 抽出方法(エリアサンプリング)

■平成 22 年国勢調査時の母集団人口に基づき、地域（9 分類）と都市規模（5 分類）により層化し、調査地点数を比例配分する。各層ごとに大字・町丁目の該当人口に応じて、調査地点を抽出する。各調査地点において、世帯（居住者のいる一般世帯住宅住戸）を系統抽出する。世帯から個人の抽出は、性・年齢別の割当てに従って、訪問世帯において対象者条件に適合する個人を抽出した。

## 6. サンプル設計について

■消費動向調査では、平成19年度（2007年度）まで、地域（9分類）・都市規模（5分類）および性・年齢別の人口構成を反映したサンプル設計を行なってきた。そのため、若年層においては、回収サンプル数が少なく、性・年齢別の分析を行なうには十分ではなかった。

平成20年度（2008年度）から、性・年齢の層別にも十分な分析を行なえるよう、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てるクォータ法により調査を実施している。

## 7. ウェイト集計の実施

■本年度調査では、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てる方法を採用したため、回収サンプル構成は、母集団である平成22年度国勢調査人口を反映していない。そのため、サンプルごとに人口構成に応じたウェイト値を与えて集計し、サンプル構成を補正した。本報告書で記載しているサンプル数は実際に回収されたサンプル数であるが、構成比（%）はウェイト集計後の値である。

## 8. 調査地域

■回収サンプルの地域別内訳は下記の通り（沖縄除く）。

### 【地域】

地域	回収数	構成比（%）
北海道	128	4.0
東北	208	6.5
関東	1,256	39.3
東海	392	12.3
北陸	72	2.3
近畿	544	17.0
中国	192	6.0
四国	88	2.8
九州	320	10.0
計	3,200	100.0

### 【都市規模】

都市規模	回収数	構成比（%）
大都市	1,008	31.5
15万人以上	1,096	34.3
5～15万人未満	848	26.5
5万人未満の市	248	7.8
計	3,200	100.0

## 9. 調査期間

■平成27年（2015年）10月24日～11月29日

## 10. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

■この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。

■択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。

■「SA」の表記は単一回答、「MA」の表記は複数回答、「n」はサンプル数を示す。

■表示されているサンプル数は実際の回収サンプル数、構成比（%）はウェイト集計後の数値である。

■なお、図表および本文中の年度表記は西暦とした。

## 11. 回答者プロフィール

### 【性別（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	1,600	50.0
2	女性	1,600	50.0
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

### 【年齢（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	12～15歳	401	12.5
2	16～19歳	399	12.5
3	20～24歳	208	6.5
4	25～29歳	192	6.0
5	30～34歳	165	5.2
6	35～39歳	235	7.3
7	40～44歳	200	6.3
8	45～49歳	200	6.3
9	50～54歳	184	5.8
10	55～59歳	216	6.8
11	60～64歳	178	5.6
12	65～69歳	222	6.9
13	70歳以上	400	12.5
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

### 【未既婚（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	未婚	1,287	40.2
2	既婚	1,860	58.1
3	その他	53	1.7
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

### 【子供の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	子供はいる	1,721	53.8
2	子供はいない	1,469	45.9
	不明	10	0.3
	全体	3,200	100.0

### 【職業（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林漁業	16	0.5
2	商工サービス業	168	5.3
3	自由業	72	2.3
4	内職	3	0.1
5	管理職	110	3.4
6	専門・技術職	310	9.7
7	事務職	207	6.5
8	労務職	128	4.0
9	販売・サービス職	191	6.0
10	パート・アルバイト	367	11.5
11	専業主婦	447	14.0
12	中学生	400	12.5
13	高校生	297	9.3
14	中高生以外の学生	156	4.9
15	無職	326	10.2
	不明	2	0.1
	全体	3,200	100.0

### 【学校や職場の給食・食堂の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	給食がある	401	16.6
2	給食はないが、食堂を利用	431	17.8
3	どちらも無い	1,560	64.4
	不明	30	1.2
	(非該当)	(778)	
	全体	2,422	100.0

### 【同居家族人数（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	1人（ひとり暮らし）	240	7.5
2	2人	652	20.4
3	3人	696	21.8
4	4人	957	29.9
5	5人	408	12.8
6	6人	175	5.5
7	7人以上	65	2.0
	不明	7	0.2
	全体	3,200	100.0

### 【回答者の調理等の役割（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	料理する	1,088	36.8
2	食料品の買物をする	1,092	37.0
3	どちらもしていない	1,672	56.6
	不明	11	0.4
	(非該当)	(247)	
	全体	2,953	100.0

### 【家族構成（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	夫婦2人	516	17.5
2	二世世代世帯	2,003	67.8
3	三世世代世帯	395	13.4
4	その他	37	1.3
	不明	2	0.1
	(非該当)	(247)	
	全体	2,953	100.0

### 【同居家族する子供（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	乳児・幼児	425	17.5
2	小学生	598	24.6
3	中学生	431	17.7
4	高校生	390	16.0
5	大学・短大・専門学校生	272	11.2
6	この中にはいない	893	36.7
	不明	4	0.2
	(非該当)	(765)	
	全体	2,435	100.0

## 12. 主な分析軸

【性別、性年代別、地域別】

		カテゴリー名	n	%
性別	男性		1,600	50.0
	女性		1,600	50.0
男性×年代	男性-中学生		200	6.3
	男性-10代（中学生除く）		200	6.3
	男性-20代		200	6.3
	男性-30代		200	6.3
	男性-40代		200	6.3
	男性-50代		200	6.3
	男性-60代		200	6.3
	男性-70代以上		200	6.3
女性×年代	女性-中学生		200	6.3
	女性-10代（中学生除く）		200	6.3
	女性-20代		200	6.3
	女性-30代		200	6.3
	女性-40代		200	6.3
	女性-50代		200	6.3
	女性-60代		200	6.3
	女性-70代以上		200	6.3
地域別	北海道		128	4.0
	東北		208	6.5
	関東		1,256	39.3
	東海		392	12.3
	北陸		72	2.3
	近畿		544	17.0
	中国		192	6.0
	四国		88	2.8
	九州		320	10.0
	不明		0	0.0
	全体		3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用頻度】

No.	カテゴリー名	n	%
1	飲用者・計	2,666	83.3
2	毎日飲用	1,097	34.3
3	週1～6日飲用	1,166	36.4
4	月に2～3日以下飲用	403	12.6
5	非飲用者	534	16.7
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用量増減】

No.	カテゴリー名	n	%
1	この1年間に飲用量増加計	217	6.8
2	この1年間に飲用量変化なし	2,143	67.0
3	この1年間に飲用量減少計	381	11.9
4	牛乳は元々飲まない	459	14.3
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

## 調査結果

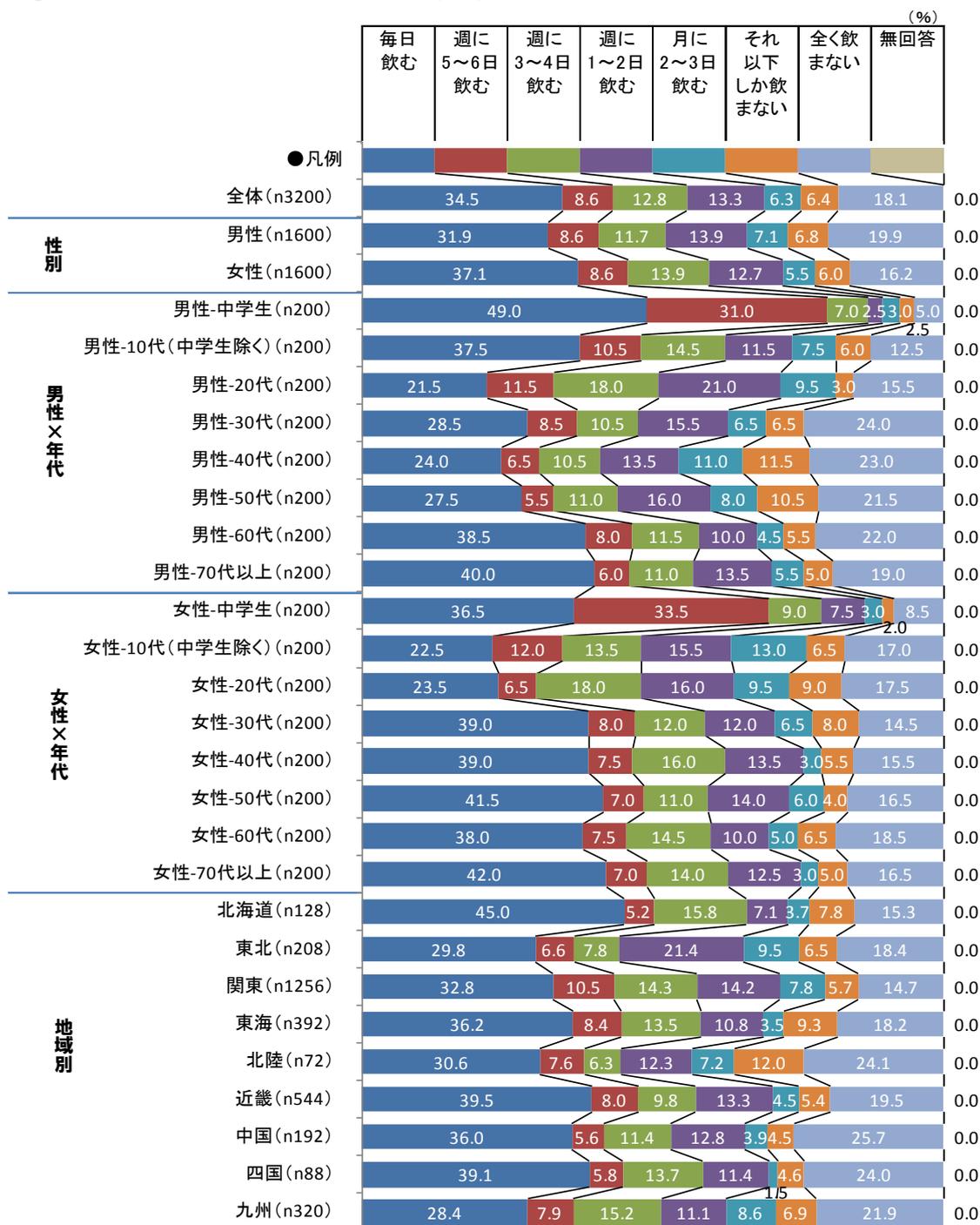
# I. 白もの牛乳類の飲用実態

## 1. 白もの牛乳類の飲用頻度

### (1) 白もの牛乳類の飲用頻度

- コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲んだり、シリアルなどにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」は全体で35%となり、一方で「全く飲まない」は18%であった。
- 性別では、女性で「毎日飲む」が37%で、男性よりも5ポイント高い。
- 性年代別では、男子中学生で「毎日飲む」が49%と最も高くなっている。その他、男性70代以上、女性50代、女性70代以上で「毎日飲む」が4割以上と高い一方で、男性20代や40代、女性の10代や20代では「毎日飲む」が22~24%と低くなっている。
- 地域別では、北海道で「毎日飲む」が4割以上と高い。

【図表 I-1-1】 性・年代別・地域別 問1 白もの牛乳類を飲む頻度 (SA)



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

■白もの牛乳類の飲用頻度の時系列変化をみると、2015年度の平均(日/週)は3.6日で、昨年度の3.4日を上回り、2011～2013年度の水準に戻している。白もの牛乳類の飲用機会は、依然として週7日の半分程度が現状である。

【図表 I-1-2】時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)

	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む*	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
1987年	4,664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0
1988年	4,604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1989年	4,579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1990年	4,691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1991年	4,714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1992年	4,651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1993年	4,553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1994年	4,617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1995年	4,668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1996年	4,706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1997年	4,547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1998年	4,472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1999年	4,476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
2000年	4,632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
2001年	4,778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2002年										
2003年	4,177	41.8	11.2	14.5	10.7	6.1	5.5	10.3	0.0	4.3
2004年	4,177	40.1	9.6	14.0	11.6	7.5	6.4	10.8	0.0	4.1
2005年	3,896	39.5	9.8	15.5	11.9	7.2	6.0	10.2	0.0	4.1
2006年	3,478	37.7	9.5	13.5	12.0	7.0	6.5	13.7	0.0	3.9
2007年	3,486	38.5	9.0	13.7	11.5	8.5	6.1	12.7	0.0	3.9
2008年	3,200	36.9	9.3	13.6	12.9	8.2	7.1	12.0	0.0	3.8
2009年	3,200	37.9	7.5	13.7	12.3	8.6	7.4	12.6	0.0	3.8
2010年	3,200	35.8	9.4	11.7	12.7	9.2	8.0	13.3	0.0	3.7
2011年	3,200	35.3	8.6	12.8	13.7	6.8	7.0	15.8	0.0	3.6
2012年	3,200	35.4	7.5	14.8	11.8	8.2	6.5	15.8	0.0	3.6
2013年	3,200	33.4	8.8	14.1	13.1	7.1	7.7	15.8	0.0	3.6
2014年	3,200	32.6	7.9	13.9	11.6	7.4	8.0	18.6	0.0	3.4
2015年	3,200	34.5	8.6	12.8	13.3	6.3	6.4	18.1	0.0	3.6

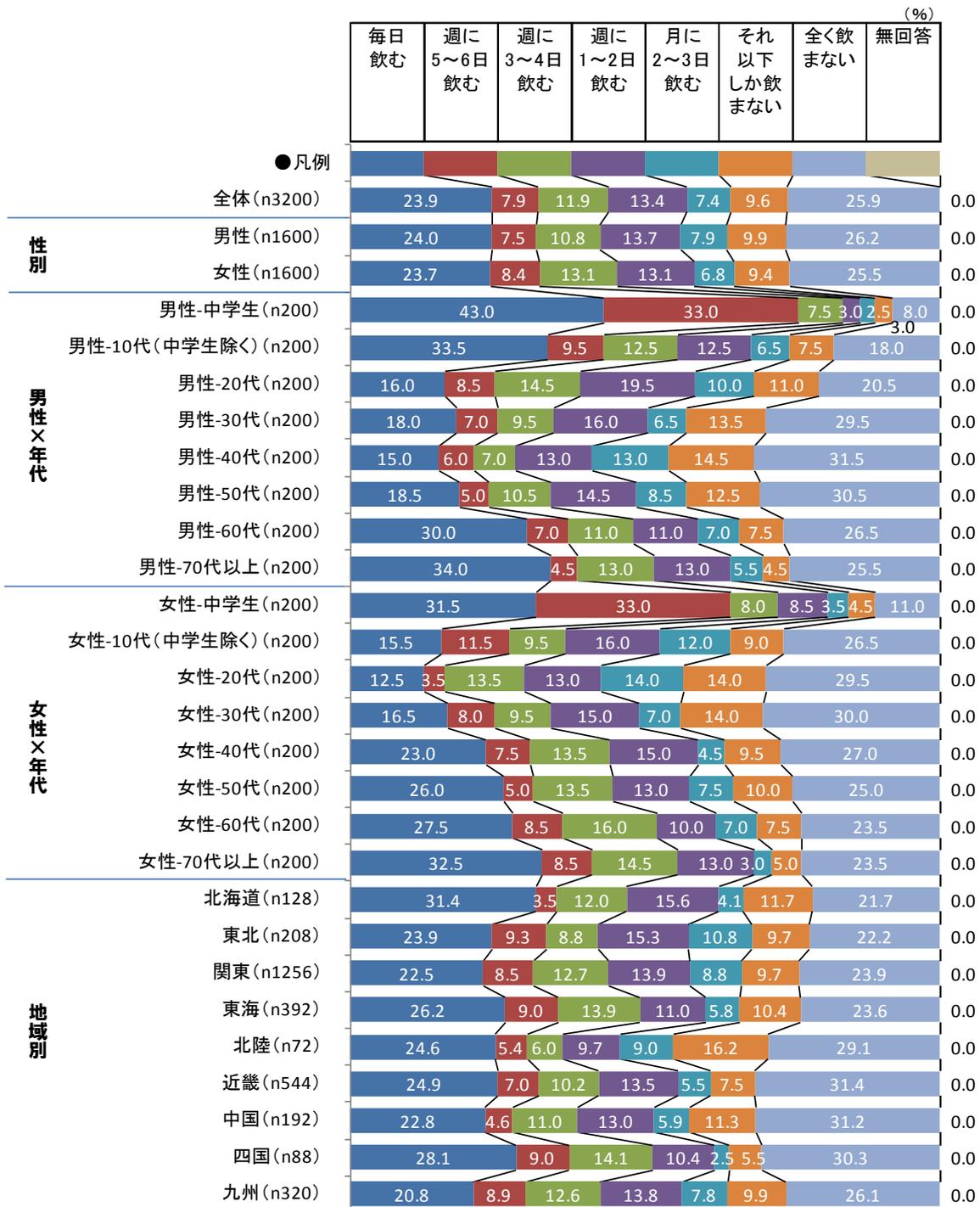
※斜線はデータなし

\* 87～01年は「月に数回飲む」

(2) 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度

- そのまま飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」人は全体の24%で、「全く飲まない」という人も同程度の26%を占めた。
- 性別では「毎日飲む」の割合に大きな差異はみられない。
- 性年代別では、男女中学生で「毎日飲む」割合が高い(男子中学生 43%、女子中学生 32%)。男性では、20~50代で「毎日飲む」割合が2割未満と低調だが、60代から70代以上では3割以上にのぼる。女性は、20代以上で年齢の上昇とともに「毎日飲む」割合が高くなる傾向があり、女性70代以上では30%以上となった。
- 地域別では、「毎日飲む」割合は北海道(31%)や四国(28%)で比較的高い。

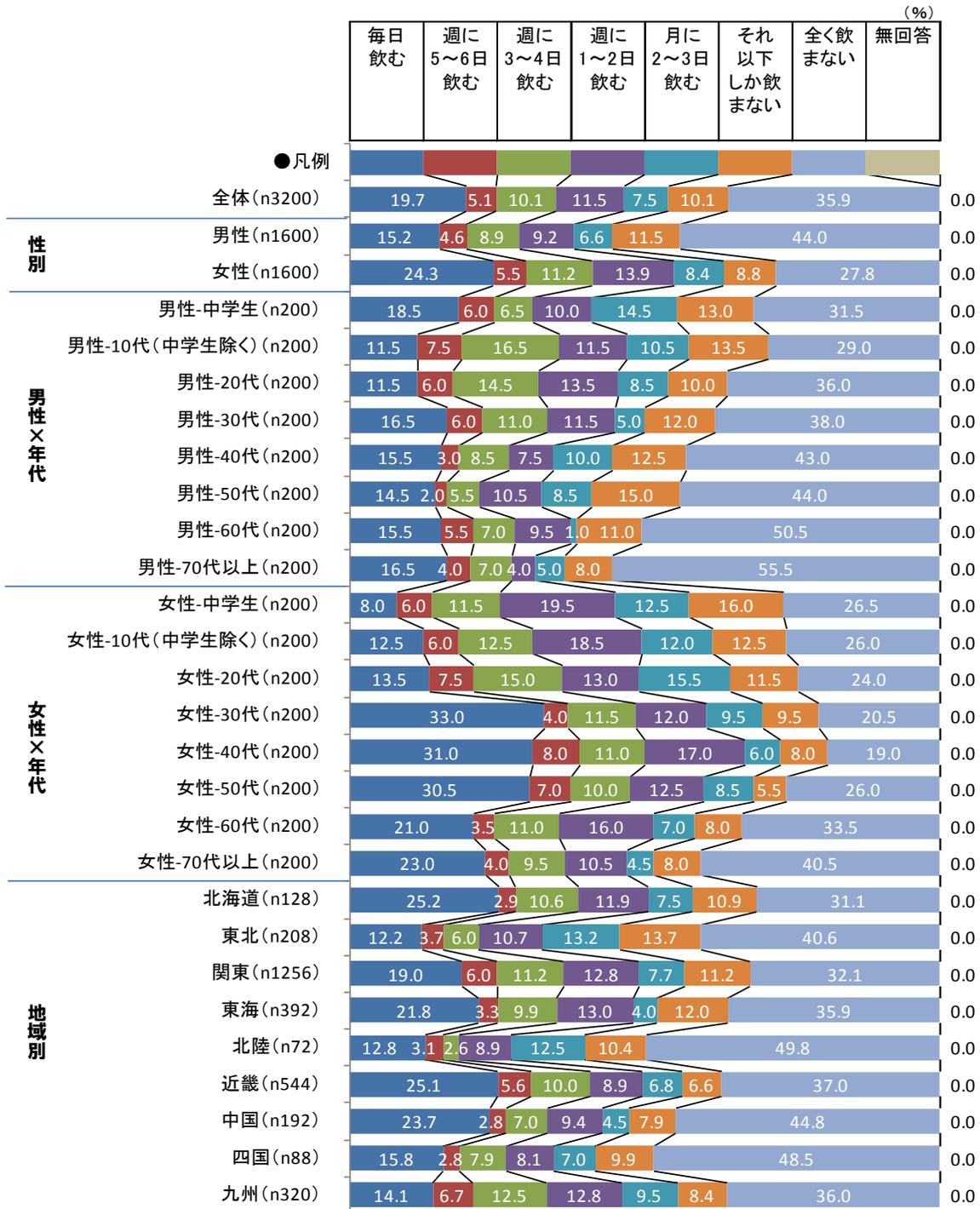
【図表 I-1-3】性・年代別・地域別 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度(年間平均・SA)



(3) 他のもものと混ぜて飲む頻度

- コーヒーや紅茶など他のもものと混ぜて飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」は20%で、「全く飲まない」が36%を占めた。
- 性別では、「毎日飲む」割合は女性で24%となっており、男性よりも9ポイント高い。
- 性年代別では、女性30～50代で「毎日飲む」割合が30%以上と高くなっている。
- 地域別では、「毎日飲む」割合は北海道(25%)、近畿(25%)、中国(24%)でやや高い。

【図表 I-1-4】 性・年代別・地域別 問3 白もの牛乳類を他のもものと混ぜて飲む頻度 (年間平均・SA)

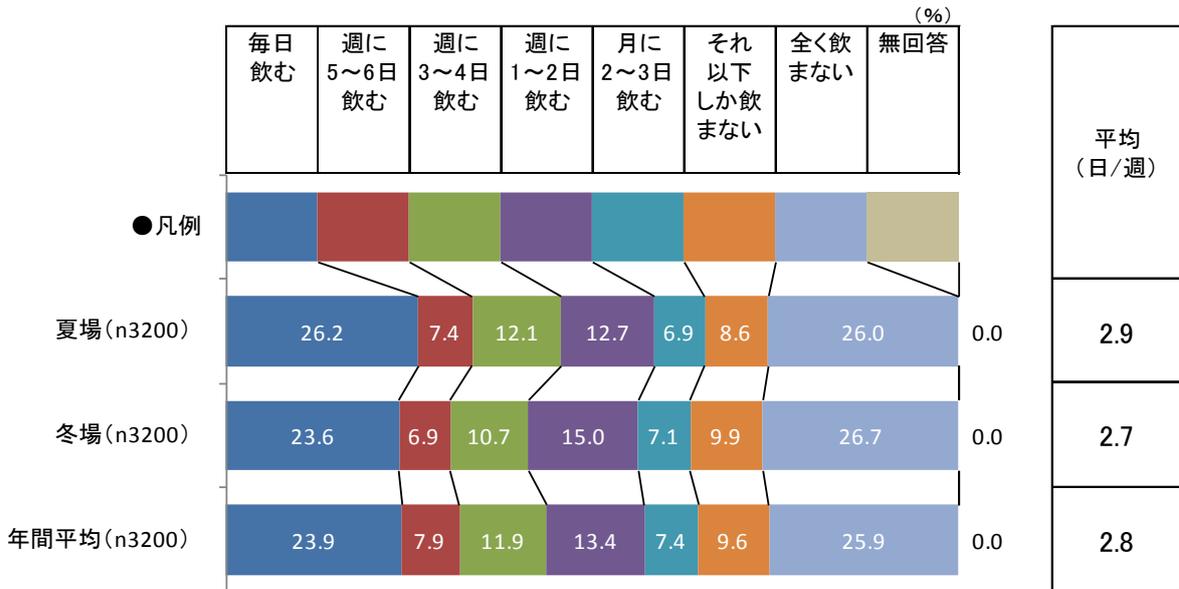


#### (4) 季節による変動

- 白もの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動をみると、そのまま飲む飲み方では、夏場は平均（日/週）2.9日、冬場は平均2.7日となり、夏場の方がやや多く飲まれている。そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が26%と冬場の24%より2ポイント高くなっている。
- 他のものと混ぜて飲む飲み方では、夏場は平均（日/週）2.3日、冬場は2.2日となり、大きな差異はみられない。「毎日飲む」割合も夏場21%、冬場20%と大きな差異はない。
- そのまま飲む飲み方のほうが他のものと混ぜて飲む飲み方より、季節変動による影響がやや大きくなっている。

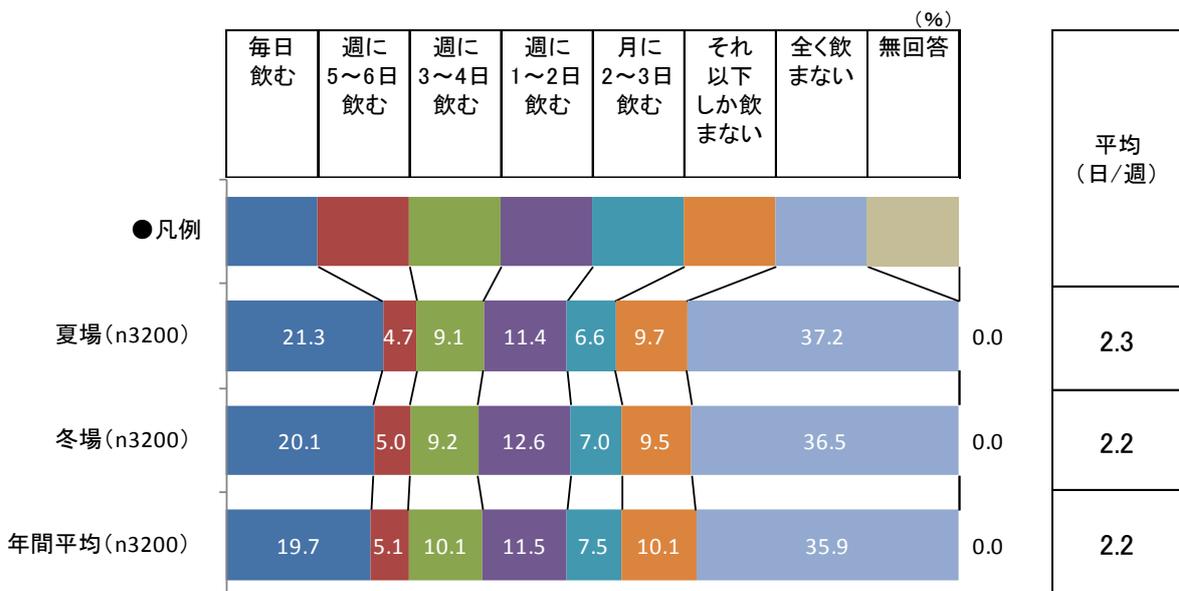
##### <そのまま飲む>

【図表 I-1-5】季節変動／飲み方別 問2 白もの牛乳類の飲用頻度（SA）



##### <他のものと混ぜて飲む>

【図表 I-1-6】季節変動／飲み方別 問3 白もの牛乳類の飲用頻度（SA）



■白もの牛乳類（そのまま飲む）の飲用頻度の時系列変化をみると、2015年度の平均（日/週）は2.8日（年間平均）となり、2014年度を上回った。飲用頻度は依然として低い水準にあるが、わずかながらも拡大がみられる。

【図表 I-1-7】時系列 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
		n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	
夏 場	2004年	4,177	31.7	8.9	14.0	12.6	7.9	7.8	17.2	0.0	3.5
	2005年	3,896	30.5	9.2	14.9	12.9	8.3	8.0	16.0	0.1	3.4
	2006年	3,478	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	0.0	3.2
	2007年	3,486	28.8	7.7	13.6	12.9	9.0	8.3	19.8	0.0	3.2
	2008年	3,200	26.9	8.3	13.0	13.2	10.1	7.9	20.4	0.2	3.1
	2009年	3,200	27.3	6.5	13.3	14.1	9.9	9.7	19.3	-	3.0
	2010年	3,200	25.5	6.9	10.4	13.5	11.0	11.0	21.7	-	2.8
	2011年	3,200	26.8	7.2	11.6	14.0	7.3	9.6	23.5	0.0	2.9
	2012年	3,200	27.0	5.8	13.1	12.8	8.1	8.8	24.4	0.0	2.9
	2013年	3,200	25.2	7.4	11.9	13.0	7.9	10.1	24.6	0.0	2.8
	2014年	3,200	25.6	6.8	11.7	12.0	7.7	10.2	25.9	0.0	2.8
2015年	3,200	26.2	7.4	12.1	12.7	6.9	8.6	26.0	0.0	2.9	
冬 場	2004年	4,177	26.8	7.3	13.4	15.8	9.0	9.5	18.1	0.0	3.1
	2005年	3,896	26.1	7.4	15.1	15.8	8.3	9.5	17.7	0.1	3.1
	2006年	3,478	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	0.0	2.9
	2007年	3,486	25.2	6.8	12.8	15.1	9.0	10.4	20.8	0.0	2.9
	2008年	3,200	23.6	6.9	12.2	15.3	10.5	10.0	21.5	0.1	2.8
	2009年	3,200	24.5	6.3	11.8	15.4	10.5	11.1	20.4	-	2.8
	2010年	3,200	21.7	6.9	9.9	14.6	10.9	12.7	23.3	-	2.6
	2011年	3,200	24.2	6.3	10.9	15.1	7.6	11.0	24.9	0.0	2.7
	2012年	3,200	24.5	5.6	11.9	13.6	9.0	10.7	24.8	0.0	2.7
	2013年	3,200	22.6	6.6	11.6	14.2	8.3	11.5	25.1	0.0	2.6
	2014年	3,200	22.6	6.4	11.4	13.7	7.6	11.5	26.7	0.0	2.6
2015年	3,200	23.6	6.9	10.7	15.0	7.1	9.9	26.7	0.0	2.7	
年 間 平 均	2004年	4,177	27.3	9.3	14.4	14.2	8.9	9.2	16.5	0.2	3.2
	2005年	3,896	26.6	9.3	16.2	13.6	8.9	9.7	15.5	0.2	3.2
	2006年	3,478	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4	3.1
	2007年	3,486	25.3	8.2	14.5	13.2	9.6	9.7	19.3	0.2	3.0
	2008年	3,200	23.9	8.3	13.4	14.2	10.4	9.8	19.6	0.4	2.9
	2009年	3,200	24.7	7.0	13.6	14.0	11.0	10.7	18.8	0.2	2.9
	2010年	3,200	22.0	7.8	11.3	13.8	11.0	13.0	21.0	0.1	2.7
	2011年	3,200	24.2	7.7	11.4	14.3	7.9	11.0	23.5	0.0	2.7
	2012年	3,200	24.6	6.6	13.4	12.3	9.3	9.9	24.0	0.0	2.7
	2013年	3,200	22.8	7.2	12.4	13.9	8.6	11.1	24.0	0.0	2.7
	2014年	3,200	22.9	7.2	12.6	12.3	8.1	11.5	25.4	0.0	2.7
2015年	3,200	23.9	7.9	11.9	13.4	7.4	9.6	25.9	0.0	2.8	

■他のものと混ぜて飲む頻度の2015年度の平均（日/週）は2.2日（年間平均）で、前年度と同様である。

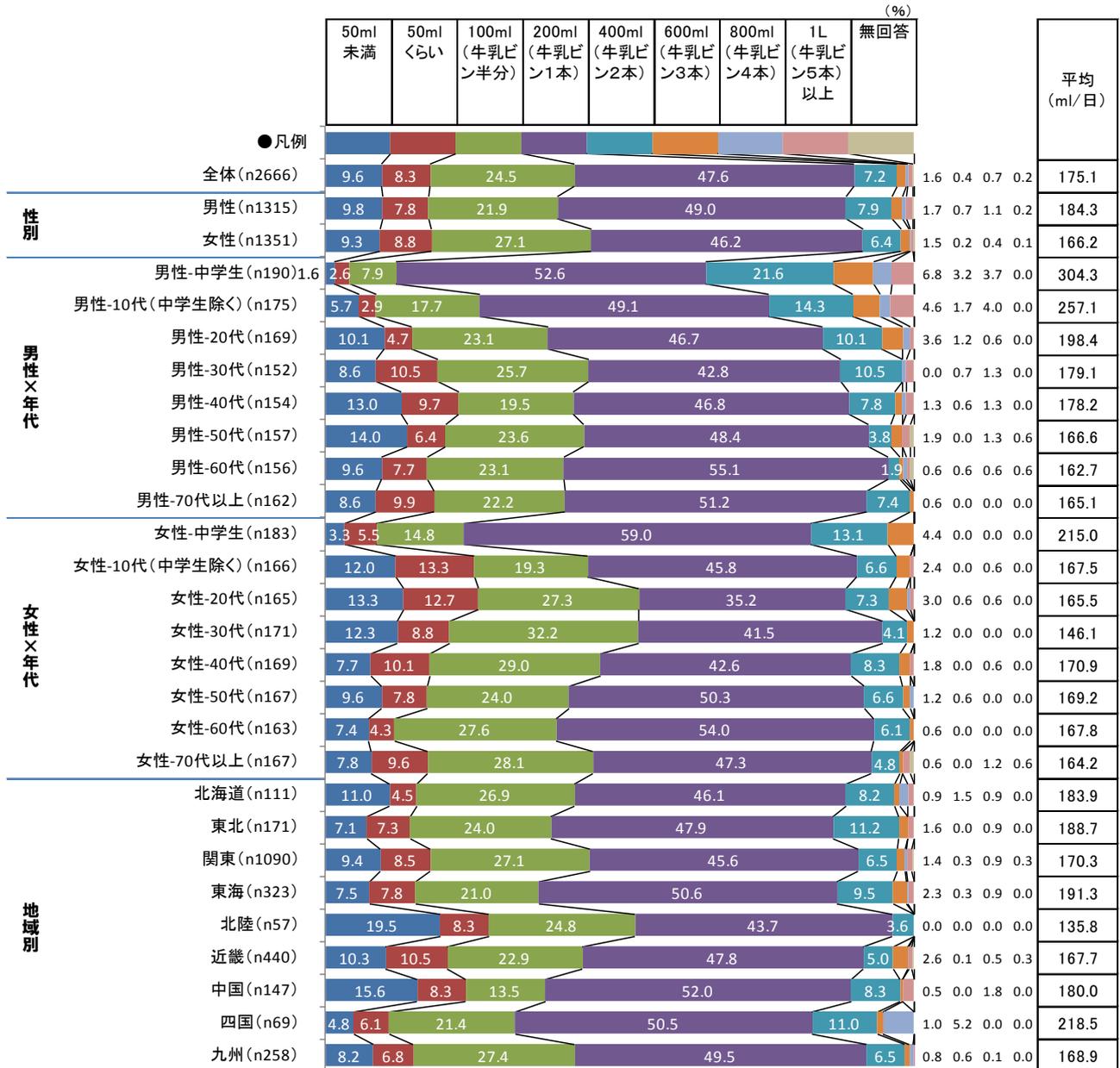
【図表 I-1-8】時系列 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
		n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	
夏 場	2004年	4,177	21.1	5.8	8.8	12.1	8.7	11.1	32.4	0.0	2.4
	2005年	3,896	20.1	5.7	9.9	12.0	8.9	11.6	31.6	0.1	2.3
	2006年	3,478	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	0.0	2.2
	2007年	3,486	19.2	4.9	9.9	11.4	9.6	10.6	34.4	0.0	2.2
	2008年	3,200	19.9	5.5	10.2	11.3	9.3	11.1	32.6	0.2	2.3
	2009年	3,200	21.5	5.9	8.6	11.5	9.2	11.9	31.5	0.0	2.4
	2010年	3,200	21.5	5.9	9.3	11.2	8.8	11.4	31.8	0.0	2.4
	2011年	3,200	20.7	5.3	9.4	11.4	8.5	10.2	34.4	0.1	2.2
	2012年	3,200	21.0	4.5	8.9	11.3	6.9	10.7	36.5	0.0	2.2
	2013年	3,200	20.2	5.1	9.4	11.0	7.1	11.7	35.3	0.0	2.2
	2014年	3,200	20.7	5.2	9.4	10.1	7.2	11.9	35.5	0.0	2.3
2015年	3,200	21.3	4.7	9.1	11.4	6.6	9.7	37.2	0.0	2.3	
冬 場	2004年	4,177	19.5	6.1	9.5	12.0	9.7	11.6	31.7	0.0	2.3
	2005年	3,896	18.6	5.6	10.5	12.8	9.7	11.5	31.3	0.1	2.3
	2006年	3,478	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	0.0	2.2
	2007年	3,486	18.0	5.2	10.0	12.0	9.3	11.1	34.3	0.0	2.2
	2008年	3,200	19.1	5.5	10.0	11.3	10.0	11.6	32.3	0.2	2.3
	2009年	3,200	20.2	5.5	9.0	12.4	9.1	12.4	31.4	0.0	2.3
	2010年	3,200	19.8	6.1	9.8	11.4	9.5	11.4	32.0	0.0	2.3
	2011年	3,200	19.4	5.0	10.3	12.3	8.4	10.7	33.8	0.1	2.2
	2012年	3,200	19.5	5.0	9.3	11.3	7.6	11.4	35.9	0.0	2.1
	2013年	3,200	18.7	5.6	9.9	11.7	7.7	12.0	34.4	0.0	2.2
	2014年	3,200	19.5	5.2	9.9	11.0	7.2	11.9	35.4	0.0	2.2
2015年	3,200	20.1	5.0	9.2	12.6	7.0	9.5	36.5	0.0	2.2	
年 間 平 均	2004年	4,177	18.9	6.2	9.6	12.2	10.0	12.4	30.5	0.2	2.3
	2005年	3,896	18.2	5.7	11.4	11.8	10.1	12.4	30.0	0.3	2.3
	2006年	3,478	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5	2.2
	2007年	3,486	17.3	5.3	11.0	11.9	9.5	11.4	33.4	0.2	2.2
	2008年	3,200	18.5	5.6	11.0	11.2	10.2	11.8	31.2	0.5	2.3
	2009年	3,200	19.6	6.0	9.6	11.9	9.6	12.5	30.5	0.3	2.3
	2010年	3,200	19.3	6.2	10.5	11.2	9.8	12.1	30.7	0.2	2.3
	2011年	3,200	19.0	5.3	10.3	12.7	8.7	10.8	33.0	0.2	2.2
	2012年	3,200	19.0	5.2	9.9	11.2	7.9	11.4	35.2	0.0	2.1
	2013年	3,200	18.4	5.9	9.8	11.8	8.1	12.4	33.6	0.0	2.2
	2014年	3,200	19.1	5.2	10.6	10.6	7.5	12.3	34.7	0.0	2.2
2015年	3,200	19.7	5.1	10.1	11.5	7.5	10.1	35.9	0.0	2.2	

## 2. 白もの牛乳類の飲用量

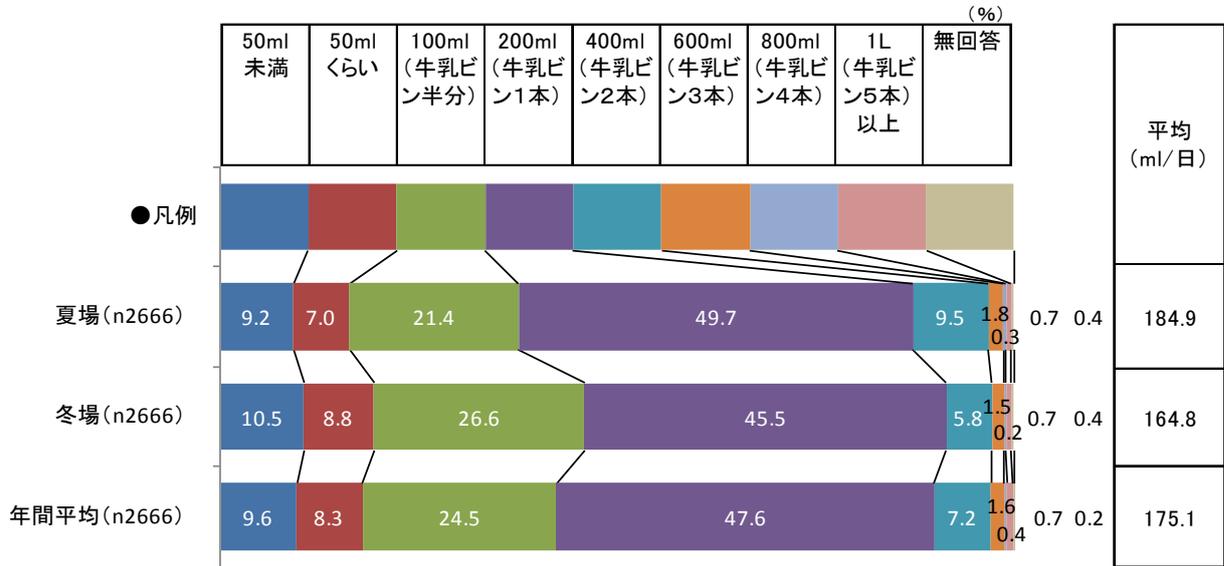
- そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを質問した。
- 全体では「200ml」が最も多く、48%を占めた。性別や性年代別、地域別でも「200ml」が最多となっている。
- 平均飲用量（ml/日）を算出したところ、全体では175.1mlとなった。性年代別で最も平均飲用量が多いのは、男子中学生の304.3mlで、逆に平均飲用量が少ないのは女性30代で、150ml以下となっている。また、地域別では、四国で平均飲用量が多く、200mlを超える。

【図表 I-2-1】性・年代別・地域別 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量（年間平均・SA）＜飲用者ベース＞



- 白もの牛乳類飲用者の1日あたり飲用量の季節による変動をみると、平均量(ml/日)は夏場184.9ml、冬場164.8mlとなっており、夏場が冬場より約20ml多く、冬場よりも夏場が飲まれているのがみてとれる。
- 性年代別にみると、全ての層において夏場の方が冬場より平均飲用量が多いが、男子中学生や女性の50代、60代で夏場と冬場の飲用量の差が大きくなっている。

【図表 I-2-2】 季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>



【図表 I-2-3】 性・年齢別・地域別/季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>

カテゴリー名		n	夏場	冬場	年間平均
全体		2,666	184.9	164.8	175.1
性別	男性	1,315	194.2	175.1	184.3
	女性	1,351	176.1	155.0	166.2
男性×年代	男性-中学生	190	315.4	287.4	304.3
	男性-10代 (中学生除く)	175	260.6	236.9	257.1
	男性-20代	169	208.4	188.6	198.4
	男性-30代	152	190.6	165.6	179.1
	男性-40代	154	183.3	168.5	178.2
	男性-50代	157	173.7	156.5	166.6
	男性-60代	156	172.3	152.1	162.7
	男性-70代以上	162	180.6	166.5	165.1
女性×年代	女性-中学生	183	226.0	206.4	215.0
	女性-10代 (中学生除く)	166	173.6	161.6	167.5
	女性-20代	165	159.8	147.9	165.5
	女性-30代	171	156.0	135.5	146.1
	女性-40代	169	185.7	168.2	170.9
	女性-50代	167	182.5	154.6	169.2
	女性-60代	163	182.1	155.8	167.8
	女性-70代以上	167	173.8	150.9	164.2
地域別	北海道	111	188.6	180.5	183.9
	東北	171	201.6	189.8	188.7
	関東	1,090	180.6	158.9	170.3
	東海	323	197.3	177.4	191.3
	北陸	57	151.4	135.5	135.8
	近畿	440	177.0	157.6	167.7
	中国	147	196.3	170.5	180.0
	四国	69	210.2	186.3	218.5
	九州	258	182.5	160.6	168.9

■白もの牛乳類の平均飲用量の時系列変化をみると、2015年度では減少傾向がとまり、年間平均では2012年度と同水準となった。また、夏場・冬場も2014年度を6ポイント上回った。

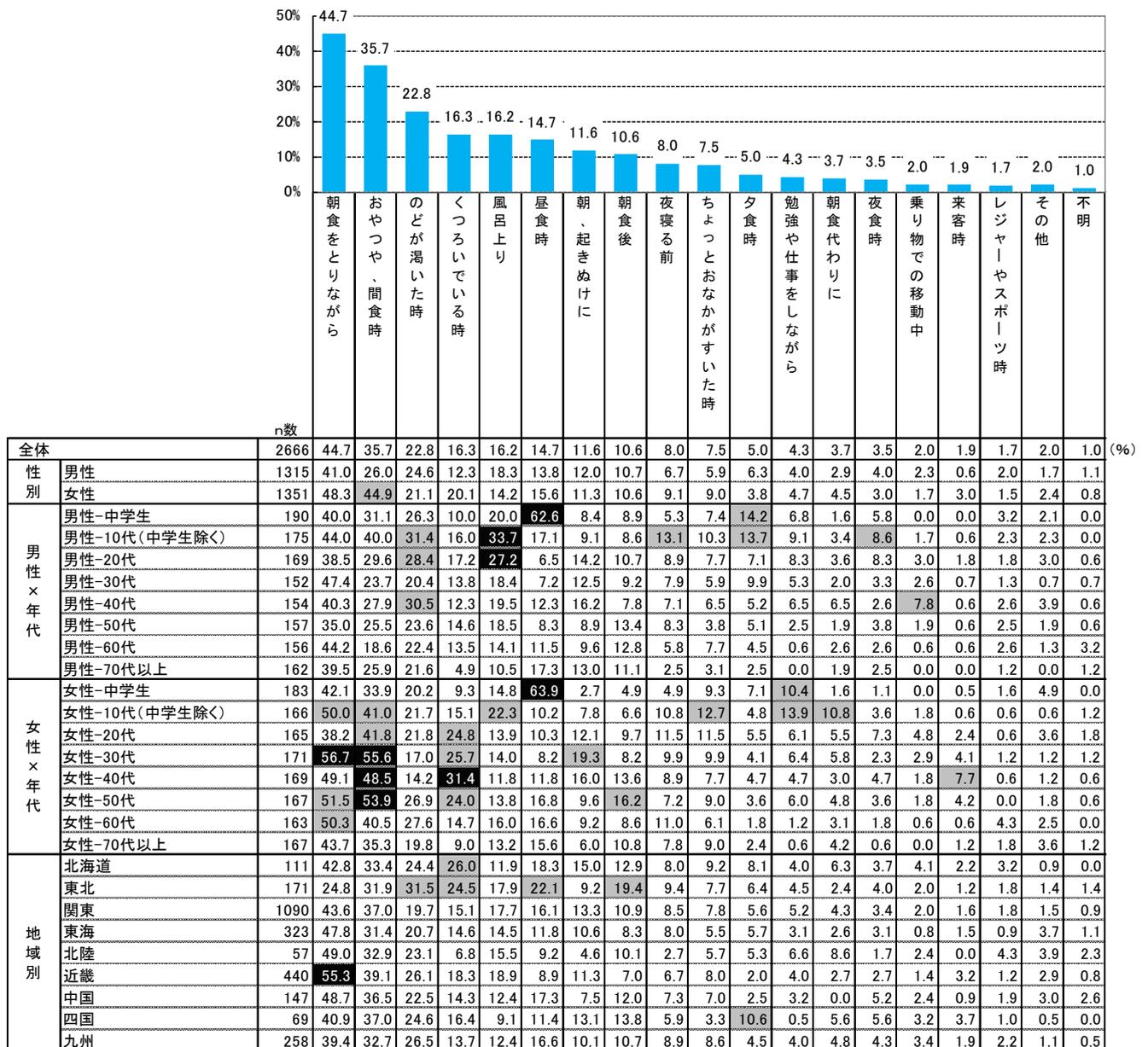
【図表 I-2-4】 季節変動/時系列 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>

		(%)										
		n	50ml未満	50mlくらい	100ml (牛乳ビン半分)	200ml (牛乳ビン1本)	400ml (牛乳ビン2本)	600ml (牛乳ビン3本)	800ml (牛乳ビン4本)	1L (牛乳ビン5本) 以上	無回答	平均 (ml/日)
夏場	2004年	3,726	7.4	5.1	14.5	53.4	14.1	2.8	0.7	0.9	1.1	215.9
	2005年	3,497	6.6	4.9	15.6	54.7	12.9	3.0	0.5	0.9	0.8	214.0
	2006年	3,001	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3	211.5
	2007年	3,044	7.2	5.2	17.1	53.3	12.0	2.8	0.9	0.9	0.7	210.1
	2008年	2,851	7.9	5.9	16.8	53.1	11.6	2.3	0.6	0.5	1.5	200.2
	2009年	2,831	7.7	6.5	18.3	52.7	11.1	2.3	0.7	0.7	0.0	199.3
	2010年	2,827	10.6	6.5	18.1	48.9	11.9	2.3	0.5	1.2	-	198.5
	2011年	2,744	9.5	6.9	19.4	52.3	8.2	2.1	0.3	0.9	0.4	187.6
	2012年	2,749	10.2	6.2	20.8	50.3	9.7	1.7	0.5	0.4	0.1	184.3
	2013年	2,733	8.9	7.2	21.6	50.4	9.2	1.7	0.2	0.5	0.2	182.6
	2014年	2,670	9.6	7.3	21.9	50.2	8.6	1.2	0.3	0.5	0.4	178.3
2015年	2,666	9.2	7.0	21.4	49.7	9.5	1.8	0.3	0.7	0.4	184.9	
冬場	2004年	3,726	9.3	7.3	20.2	51.5	8.2	1.6	0.4	0.5	1.1	181.6
	2005年	3,497	8.5	6.9	21.4	52.2	7.2	1.9	0.4	0.3	1.1	180.4
	2006年	3,001	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5	182.4
	2007年	3,044	8.3	7.4	21.7	50.5	8.3	2.0	0.4	0.4	1.0	182.7
	2008年	2,851	9.9	7.9	21.9	49.2	7.4	1.3	0.4	0.3	1.7	173.0
	2009年	2,831	9.9	8.2	22.0	50.1	7.4	1.1	0.7	0.5	0.0	175.8
	2010年	2,827	12.9	8.6	23.2	45.5	7.4	1.3	0.5	0.5	0.1	168.0
	2011年	2,744	11.2	8.6	22.9	49.0	5.9	1.1	0.3	0.6	0.4	167.6
	2012年	2,749	11.7	7.5	25.1	47.3	6.1	1.3	0.3	0.4	0.3	165.0
	2013年	2,733	10.0	9.2	25.4	47.6	6.0	1.1	0.2	0.2	0.2	163.0
	2014年	2,670	11.3	9.3	25.5	46.9	5.4	0.7	0.3	0.3	0.4	158.5
2015年	2,666	10.5	8.8	26.6	45.5	5.8	1.5	0.2	0.7	0.4	164.8	
年間平均	2004年	3,726	7.5	6.9	18.5	52.8	9.5	2.0	0.8	1.0	1.0	197.2
	2005年	3,497	6.8	6.3	19.9	53.3	9.1	2.3	0.6	0.8	0.8	195.8
	2006年	3,001	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4	197.4
	2007年	3,044	7.2	6.8	19.5	52.6	9.1	2.3	0.6	1.1	0.9	197.3
	2008年	2,851	8.4	7.7	19.2	52.4	8.3	1.9	0.4	0.3	1.3	183.6
	2009年	2,831	8.2	7.4	21.2	51.1	9.2	1.4	0.6	0.8	0.0	187.7
	2010年	2,827	10.9	8.1	21.6	46.8	8.8	1.8	0.6	1.4	-	187.0
	2011年	2,744	9.7	9.0	21.2	49.9	7.0	1.6	0.4	0.9	0.3	178.4
	2012年	2,749	10.3	7.4	23.9	48.3	7.6	1.5	0.2	0.6	0.1	175.0
	2013年	2,733	8.2	8.7	25.0	48.7	7.1	1.1	0.5	0.3	0.3	171.5
	2014年	2,670	9.6	9.0	24.3	48.3	6.6	0.8	0.4	0.5	0.4	168.6
2015年	2,666	9.6	8.3	24.5	47.6	7.2	1.6	0.4	0.7	0.2	175.1	

### 3. 白もの牛乳類の飲用シーン

- 白もの牛乳類をそのまま飲む以外の場合を含めて、どのような時に飲むかを質問した。
- 全体では、「朝食をとりながら (45%)」、「おやつや間食時 (36%)」、「のどが渴いた時 (23%)」が上位に並ぶ。
- 性別では、女性で「おやつや間食時 (45%)」が多くあげられ、男性よりも19ポイント、全体を9ポイント上回る。
- 性年代別では、男性は男子中学生で「昼食時 (63%)」、男性10代や20代で「風呂上り (10代34%、20代27%)」が全体を10ポイント以上上回る。女性は女子中学生で「昼食時 (64%)」、女性30代で「朝食をとりながら (57%)」、女性30~50代で「おやつや間食時 (30代56%、40代49%、50代54%)」、女性40代で「くつろいでいる時 (31%)」が全体を10ポイント以上上回る。男女中学生の「昼食時」の飲用の多さは、給食時の飲用が背景にあると思われる。女性は、「おやつや間食時」や「くつろいでいる時」に牛乳を飲用するケースが多くなっている。
- 地域別では、近畿で「朝食をとりながら (55%)」が多く、全体を約10ポイント上回る。

【図表 I-3-1】 性・年齢別・地域別 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い    ■ = 全体より、5%以上高い

■2014年度と比較して、2015年度も同様の傾向となっており、大きな変動はみられなかった。

■傾向でみると、「朝食をとりながら」と「おやつや間食時」は横ばい、「のどが渇いた時」「くつろいでいる時」「風呂上り」は下降傾向にあることがうかがえる。

■「朝食をとりながら」は横ばいではあるが、牛乳の飲用シーンとしては最も多く、朝食時の飲料として「牛乳」をアピールすることは、多くの人の行動に沿っており、今後の消費量に寄与するものと思われる。

【図表 I-3-2】時系列 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>

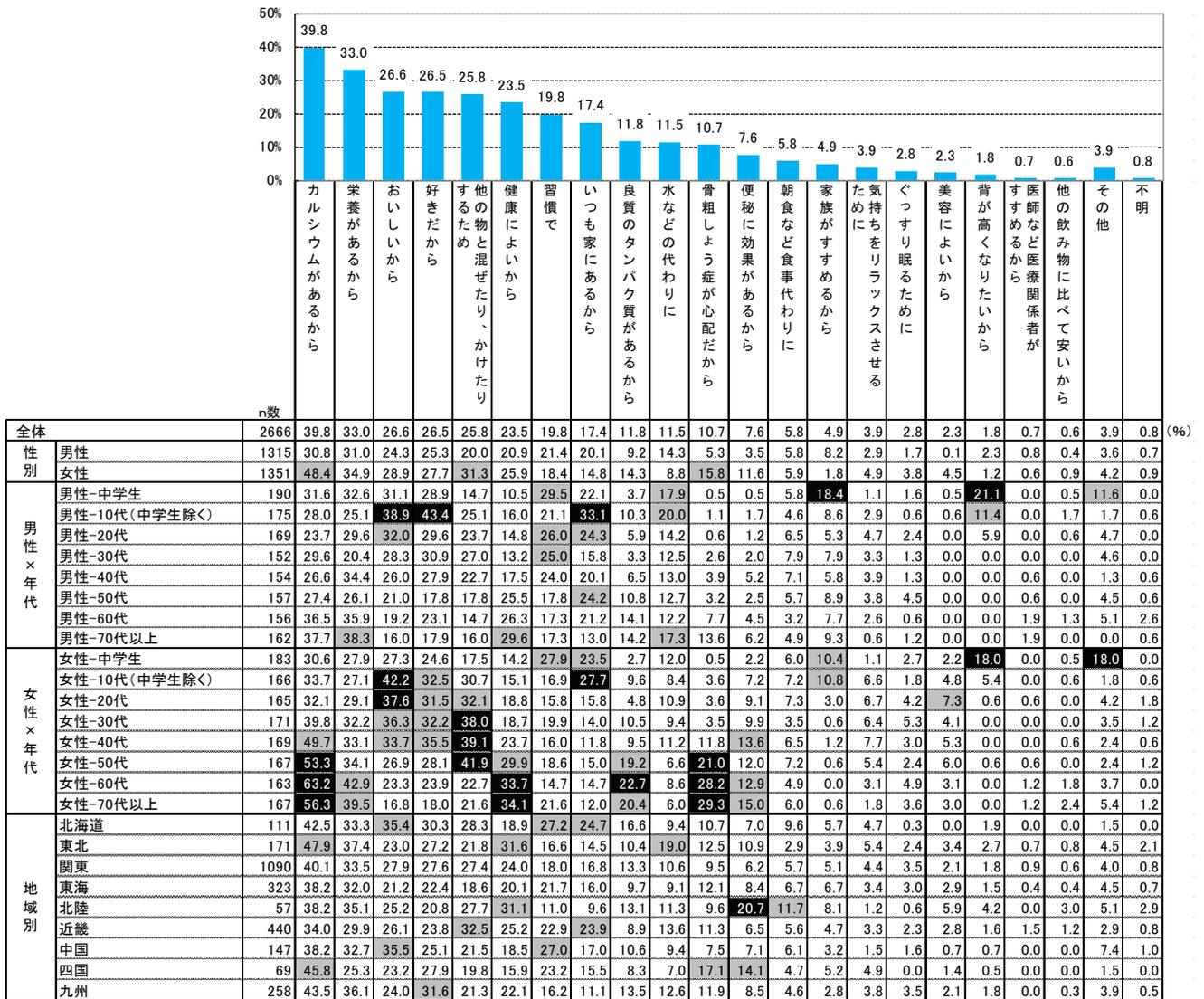
(%)

	n	朝食をとりながら	おやつや、間食時	のどが渇いた時	くつろいでいる時	風呂上り	昼食時	朝起きぬけに	朝食後	夜寝る前	ちよつとおながすいた時	夕食時	勉強や仕事をしながら	朝食代わりに	夜食時	乗り物での移動中	来客時	レジャーやスポーツ時	その他
2002年	3,810	46.8	43.3	53.3	25.1	38.5	18.8	17.2	18.0	18.7	20.8	8.1	6.4	11.3	6.0	2.8	3.6	4.2	2.3
2003年																			
2004年																			
2005年	3,497	41.6	37.0	43.0	21.1	26.9	15.3	11.6	13.5	14.5	14.1	6.6	4.3	6.4	4.5	2.1	2.9	1.9	2.3
2006年	3,001	40.4	35.7	41.2	21.4	26.7	15.0	12.1	13.8	14.1	13.8	6.7	4.6	6.7	3.7	2.0	2.9	2.3	2.7
2007年	3,044	42.9	34.1	39.4	20.3	24.8	14.7	12.4	11.5	11.2	12.2	5.7	4.5	6.0	3.5	2.1	3.3	1.8	2.6
2008年	2,851	43.5	34.9	38.7	22.5	24.6	15.0	11.6	12.5	12.0	13.2	5.9	4.8	6.0	3.8	2.0	3.3	1.7	2.3
2009年	2,831	42.5	36.5	36.7	22.7	22.2	13.5	10.8	12.3	10.5	11.4	6.0	5.3	5.2	3.5	2.0	4.1	1.6	2.7
2010年	2,827	44.7	35.7	36.3	20.7	19.9	12.3	11.0	12.4	11.4	11.4	6.0	4.4	4.6	3.2	2.1	3.2	1.2	3.6
2011年	2,744	43.2	33.8	25.3	15.7	17.9	13.0	12.1	11.4	9.5	8.4	3.5	3.6	4.5	3.3	1.2	2.2	1.5	2.2
2012年	2,749	44.4	34.5	24.8	16.3	17.8	12.5	10.7	11.1	9.7	8.5	4.4	3.8	5.3	3.7	0.9	2.3	1.1	1.8
2013年	2,733	43.7	36.2	25.8	19.0	19.3	13.1	12.0	11.1	10.4	8.6	3.9	4.9	5.5	3.3	1.4	2.5	1.8	1.9
2014年	2,670	45.0	35.0	23.9	17.2	16.7	12.6	12.1	9.9	9.1	8.0	4.6	4.0	4.4	2.4	1.3	1.6	1.7	2.7
2015年	2,666	44.7	35.7	22.8	16.3	16.2	14.7	11.6	10.6	8.0	7.5	5.0	4.3	3.7	3.5	2.0	1.9	1.7	2.0

#### 4. 白もの牛乳類の飲用理由

- 白もの牛乳類を飲む人に、白もの牛乳類を飲む理由を質問した。
- 全体では、「カルシウムがあるから(40%)」、「栄養があるから(33%)」、「おいしいから(27%)」、「好きだから(27%)」、「他の物と混ぜたり、かけたりするため(26%)」、「健康によいから(24%)」が多くあげられている。
- 性別では、女性で「カルシウムがあるから(48%)」、「他の物と混ぜたり、かけたりするため(31%)」、「骨粗しょう症が心配だから(16%)」が多く、男性を10ポイント以上上回る。
- 性年代別では、女性の50代以上では「カルシウムがあるから」が53~63%と高く、「骨粗しょう症が心配だから」も2割から3割近くを占める。「健康によいから」も女性60代以上で34%に達するほか、男性70代以上や女性60代以上では「栄養があるから」が4割前後と、高齢者の健康志向にこたえる飲み物として認知されている。また、女性30~50代では「他の物と混ぜたり、かけたりするため」に飲むとした人が4割前後と高くなっている。

【図表 I-4-1】性・年齢別・地域別 問6 白もの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

■白もの牛乳類を飲む理由の時系列変化を見ると、大きく変化したものは下記の通りとなっている（飲用者ベース）。

- 「健康によいから」・・・・・・・・・・2002年度⇒2015年度：▲22ポイント
- 「カルシウムがあるから」・・・・・・・・2000年度⇒2015年度：▲21ポイント
- 「骨粗しょう症が心配だから」・・・・2000年度⇒2015年度：▲18ポイント
- 「いつも家にあるから」・・・・・・・・2000年度⇒2015年度：▲16ポイント
- 「栄養があるから」・・・・・・・・・・2000年度⇒2015年度：▲16ポイント

■これらを見ると、一般的に知られている白もの牛乳類の長所である“健康面でのメリット（健康によい、カルシウムがある、骨粗しょう症の防止、栄養がある）”での訴求力の低下が明らかである。「いつも家にあるから」という理由も大きく減少しており、常備する習慣が失われつつあることが懸念される。

【図表 I-4-2】時系列 問6 白もの牛乳類を飲む理由（MA）

																						(%)					
		カルシウムがあるから	栄養があるから	おいしいから	好きだから	他のものと混ぜたりする	健康によいから	習慣で	いつも家にあるから	良質のタンパク質がある	水などの代わりに	骨粗しょう症が心配だから	便秘に効果があるから	朝食など食事代わりに	家族がすすめるから	気持ちをリラックスさせる	ぐっすり眠るために	美容に良いから	背が高くなりたいから	医療関係者がすすめる	他の飲み物に比べ安い	消化がよい	学校給食で飲む	それしかないから	その他	全く飲まない	
n																											
△全体ベース▽	1987年	4,664	38.4	53.4	23.7	27.5			14.7	27.4		18.2			9.1	5.1			8.6	5.5	2.0	2.5		4.8	3.2	1.6	16.1
	1988年	4,604	44.4	55.7	23.0	25.9			11.5	29.7		14.0			9.2	6.2			9.0	6.6	2.4	2.8		5.3	2.4	1.6	15.4
	1989年	4,579	46.9	54.9	22.1	26.0			12.1	29.6		14.0			8.8	5.5			6.9	4.7	3.0	2.2		3.9	2.2	1.7	15.4
	1990年	4,691	54.3	58.3	23.0	26.6			13.5	30.7		14.2			8.4	5.7			7.7	5.9	2.7	2.1		4.1	2.5	2.0	12.8
	1991年	4,714	50.1	54.3	25.5	28.2			14.0	31.1		15.4			8.3	6.0			5.6	6.3	2.9	2.0		5.1	2.8	2.0	12.5
	1992年	4,651	51.3	52.8	25.2	28.2			14.7	30.3		14.5			8.5	6.3			4.9	5.5	2.7	2.3		3.7	2.1	2.1	13.7
	1993年	4,553	59.2	58.2	28.0	27.9			16.2	34.3		12.7			9.4	6.2			9.2	7.1	2.9	4.0		5.2		2.2	12.8
	1994年	4,617	58.7	53.9	26.5	26.5			14.3	31.0		13.4			8.6	6.5			5.7	5.7	2.5	2.8		4.5		2.9	13.4
	1995年	4,668	51.5	45.3	20.6	22.0			16.1	20.6		16.9	16.1		8.3	4.6			4.6	4.6	1.6	2.2		2.8		2.6	11.7
	1996年	4,706	50.3	40.7	22.2	23.3			15.5	19.9		17.3	19.3		7.9	5.7										3.2	10.4
1997年	4,547	55.4	41.0	24.4	23.5			13.1	27.8	15.2	17.3	24.1	16.0	8.1	7.6			3.1				3.6			3.3	11.1	
1999年	4,476	54.8	45.1	32.9	29.2			18.0	31.4	19.1	20.6	25.1	17.9	9.7	7.7	5.2	5.3	4.7		2.2		5.2			2.4	10.6	
△飲用者ベース▽	2000年	4,171	61.2	49.2	34.9	30.9			19.0	33.3	20.7	21.5	28.5	18.1	10.5	9.2	4.9	5.1	5.2		2.5		4.8			2.7	
	2002年	3,810	60.6	49.2	29.9	29.7	25.7	45.9	20.0	26.9	20.8	19.4	27.3	14.9	7.9	5.3	3.9	5.0	4.1	3.7	1.8	2.0				2.1	
	2005年	3,497	55.4	42.6	27.6	28.5	24.9	41.6	19.4	21.3	16.8	16.6	23.3	13.1	7.9	4.8	5.3	4.9	3.8	3.1	1.9	1.6				2.1	
	2006年	3,001	56.8	45.1	27.7	28.1	27.4	40.5	19.7	23.2	16.1	14.6	22.5	13.1	7.9	6.7	4.9	4.9	3.7	3.4	2.0	1.6				3.5	
	2007年	3,044	48.0	38.6	27.4	27.8	23.0	34.2	21.3	21.6	13.8	16.3	18.8	10.1	8.0	5.9	4.7	4.2	2.7	2.9	1.0	1.2				3.0	
	2008年	2,851	48.3	37.6	29.4	29.9	24.3	33.6	22.2	23.0	14.2	15.4	19.0	11.1	7.9	4.6	4.5	3.5	2.3	2.6	1.2	1.4				3.3	
	2009年	2,831	48.7	38.7	28.3	28.0	31.1	33.4	21.9	23.1	13.7	16.3	13.7	10.8	7.6	5.0	5.0	4.1	3.0	2.8	1.0	1.5				3.6	
	2010年	2,827	45.2	34.3	28.8	27.4	33.5	30.0	19.8	21.5	13.9	15.9	15.0	11.4	6.6	5.3	4.7	4.1	2.3	2.3	0.8	0.8				3.2	
	2011年	2,744	44.1	34.9	26.8	25.9	24.7	27.7	19.1	19.5	10.8	13.0	10.8	9.2	7.0	5.2	3.8	3.5	2.6	2.0	1.0	0.4				3.6	
	2012年	2,749	46.7	38.0	26.3	26.3	26.8	28.4	19.3	20.8	13.5	11.3	11.4	9.7	7.7	6.6	5.2	4.1	2.8	2.2	0.9	0.9				3.3	
	2013年	2,733	47.1	36.9	27.8	25.9	30.7	28.5	21.1	21.4	15.0	12.3	12.6	9.2	8.1	6.9	4.4	3.7	2.7	2.2	1.0	0.6				3.4	
	2014年	2,670	42.0	36.6	26.4	24.9	23.8	24.7	18.7	16.7	13.0	10.8	11.2	9.1	6.8	4.9	3.6	3.7	2.5	1.7	0.9	0.5				3.8	
	2015年	2,666	39.8	33.0	26.6	26.5	25.8	23.5	19.8	17.4	11.8	11.5	10.7	7.6	5.8	4.9	3.9	2.8	2.3	1.8	0.7	0.6				3.9	

※斜線はデータなし  
 ※1998年、2001年、2003年、2004年はデータなし  
 ※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

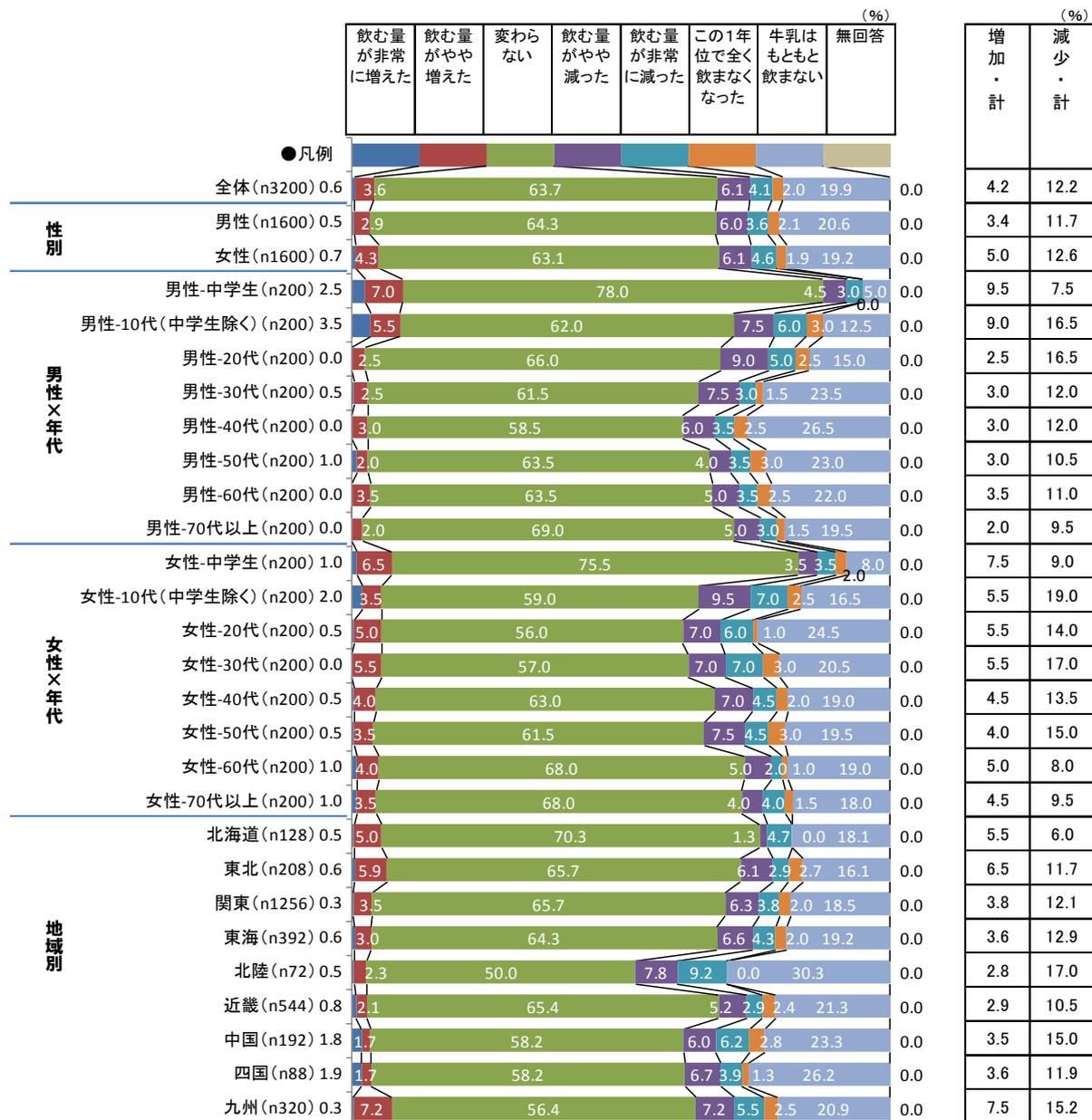
## II. この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識

### 1. 飲み方別飲用量の増減

#### (1) そのまま飲む量の増減

- この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えたか、減ったかを、そのまま飲む場合、他のものと混ぜて飲む場合、牛乳飲用全体に分けて質問した。
- そのまま飲む場合、「減少計（非常に減った+やや減った+1年位で全く飲まなくなった）」は12%で、「増加計（非常に増えた+やや増えた）」(4%)を8ポイント上回った。
- 性別では、男女とも「減少計」が「増加計」を約8ポイント上回る。
- 性年代別では、男子中学生のみ「増加計」がわずかに「減少計」を上回る。一方、女性10代では「減少計」が「増加計」を大きく上回り、その差は13ポイント以上に達する。
- 地域別でみると、「増加計」が最も高いのは九州で8%、「減少計」が最も高いのは北陸で17%に達する。

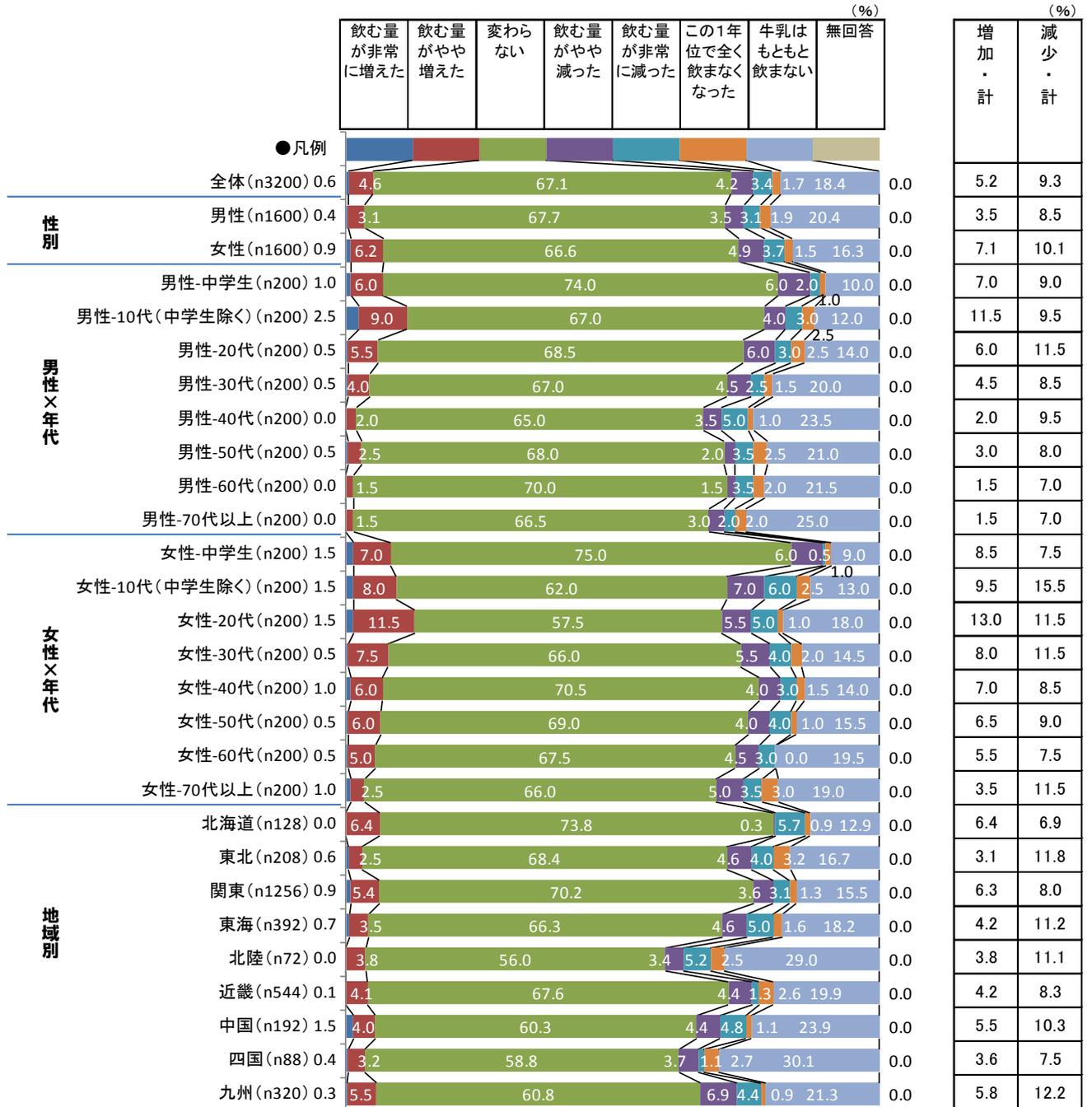
【図表II-1-1】性・年代別・地域別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合 (SA)



(2) 混ぜて飲む量の増減

- 他のものと混ぜて飲む場合では、「増加計」が5%、「減少計」が9%となり、「減少計」が4ポイント上回る。
- 性別では、男性で混ぜて飲む場合に「牛乳はもともと飲まない」との回答が20%と、女性よりも4ポイント高い。女性では「増加計」が7%、「減少計」が10%となっている。
- 性年代別では、男性10代、女子中学生、女性20代などで「減少計」よりも「増加計」が高くなっている。一方、男性の20代と女性10代、70代以上では「減少計」が「増加計」を5~8ポイント上回る。
- 地域別では、いずれも「減少計」が「増加計」を上回り、東北、東海、北陸、中国、九州では「減少計」が10%以上となっている。

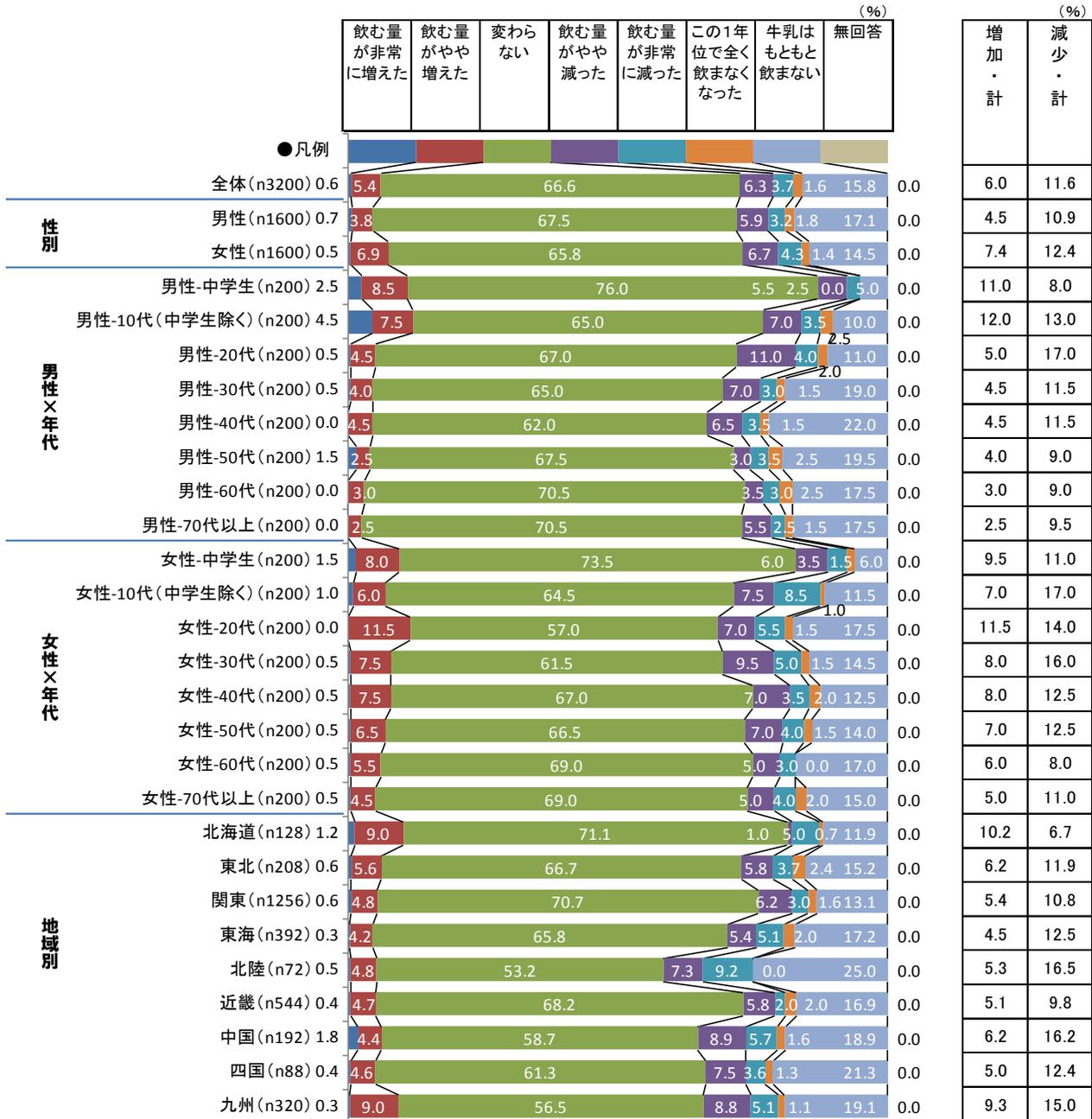
【図表II-1-2】性・年代別・地域別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (2) 混ぜて飲む場合 (SA)



(3) 全体での増減

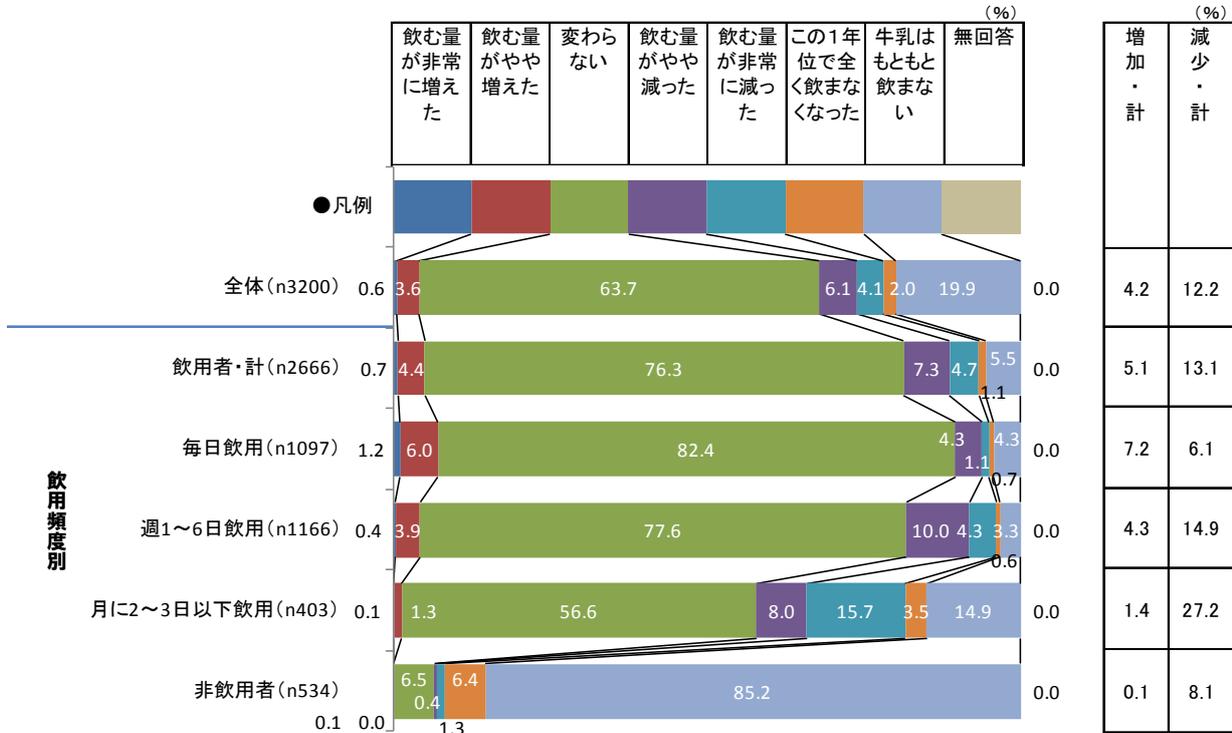
- 白もの牛乳類の飲用全体では、「増加計」が6%、「減少計」が12%となり、「減少計」が6ポイント上回る。
- 性別では、男性で「増加計」が5%、「減少計」が11%、女性で「増加計」が7%、「減少計」が12%となっている。男性の方が「変わらない」や「牛乳はもともと飲まない」が多くなっている。
- 性年代別では、男子中学生のみ「増加計」が「減少計」を3ポイント上回る。一方、男性20代と女性10代では「減少計」が「増加計」を10ポイント以上上回る。
- 地域別では、北海道で「増加計」が「減少計」を3ポイント上回るが、北陸、中国、九州では「減少計」が15%～16%と高い。

【図表II-1-3】性・年代別・地域別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体 (SA)

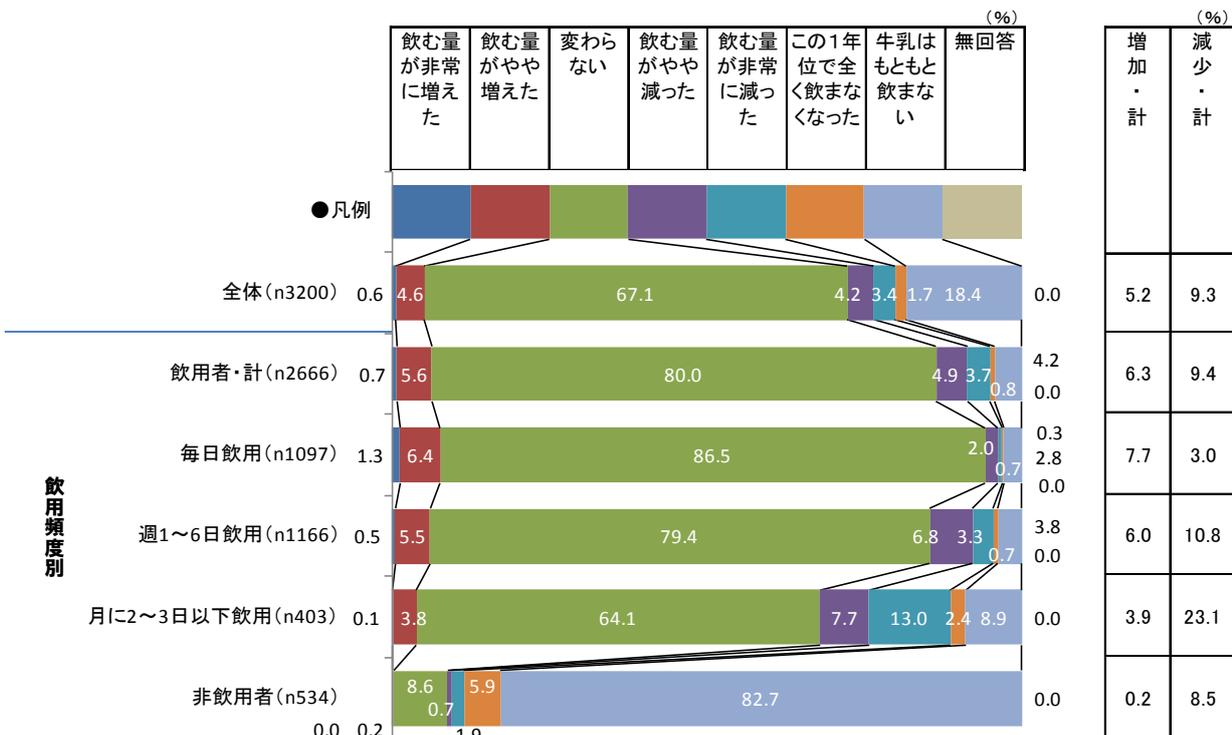


- 白もの牛乳類の飲用頻度別に、飲用量増減の感じ方をみた。
- 毎日飲用者は、そのまま飲む場合と混ぜて飲む場合双方において、「増加計」が「減少計」を上回る。
- 週1～6日という中程度の層では、そのまま飲む場合で「減少計」が「増加計」を10ポイント以上上回る。
- 月に2～3日以下という低頻度層では、「減少計」がそのまま飲む場合では27%、混ぜて飲む場合では23%にのぼる。

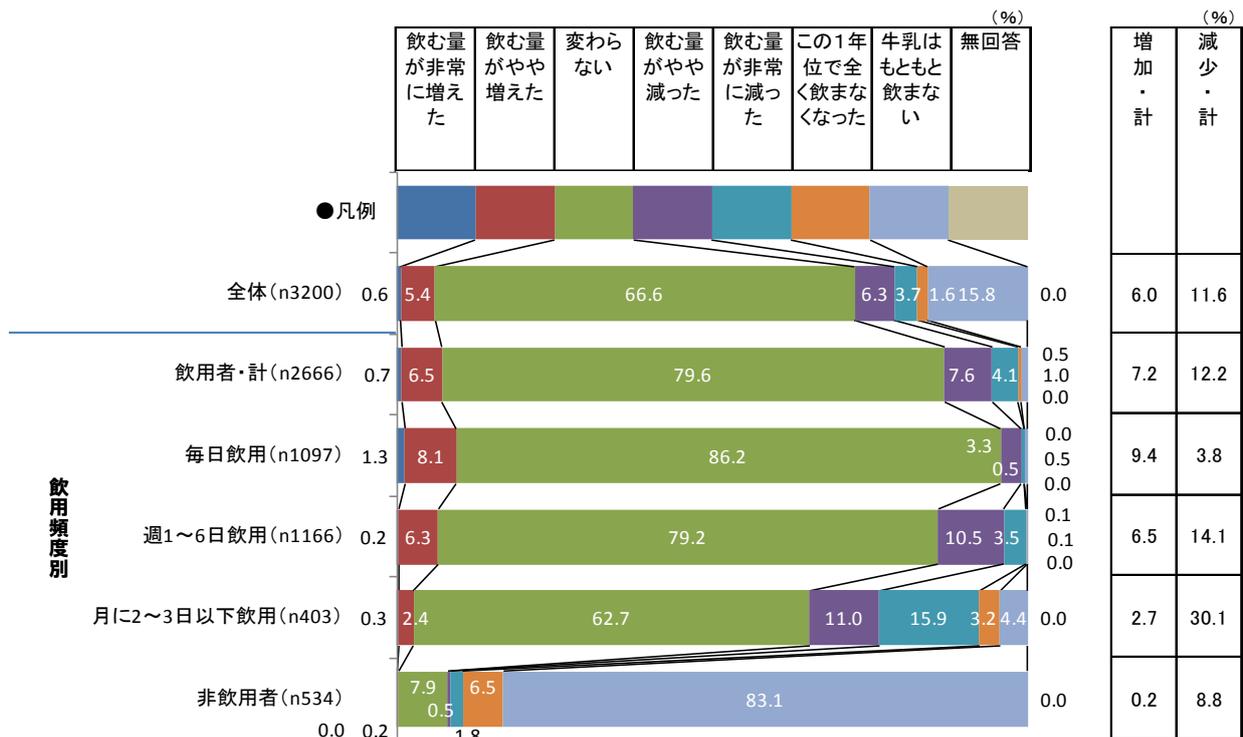
【図表Ⅱ-1-4】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（1）そのまま飲む場合（SA）



【図表Ⅱ-1-5】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（2）混ぜて飲む場合（SA）



【図表Ⅱ-1-6】 飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体 (SA)



■「減少計」が「増加計」を上回る傾向は2015年も続いている。

【図表Ⅱ-1-7】 時系列 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減

(1) そのまま飲む場合 (SA)

年	n数	飲む量が非常に増えた	飲む量がやや増えた	変わらない	飲む量がやや減った	飲む量が非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答	増加・計 (%)	減少・計 (%)
2007	3486	1.7	5.9	60.2	9.2	4.9	2.4	14.6	1.1	7.6	16.5
2008	3200	1.7	5	60.7	8.5	5	2.8	14.3	2.0	6.7	16.3
2010	3200	1.8	4.7	59.6	7.7	6.2	2.8	14.9	2.3	6.5	16.7
2011	3200	0.6	3.9	65	5.8	4.5	2	18	0.2	4.5	12.3
2012	3200	0.5	3.9	63.1	5.1	3.8	1.0	22.6		4.4	9.9
2013	3200	0.3	3.6	63.0	6.0	3.8	1.2	22.2		3.9	10.9
2014	3200	0.5	3.5	63.1	5.5	5.0	2.2	20.3	0.0	4.0	12.7
2015	3200	0.6	3.6	63.7	6.1	4.1	2.0	19.9	0.0	4.2	12.2

(2) 混ぜて飲む場合 (SA)

年	n数	飲む量が非常に増えた	飲む量がやや増えた	変わらない	飲む量がやや減った	飲む量が非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答	増加・計 (%)	減少・計 (%)
2007	3486	1.9	8.4	58.4	5.1	3.3	3.2	15.9	3.9	10.3	11.6
2008	3200	2.3	7.4	59.4	4.9	3.1	3.4	15.4	4.1	9.7	11.4
2010	3200	2.5	8.3	58.2	5.2	4.4	3.9	14.5	3.0	10.8	13.5
2011	3200	0.7	5.2	65.8	4.1	3.1	2.2	18.8	0.1	5.9	9.4
2012	3200	0.8	5.9	53.7	3.4	2.8	1.2	32.0		6.8	7.5
2013	3200	0.6	6.0	56.5	3.7	2.8	1.4	29.1		6.6	7.9
2014	3200	0.8	4.7	65.0	4.0	3.8	2.4	19.2	0.0	5.5	10.2
2015	3200	0.6	4.6	67.1	4.2	3.4	1.7	18.4	0.0	5.2	9.3

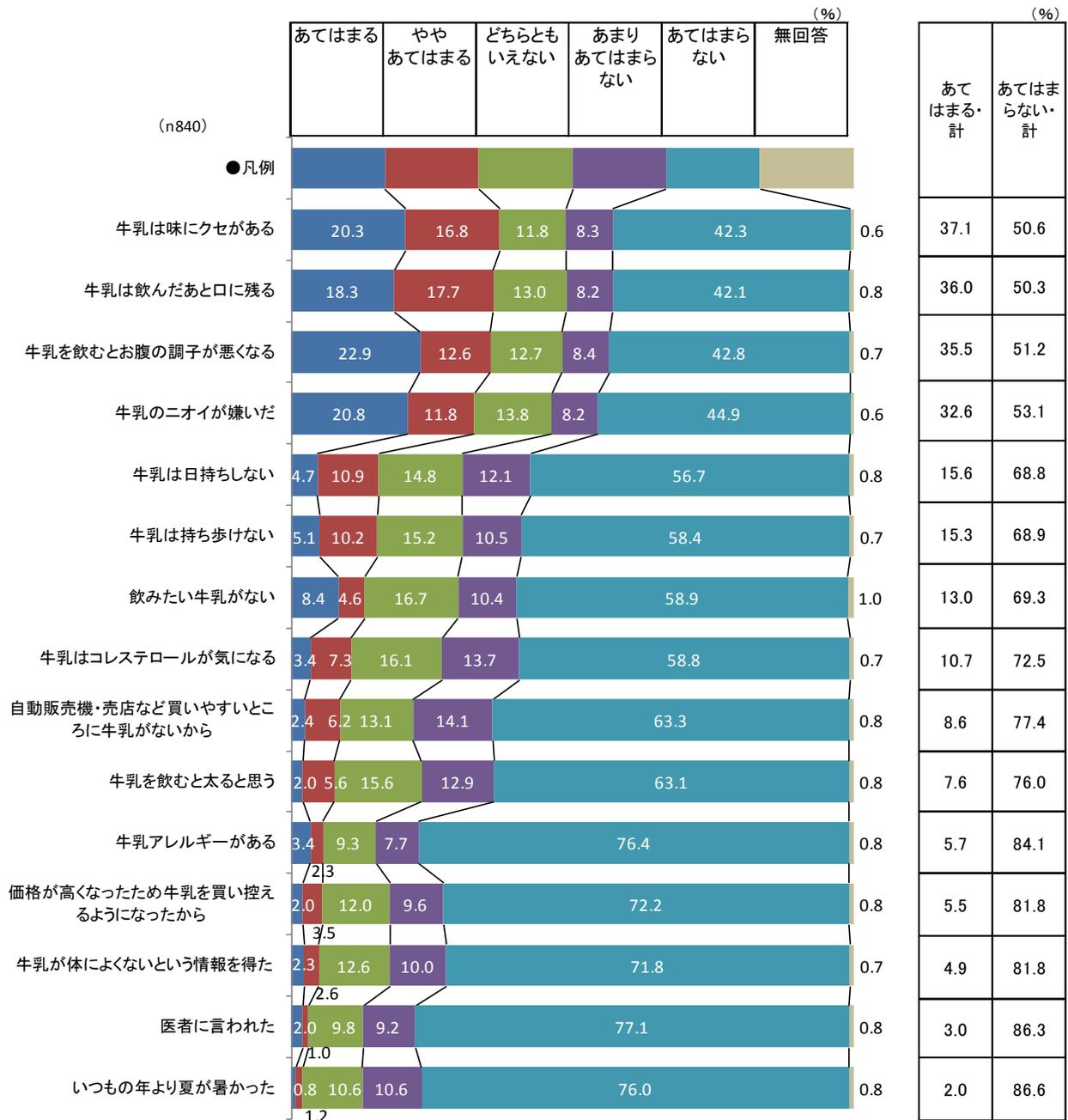
(3) 全体 (SA)

年	n数	飲む量が非常に増えた	飲む量がやや増えた	変わらない	飲む量がやや減った	飲む量が非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答	増加・計 (%)	減少・計 (%)
2007	3486	1.7	8.3	63.6	8.6	4.1	1.2	10.8	1.6	10.0	13.9
2008	3200	1.8	7.7	65.5	7.8	3.9	1.6	10.5	1.1	9.5	13.3
2010	3200	2.0	8.5	62.0	7.6	5.5	1.7	11.3	1.4	10.5	14.8
2011	3200	0.7	5.5	68.1	6.6	3.6	1.6	13.7	0.2	6.2	11.8
2012	3200	0.7	6.1	68.2	5.5	3.4	0.8	15.3		6.8	9.8
2013	3200	0.5	6.3	67.6	5.9	3.6	1.0	15.0		6.8	10.5
2014	3200	0.6	5.1	66.5	5.8	4.1	1.8	16.0	0.0	5.7	11.7
2015	3200	0.6	5.4	66.6	6.3	3.7	1.6	15.8	0.0	6.0	11.6

## 2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因

- この1年間に白もの牛乳類を飲む量が全体として減った、あるいは牛乳はもともと飲まない人に、牛乳を飲む量が減った理由または牛乳を飲まない理由（15項目）について、どの程度あてはまるかを5段階で質問した。
- 「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた「あてはまる計」をみると、「牛乳は味にクセがある（37%）」、「牛乳は飲んだあと口に残る（36%）」、「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる（36%）」、「牛乳のニオイが嫌いだ（33%）」が上位に並ぶ。

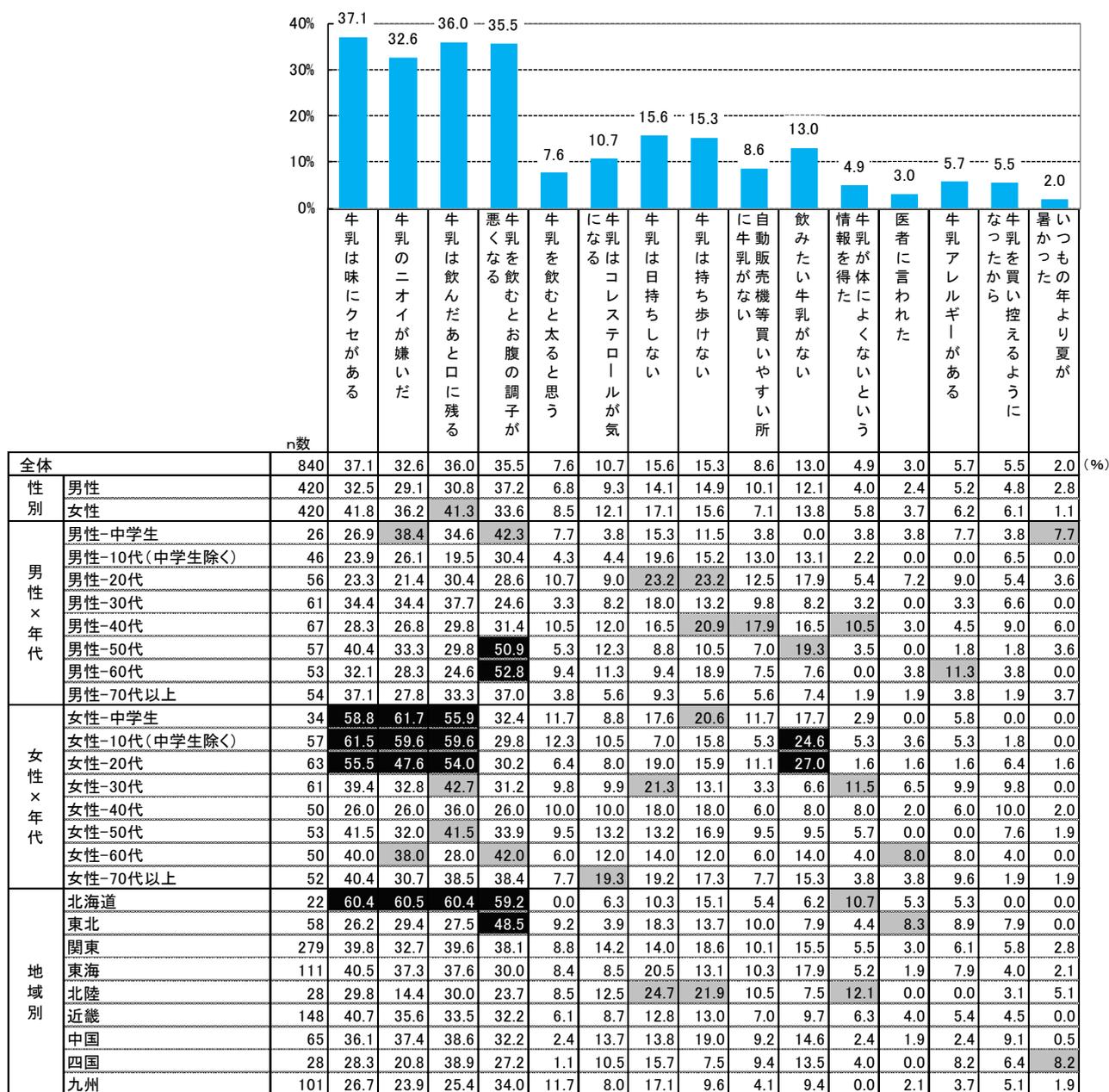
【図表II-2-1】問8 飲用量減少・非飲用理由（SA）＜飲用量が減少した人/非飲用者ベース＞



■「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた「あてはまる計」を性別でみると、女性で「牛乳は飲んだあと口に残る」が41%で、「牛乳は味にクセがある」の42%と並んで高くなっている。

■性年代別では、男性の50代、60代で「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が50%以上と高い。また、女性の中学生から20代では、「牛乳は味にクセがある」「牛乳のニオイが嫌いだ」「牛乳は飲んだあと口に残る」の割合が高くなっている。また女性の10代と20代では「飲みたい牛乳がない」が25%前後で他層より高い点が特徴的である。

【図表Ⅱ-2-2】性・年代別・地域別 問8 飲用量減少・非飲用理由 「あてはまる計」(SA) <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

【図表Ⅱ-2-3】 時系列 問8 飲用量減少・非飲用理由 「あてはまる計」(SA) <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>

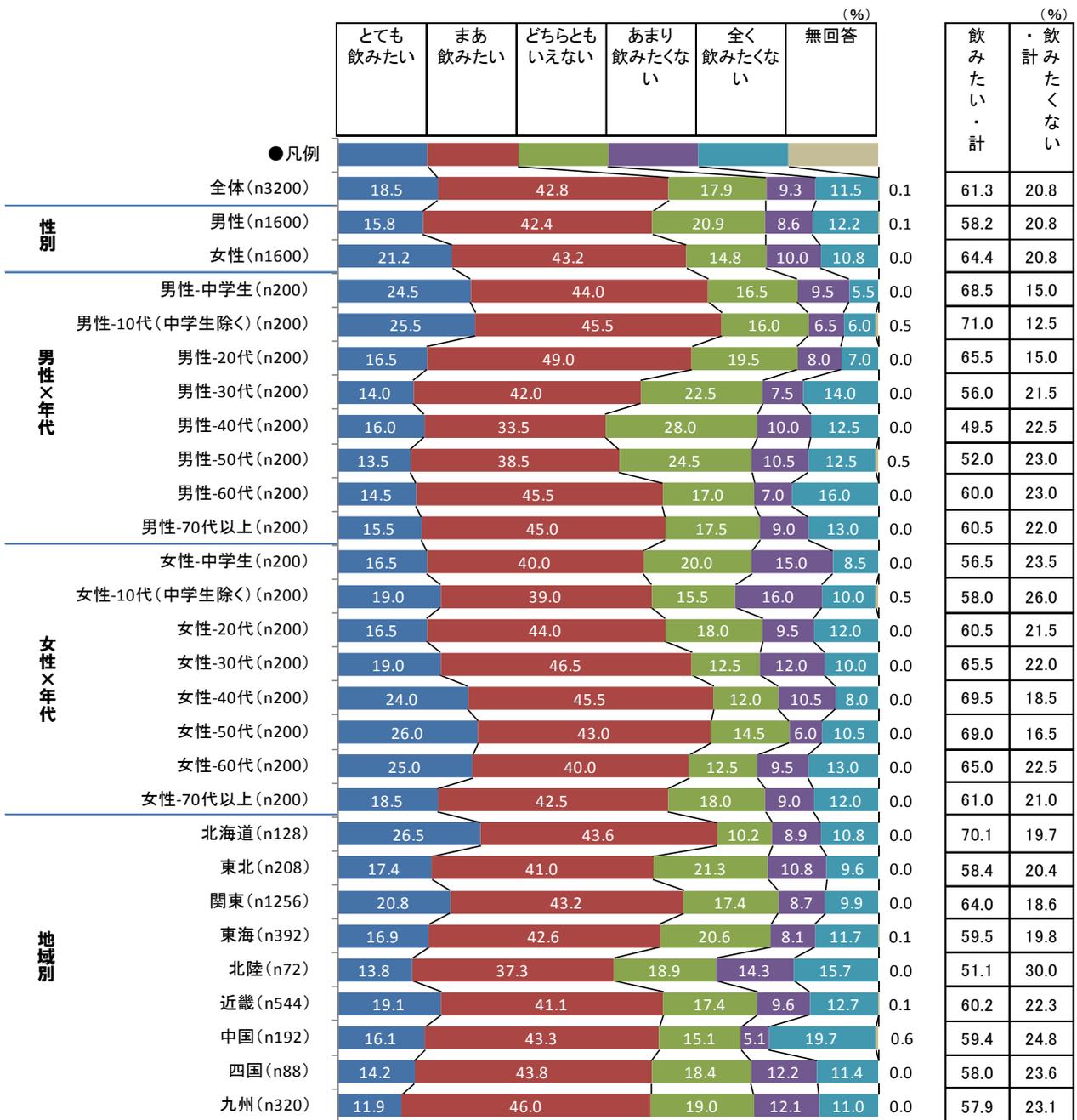
																	(%)
	n数	牛乳は味にクセがある	牛乳のニオイが嫌い	牛乳は飲んだあと口に残る	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる	牛乳を飲むと太ると思う	牛乳はコレステロールになる	牛乳は日持ちしない	牛乳は持ち歩けない	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がない	飲みたい牛乳がない	牛乳が体によくないという情報を本などで得た	医者に言われた	牛乳アレルギーがある	価格が高くなったため買い控えるようになった※	いつもの年より夏が暑かった	
2008	741	29.3	27.6	32.0	37.2	10.5	12.6	16.1	18.8	10.6	12.8	6.9	3.5	4.9	8.7	—	
2010	807	29.7	27.1	31.5	34.6	6.8	8.5	15.1	16.6	9.5	11.3	6.3	3.7	3.9	5.4	4.5	
2011	785	38.2	35.6	36.8	38.4	8.1	11.3	13.3	14.2	10.2	12.6	5.9	3.8	4.9	3.8	3.1	
2012	763	40.3	40.0	37.4	44.0	7.4	10.7	12.4	13.2	6.0	10.3	4.5	3.6	6.0	2.8	2.6	
2013	787	40.9	39.1	39.1	40.5	6.5	8.9	14.1	17.2	9.8	13.8	5.9	3.6	5.0	2.0	4.2	
2014	844	38.0	35.5	37.3	38.7	8.2	9.0	13.2	14.6	10.1	15.0	5.7	3.6	5.9	5.8	2.3	
2015	840	37.1	32.6	36.0	35.5	7.6	10.7	15.6	15.3	8.6	13.0	4.9	3.0	5.7	5.5	2.0	

※前々回調査「不景気の影響で牛乳を買い控えるようになった」は、2014年より「価格が高くなったため買い控えるようになった」に変更

### 3. 白もの牛乳類の飲用意向

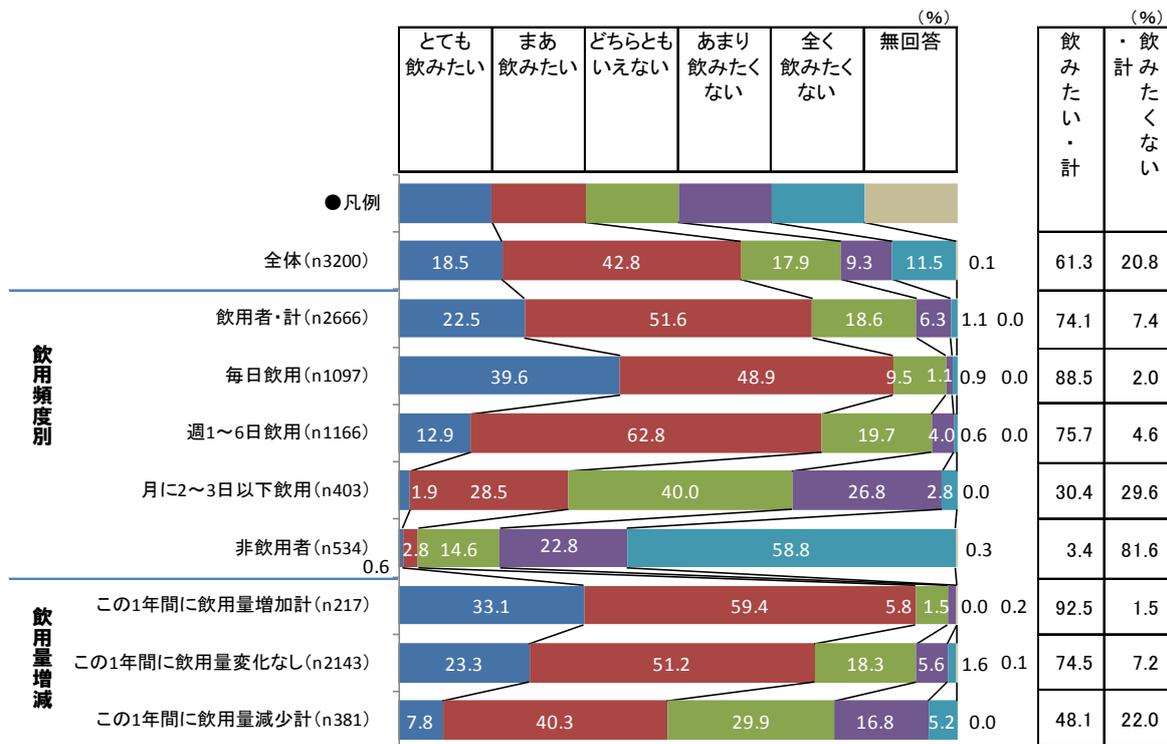
- 現在の飲用有無にかかわらず、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思うかを5段階で質問した。
- 白もの牛乳類非飲用者を含む全体では、「とても飲みたい」が19%、「まあ飲みたい」が43%となっており、「飲みたい計」は61%となっている。一方、「全く飲みたいくない」は12%、「あまり飲みたいくない」は9%で、「飲みたいくない計」は21%となっている。
- 性別では、女性の「飲みたい計」が64%で、男性の58%を6ポイント上回る。
- 性年代別では、男子中学生、男性10代と若い世代で高く、女性40代、50代で「飲みたい計」が7割前後となっている。
- 地域別では、「飲みたい計」は北海道で70%と高く、北陸で51%と低い。

【図表II-3-1】性・年代別・地域別 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）

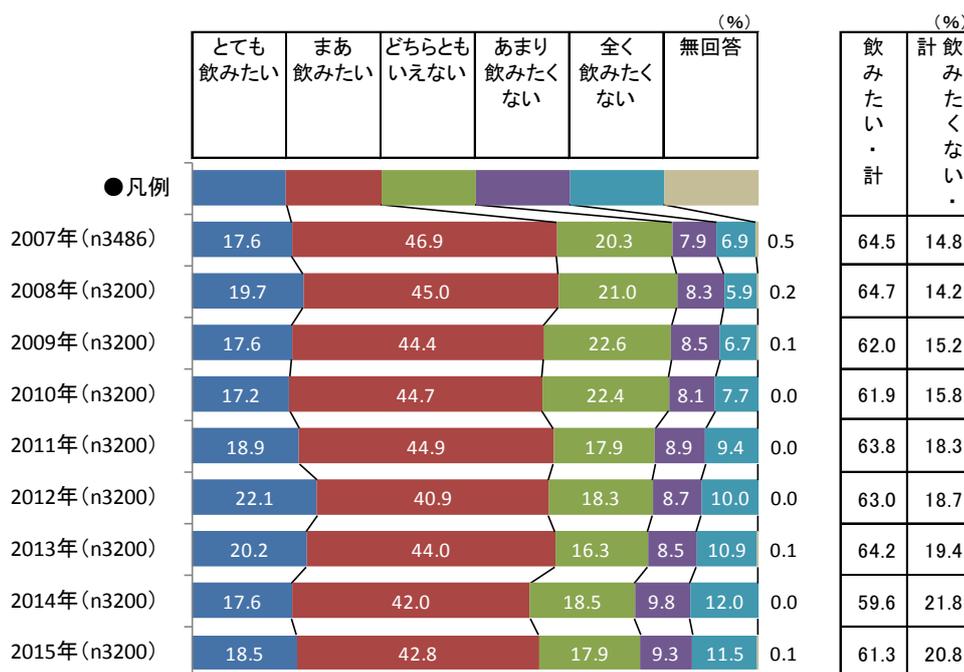


- 現在の飲用頻度別にみると、「とても飲みたい」と回答した人は飲用者全体では23%、毎日飲用する人では40%となった。「飲みたい計（とても飲みたい+まあ飲みたい）」をみると、毎日飲用する人の約9割が飲用意向を示している。
- この1年間の飲用量増減別に見ると、「飲みたい計」は増加した人で93%、変化なしの人で75%と高い。この1年間に飲用量が減少した人でも、半数近い48%が飲用意向を示している。
- 2007年度からの時系列で白もの牛乳類の飲用意向をみると、「飲みたくない計」の増加傾向がとまり、「飲みたい計」が6割台を回復している。

【図表Ⅱ-3-2】 飲用行动別 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）



【図表Ⅱ-3-3】 時系列 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）

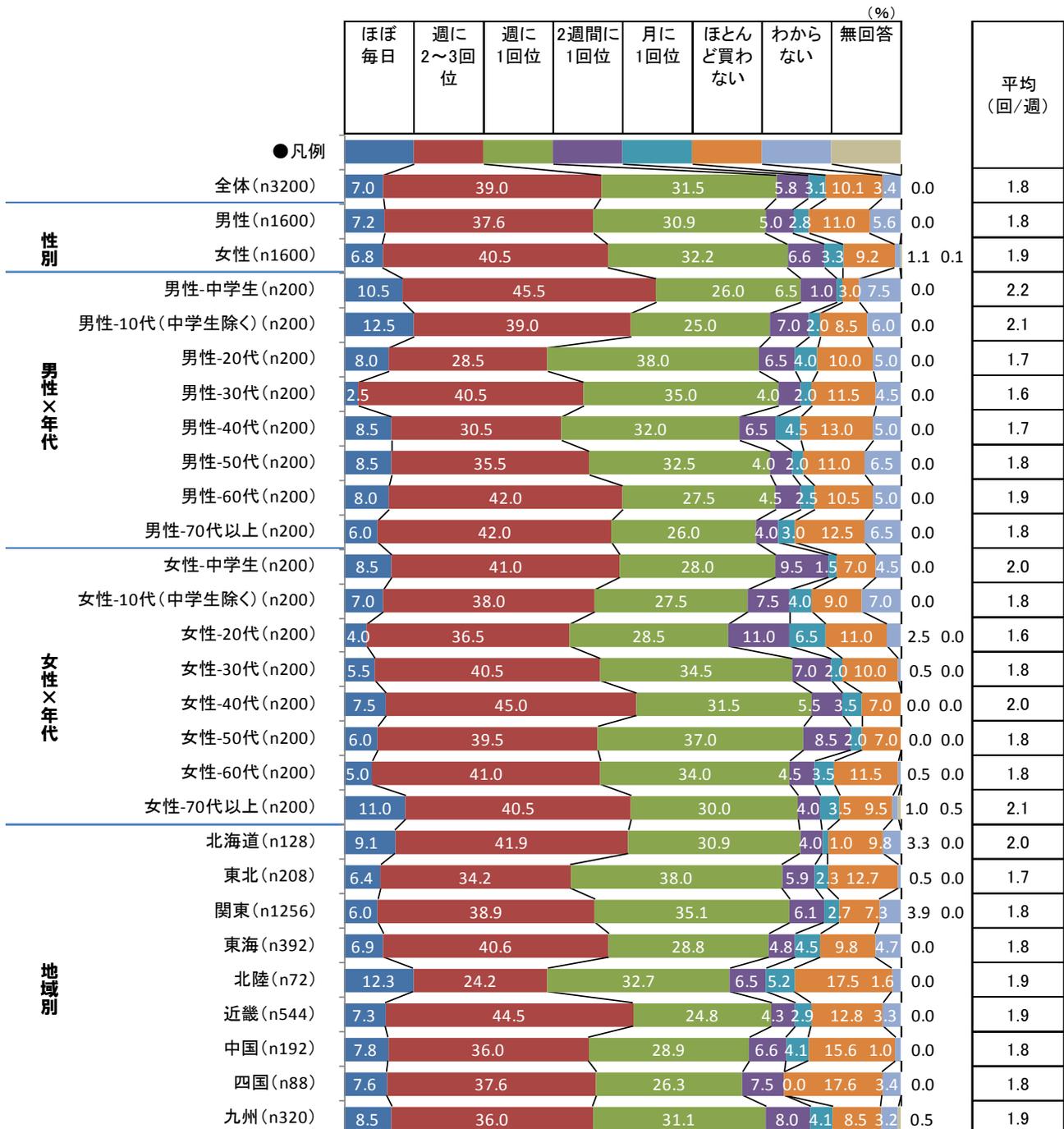


### Ⅲ. 白もの牛乳類の購入実態

#### 1. 白もの牛乳類の購入頻度

- 世帯として白もの牛乳類をどの位の頻度で購入するかを質問した。
- 全体では、「週に2~3回位」が39%で最も多く、次に「週に1回位」が32%となっている。「ほぼ毎日」は7%と1割弱で、週あたりの平均購入頻度は1.8回である。
- 性別では、「ほぼ毎日」+「週に2~3回位」の計は男性で45%（平均購入頻度1.8回）、女性で47%（同1.9回）と、性別による差は小さい。
- 性年代別では、「ほぼ毎日」+「週に2~3回位」の計は男子中学生（平均購入頻度2.2回）で56%と高い。女性は40代（同2.0回）と70代以上（同2.1回）で52~53%と高くなっている。
- 地域別では、北陸で「ほぼ毎日」が12%と唯一1割を超える。平均購入頻度は北海道で2.0回と最も多い。

【図表Ⅲ-1-1】性・年代別・地域別 問10 白もの牛乳類を購入する頻度（SA）



■白もの牛乳類を購入する頻度を時系列でみると、「ほぼ毎日」＋「週に2～3回位」計が減少している傾向が明らかで、2014年度以降は5割を下回った。一方で「週に1回位」の割合は増加傾向にあり、2015年度は3割を超えている。「ほとんど買わない」割合は増加傾向にあったが、2015年度はその傾向がとまっている。

【図表Ⅲ-1-2】時系列 問10 白もの牛乳類を購入する頻度（SA）

	n	(%)							(%)
		ほぼ毎日	週に2～3回位	週に1回位	2週間に1回位	月に1回位	ほとんど買わない	わからない無回答	ほぼ毎日＋週に2～3回位
1988年	4,604	32.3	43.1	13.0	3.0	2.6	5.5	0.5	75.4
1989年	4,579	31.9	43.9	12.9	3.0	2.1	5.2	1.0	75.8
1990年	4,691	33.6	44.4	13.2	2.9	1.8	3.5	0.7	78.0
1991年	4,714	31.7	44.8	14.3	2.8	1.8	3.9	0.6	76.5
1992年	4,651	29.3	45.3	14.9	3.3	1.6	4.6	1.0	74.6
1993年	4,553	29.2	46.3	15.3	2.5	1.8	4.2	0.7	75.5
1994年	4,617	31.7	44.3	14.5	2.5	1.6	5.1	0.3	76.0
1995年	4,668	26.3	47.0	15.7	3.1	2.3	4.9	0.7	73.3
1996年	4,706	24.5	48.4	16.7	3.5	1.9	4.6	0.4	72.9
1997年	4,547	25.5	49.5	14.6	3.4	1.7	4.9	0.3	75.0
1998年	4,472	22.2	49.5	16.7	3.8	1.6	5.9	0.3	71.7
1999年	4,476	21.8	50.7	17.7	3.4	2.2	4.1	0.1	72.5
2000年	4,632	20.8	48.9	19.1	4.0	2.6	4.1	0.5	69.7
2001年	4,778	18.3	49.1	20.0	4.5	2.5	4.9	0.7	67.4
2004年	4,177	19.5	41.5	20.7	4.3	3.0	6.7	4.4	61.0
2005年	3,896	17.6	41.6	20.6	5.6	3.6	7.0	4.1	59.2
2006年	3,478	14.5	39.0	22.4	5.3	4.3	8.9	5.5	53.5
2008年	3,200	17.3	41.3	23.9	5.0	3.4	7.3	1.9	58.6
2009年	3,200	16.4	42.1	23.1	6.2	3.5	7.4	1.3	58.5
2010年	3,200	13.9	39.9	25.2	6.0	4.0	8.0	1.3	53.8
2011年	3,200	12.2	41.1	26.9	4.5	3.3	8.9	3.1	53.3
2012年	3,200	9.7	42.7	28.1	5.4	2.8	8.8	2.4	52.4
2013年	3,200	9.1	43.3	27.1	5.0	3.3	9.1	3.1	52.4
2014年	3,200	8.7	38.2	28.3	4.8	3.6	12.4	3.8	47.0
2015年	3,200	7.0	39.0	31.5	5.8	3.1	10.1	3.4	46.0

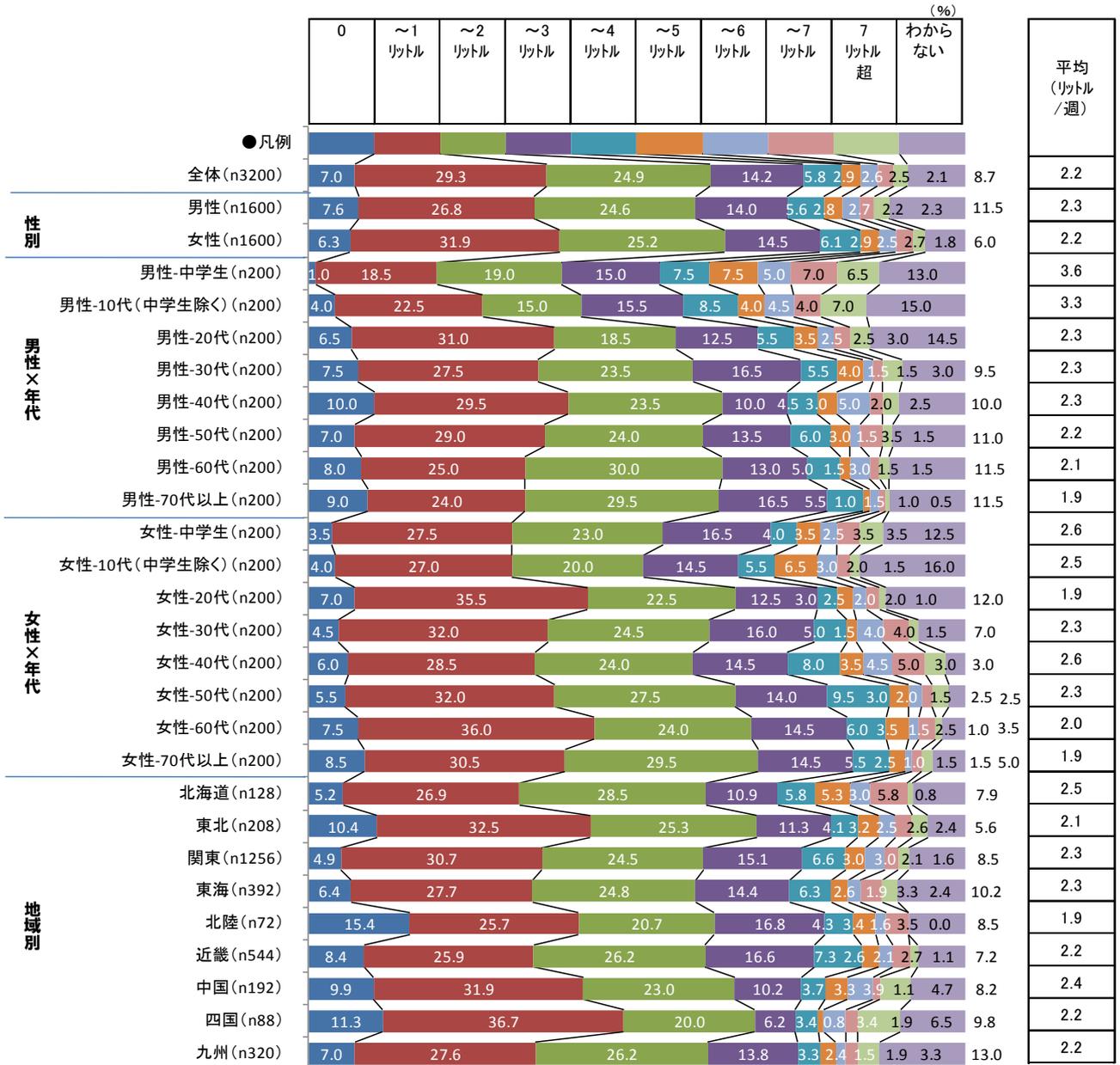
※2001年までは主婦役割主担当者が回答

※2004年、2005年、2006年、2008年、2011～2013年の無回答は、「わからない」＋「無回答」

## 2. 白もの牛乳類の購入量

- 世帯として、平均して1週間に白もの牛乳類をどの位購入しているかを質問した。
- 全体では、「0超1リットル以下」が29%、「1リットル超2リットル以下」が25%と多く、平均（リットル/週）は2.2リットルとなっている。
- 性年代別で見ると、平均購入量は男子中学生で3.6リットル、男性10代で3.3リットルと多い。
- 地域別では、平均購入量は北陸で1.9リットルと、唯一2リットルを下回る。

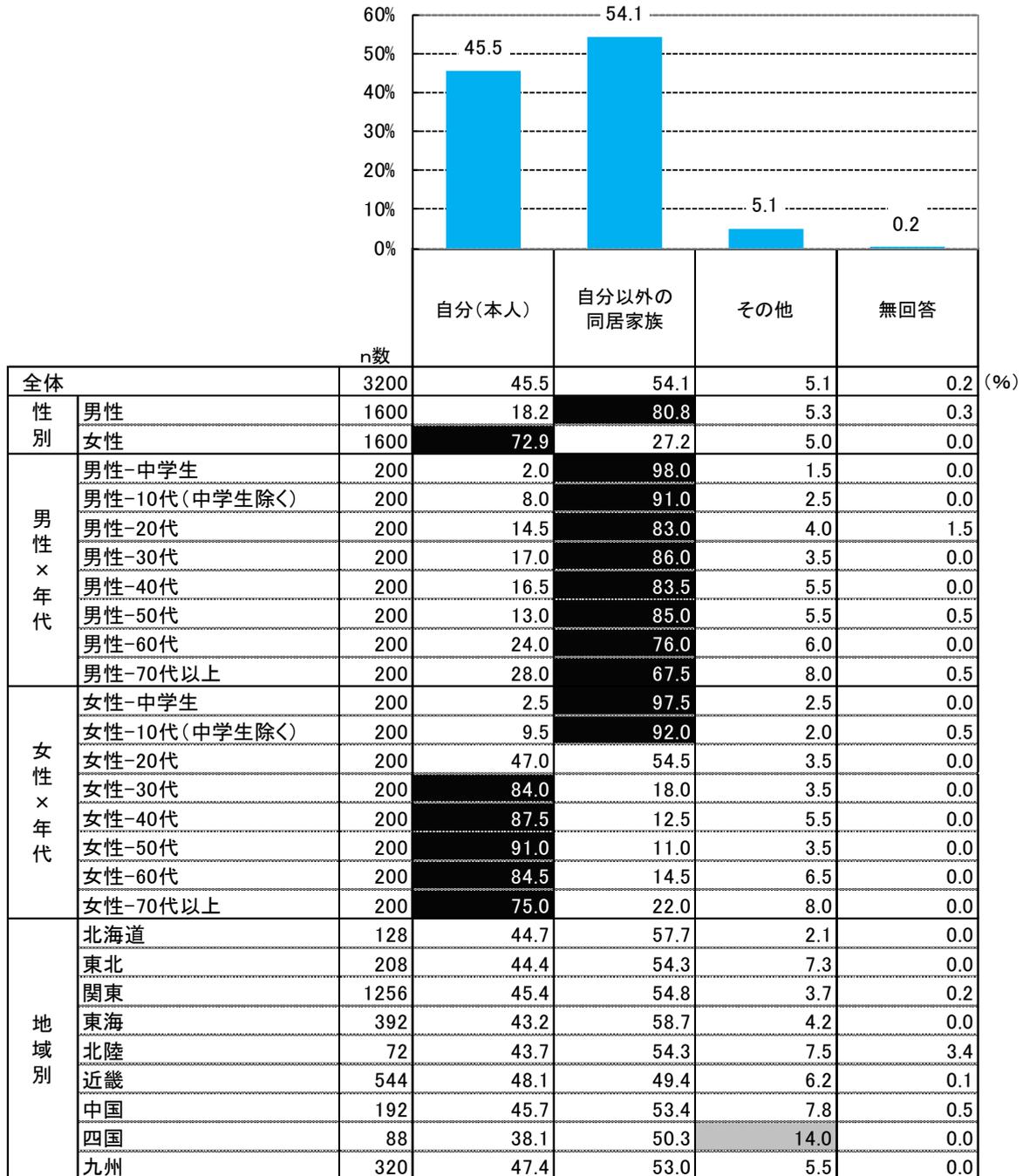
【図表Ⅲ-2-1】性・年代別・地域別 問11 一週間の白もの牛乳類の購入量（SA）



### 3. 白もの牛乳類を購入する人

- 世帯の中で白もの牛乳類の購入者を複数回答で質問した。
- 全体では、「自分(本人)」が46%、「自分以外の同居している家族」が54%となっている。
- 性別で見ると、男性は「自分以外の同居している家族」が81%、女性は「自分(本人)」が73%と多い。

【図表Ⅲ-3-1】性・年代別・地域別 問12 白もの牛乳類を購入する人 (MA)



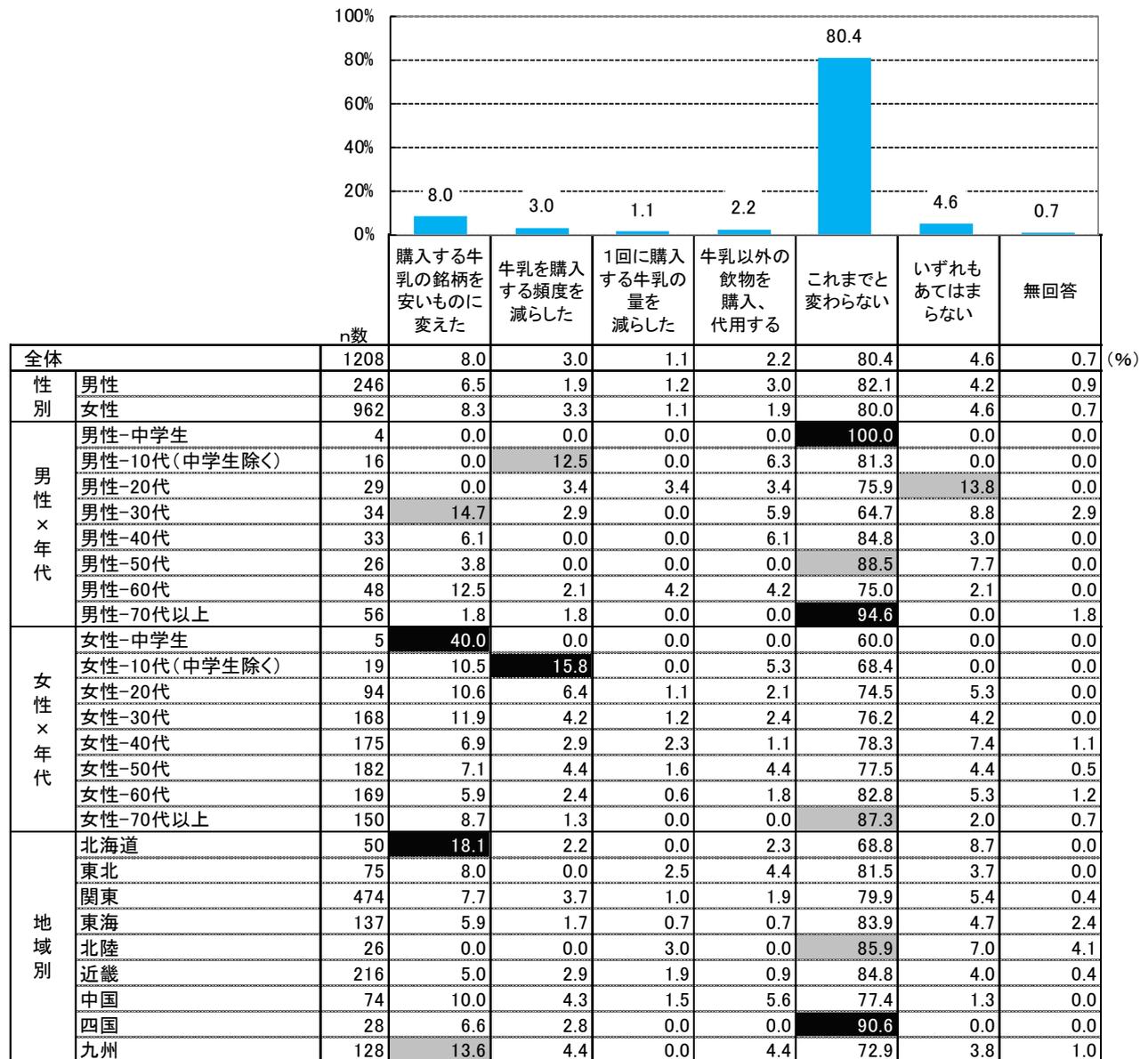
※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

#### 4. 白もの牛乳類の買い方の変化

■白もの牛乳類を自分で購入する人に、この1年間に買い方が変わったかを質問した。

■「これまでと変わらない」が全体の8割を占める。

【図表Ⅲ-4-1】性・年代別・地域別 問13 白もの牛乳の「買い方」は変わったか (SA)



※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

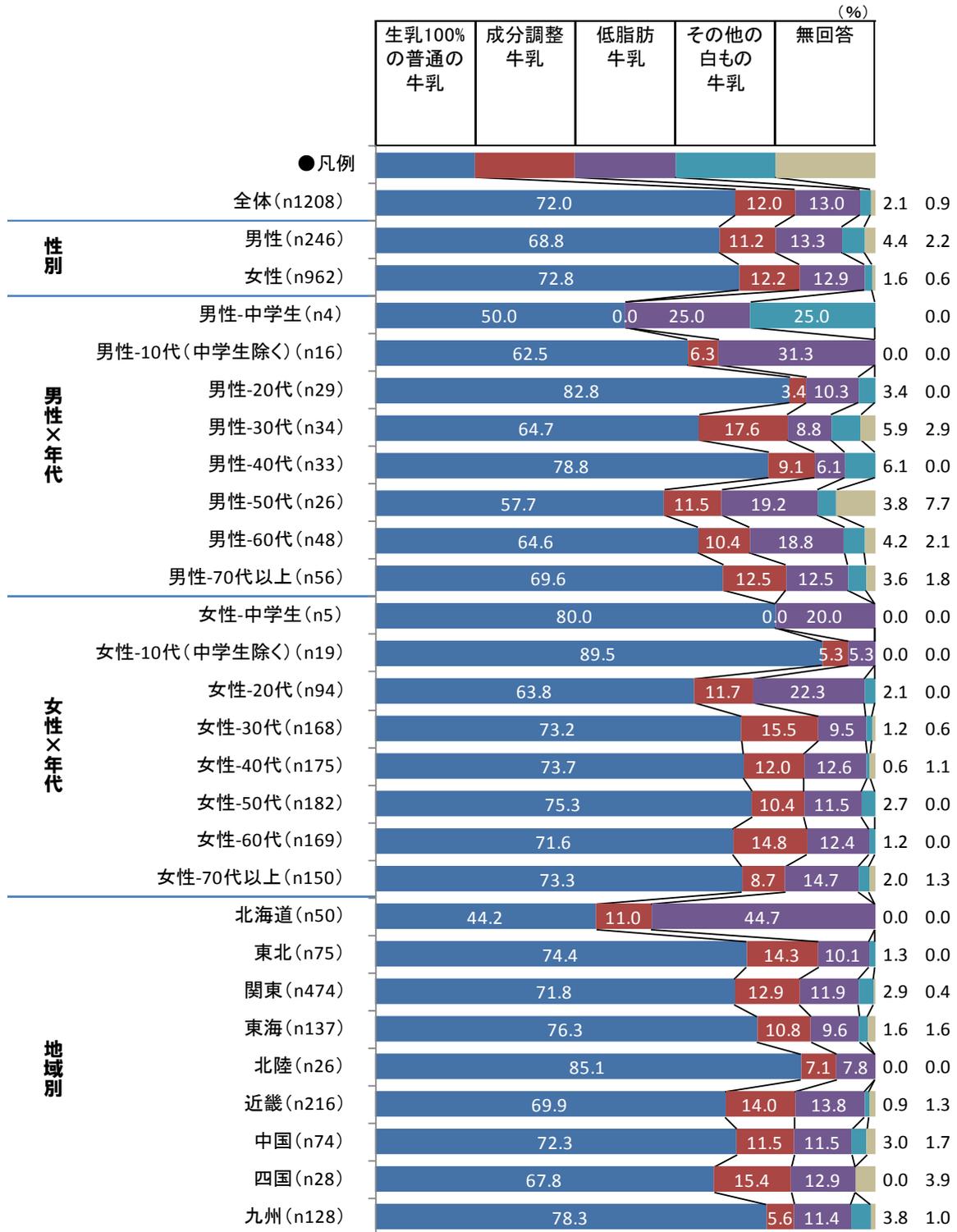
【図表Ⅲ-4-2】時系列 問13 白もの牛乳の「買い方」は変わったか (SA)

年次	n数	購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	牛乳を購入する頻度を減らした	1回に購入する牛乳の量を減らした	牛乳以外の飲物を購入、代用する	これまでと変わらない	いずれもあてはまらない	無回答
2010	1167	10.5	3.1	1.8	3.7	77.3	3.3	0.4
2011	1138	7.4	2.5	2.3	2.5	80.2	5.1	0.0
2012	1137	5.6	1.9	1.0	2.2	83.8	5.4	0.0
2013	1158	6.1	1.9	1.1	2.1	84.6	4.0	0.2
2014	1144	8.4	2.6	1.3	2.9	79.9	4.8	0.0
2015	1208	8.0	3.0	1.1	2.2	80.4	4.6	0.7

## 5. 主に購入している白もの牛乳類

- 普段主に購入している白もの牛乳類を購入者に聞いたところ、「生乳100%の普通の牛乳」が72%で最も多く、「低脂肪牛乳」は13%、「成分調整牛乳」は12%となっている。
- 性年代別では、男性50代で「生乳100%の普通の牛乳」が目立って低く、6割を下回る。

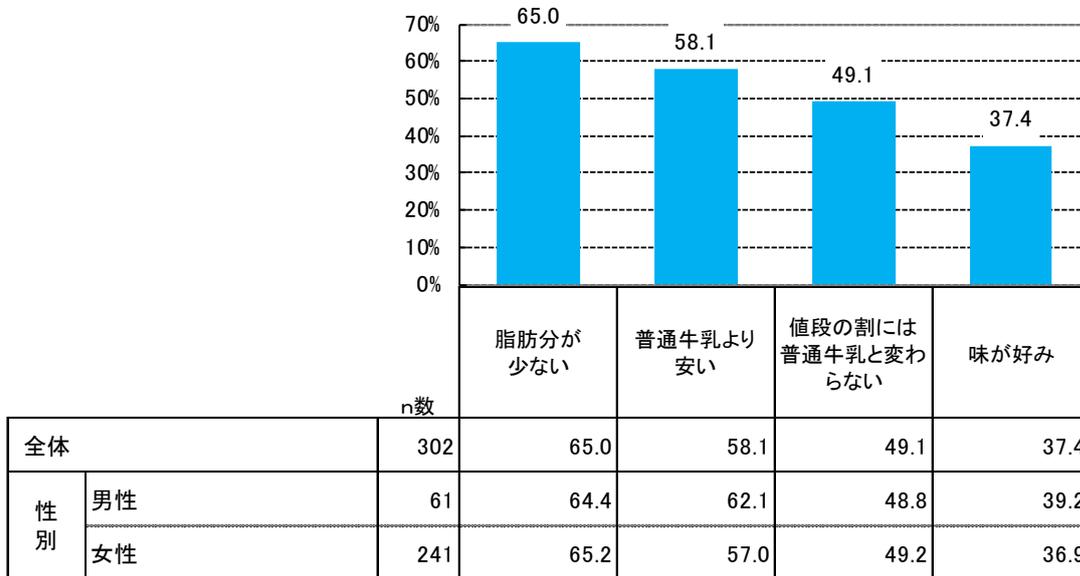
【図表Ⅲ-5-1】性・年代別・地域別 問14 普段購入している白もの牛乳（SA）



## 6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由

■「成分調整牛乳」「低脂肪乳」を購入する人の購入理由は、「脂肪分が少ない」が65%と最も多く、次いで「普通牛乳より安い」が58%、「値段の割には普通牛乳と変わらない」が49%であり「味が好み」の37%を大きく上回っている。

【図表Ⅲ-6-1】性・年代別 問15 成分調整牛乳・低脂肪乳購入理由（MA）＜成分調整牛乳・低脂肪乳購入者ベース＞



※あてはまる計

## IV. 普段よく飲む飲み物

### 1. 普段よく飲む飲み物

■ 普段よく飲用する飲み物の種類を質問した。

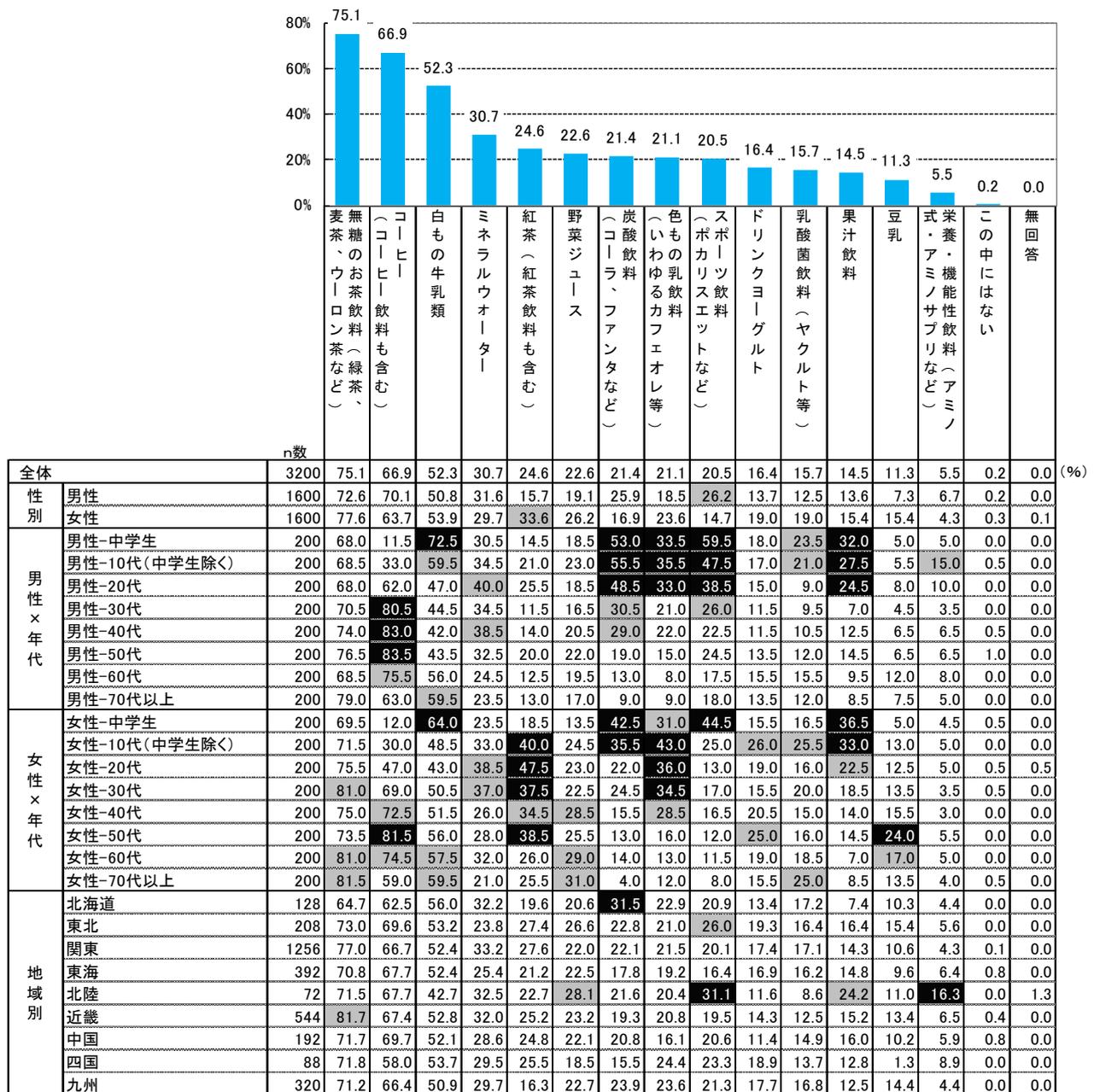
■ 全体では「無糖のお茶飲料」が75%で最も多く、次いで「コーヒー（飲料）」が67%、「白もの牛乳類」が52%で上位に並ぶ。以下、「ミネラルウォーター（31%）」、「紅茶（飲料）（25%）」、「野菜ジュース（23%）」、「炭酸飲料（21%）」、「色もの乳飲料（21%）」、「スポーツ飲料（21%）」と続く。

■ 性別では、「白もの牛乳類」は男性で51%、女性で54%と女性の方がわずかに多い。

■ 性年代別では、「白もの牛乳類」は男子中学生で73%と全体より20ポイント以上高いほか、男性10代、男性70代以上、女子中学生、女性60代、70代以上で全体より5~12ポイント高くなっている。男子中学生では「白もの牛乳類」が普段よく飲用する飲み物として最上位となっている。

■ 地域別では、「白もの牛乳類」の割合は北陸で4割と他の地域の5割以上に対して低くなっている。

【図表IV-1-1】性・年代別・地域別 問16 普段よく飲む飲み物（MA）

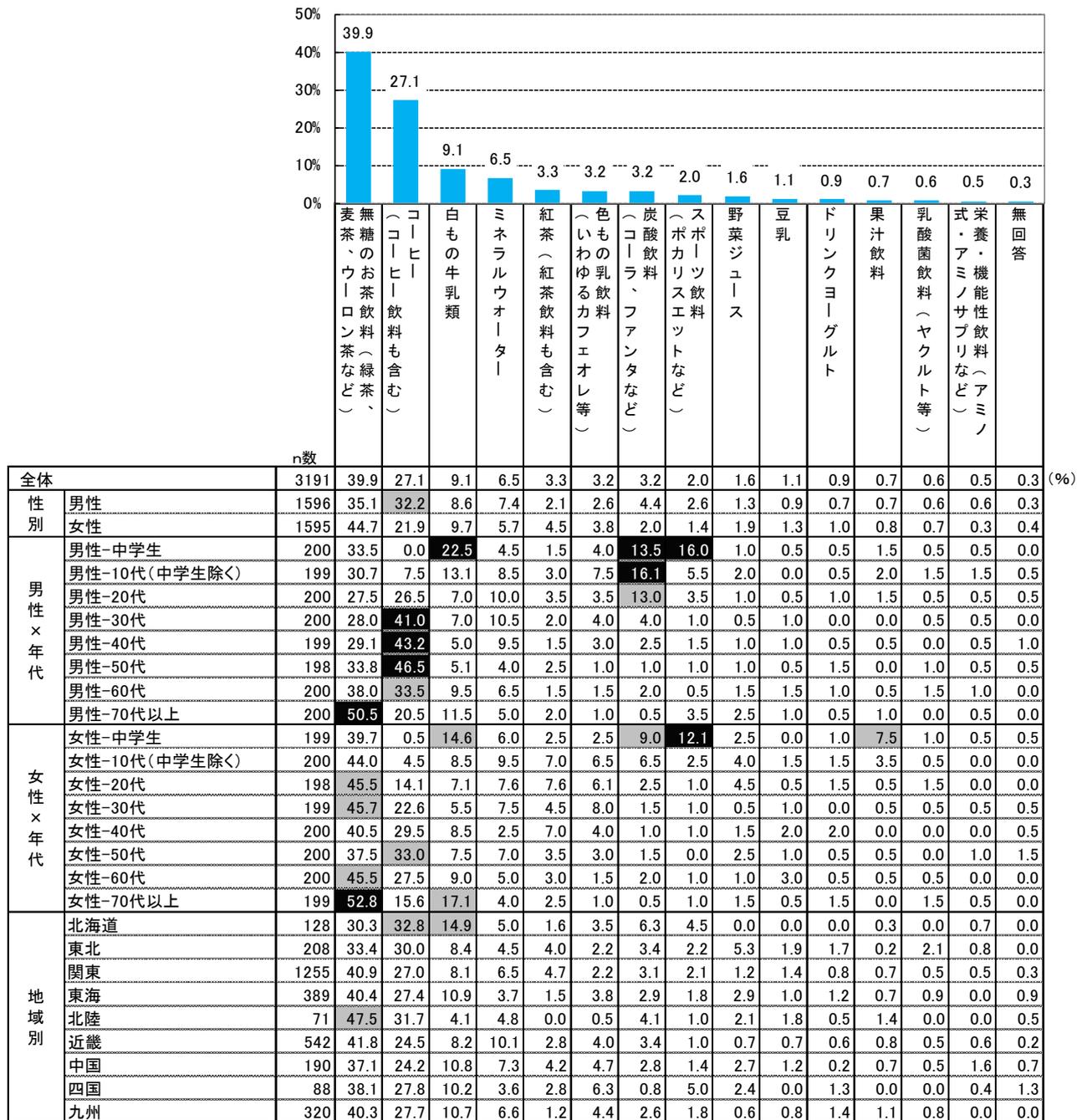


※ ■ = 全体より、10%以上高い、 ■ = 全体より、5%以上高い、

## 2. 普段もっともよく飲む飲み物

- 普段よく飲用する飲み物の中で最もよく飲むものを質問した。
- 全体では「無糖のお茶飲料」が40%で最も多く、次いで「コーヒー（飲料）（27%）」、ついで多い「白もの牛乳類」は9%にとどまっている。
- 性別では、「白もの牛乳類」は男性で9%、女性で10%とほとんど差は見られない。
- 性年代別でみると、「白もの牛乳類」は男子中学生で23%に達し、全体より10ポイント以上高くなっている。このほか女子中学生や女性70代でも15~17%で、全体より5ポイント以上高くなっている。

【図表IV-2-1】性・年代別・地域別 問17 普段もっともよく飲む飲み物（SA）



※ ■ = 全体より、10%以上高い、 ■ = 全体より、5%以上高い、

【図表IV-2-2】時系列 問16 普段よく飲む飲み物 (MA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	この中にはない	無回答
2002年	4,277	67.9	/	19.5	/	28.2	28.3	9.9	24.0	64.0	34.2	86.3	32.9	/	30.7	0.3	0.1
2005年	3,896	64.0	/	22.7	/	27.2	29.7	18.2	20.5	63.4	31.2	85.2	32.1	/	29.4	0.4	0.1
2006年	3,478	49.5	/	15.4	19.0	18.4	23.2	9.9	15.4	61.1	22.5	72.9	23.9	10.2	20.8	0.6	0.1
2007年	3,486	51.5	24.6	13.9	18.7	19.1	27.3	9.0	16.6	61.2	24.9	74.5	25.9	9.9	25.4	0.2	0.1
2008年	3,200	56.7	19.6	11.8	16.4	17.1	24.1	7.8	19.2	55.1	22.0	65.2	25.1	8.9	22.2	0.7	0.1
2009年	3,200	54.8	25.9	14.6	19.8	19.2	24.0	8.4	21.0	60.8	22.6	71.7	24.3	8.5	26.8	0.3	0.0
2010年	3,200	48.8	24.7	12.7	18.3	19.3	23.6	8.9	22.7	63.0	22.6	70.1	26.3	6.2	27.7	0.2	0.0
2011年	3,200	53.2	23.1	13.8	17.7	19.2	28.1	9.0	23.9	61.4	24.4	74.2	25.0	6.8	30.3	0.8	0.1
2012年	3,200	56.2	22.8	15.3	18.8	21.1	28.9	10.3	26.6	64.2	25.1	73.2	26.8	8.4	32.3	0.4	0.0
2013年	3,200	51.8	22.6	16.1	16.5	19.5	29.2	11.0	25.4	64.7	26.4	74.9	23.4	8.1	32.6	0.7	0.2
2014年	3,200	50.2	23.5	18.4	16.6	17.9	27.1	10.3	21.9	65.1	26.7	72.8	21.2	5.8	30.8	0.5	0.0
2015年	3,200	52.3	21.1	16.4	15.7	14.5	22.6	11.3	21.4	66.9	24.6	75.1	20.5	5.5	30.7	0.2	0.0

※斜線はデータなし

※02年、05年は、06年・07年・08年とは質問形式が異なる

■最もよく飲む飲み物を2007年度からの時系列変化でみると、「無糖のお茶飲料」や「コーヒー(飲料)」が大きなシェアを占め、2015年度では2014年度と比べてさらにシェアを拡大している。

【図表IV-2-3】時系列 問17 普段もっともよく飲む飲み物 (SA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	無回答
2002年	4,259	15.2	/	0.5	/	1.5	1.3	0.3	2.0	21.6	1.6	51.2	1.8	/	2.5	0.5
2005年	3,877	15.4	/	0.6	/	0.9	1.9	1.2	1.1	20.6	2.0	49.1	2.3	/	4.8	0.1
2006年	3,478	11.8	/	0.9	1.5	1.3	1.5	1.2	2.4	26.5	2.5	40.2	2.4	1.0	5.5	1.2
2007年	3,475	10.8	3.1	1.0	1.1	1.0	2.8	1.1	1.8	22.5	2.4	42.3	2.8	0.6	5.9	0.7
2008年	3,178	16.0	3.0	0.9	1.5	1.8	2.4	0.9	2.6	24.2	2.1	35.7	2.8	0.6	5.2	0.3
2009年	3,193	11.7	2.9	0.8	1.3	1.3	2.0	0.6	3.0	24.5	2.5	39.9	2.5	0.6	5.9	0.7
2010年	3,192	10.9	3.2	0.8	1.2	1.3	1.7	0.7	3.3	26.6	2.5	37.0	2.4	0.3	6.4	1.4
2011年	3,194	10.8	3.3	0.5	1.0	1.1	1.6	1.1	4.3	23.4	2.8	39.6	2.7	0.6	7.0	0.2
2012年	3,191	10.8	3.0	0.7	0.8	1.3	1.4	1.2	4.0	25.2	2.9	39.0	2.6	0.3	6.4	0.2
2013年	3,182	10.1	2.9	0.7	0.4	1.0	1.8	1.1	4.0	27.0	2.9	38.9	2.0	0.3	6.7	0.1
2014年	3,187	11.0	3.5	1.3	1.0	1.8	2.1	1.0	5.4	22.9	3.0	36.0	3.4	0.4	6.9	0.1
2015年	3,191	9.1	3.2	0.9	0.6	0.7	1.6	1.1	3.2	27.1	3.3	39.9	2.0	0.5	6.5	0.3

※斜線はデータなし

※02年、05年の「最もよく飲む飲み物」は、ふだんよく飲む飲み物がある人ベース

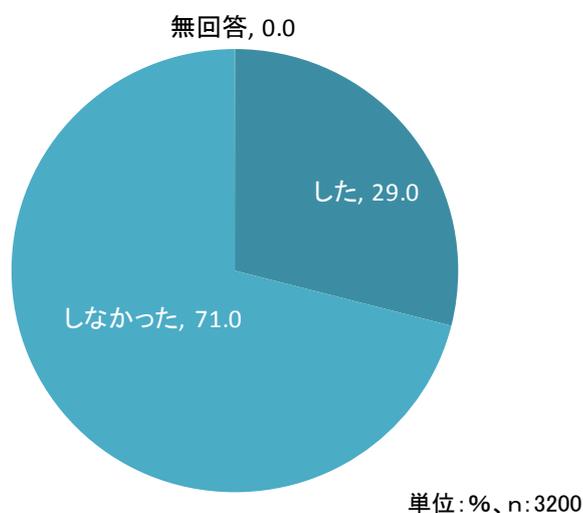
※02年、05年は、06年以降とは質問形式が異なる

## V. 白もの牛乳類を使った料理の実態

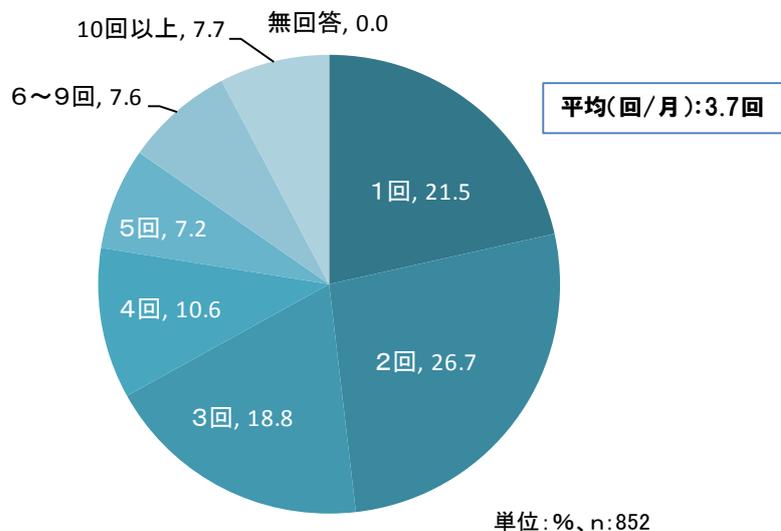
### 1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動

- 白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを質問した。次に、料理を作ったと回答した人に、その料理回数と料理に使用した白もの牛乳類の量を質問した。
- 白もの牛乳類を使って料理をしたのは、全体で29%となった。
- 料理回数は「2回(27%)」とする人が最も多く、「1回(22%)」、「3回(19%)」と続く。平均料理回数(回/月)は3.7回である。
- 白もの牛乳類の料理使用量は、1ヶ月間で「1カップ(200ml)」とする人が26%で最も多く、次いで「2カップ(400ml)」が18%である。平均使用量(ml/月)は398.5mlである。

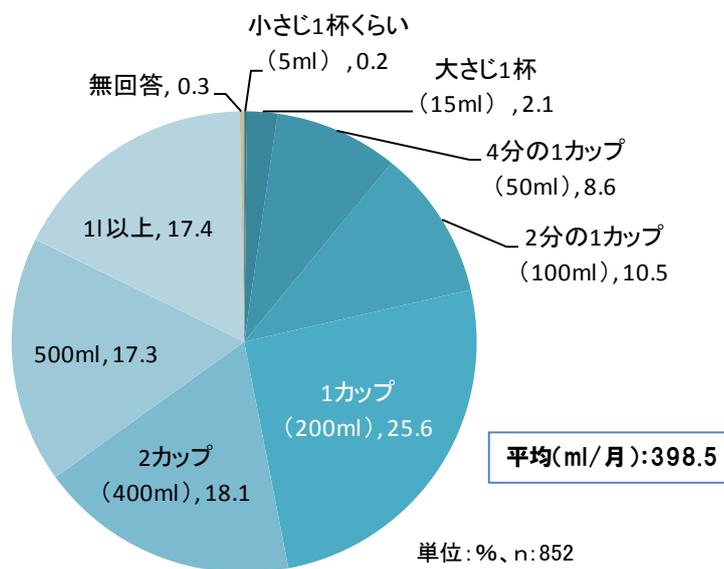
【図表V-1-1】 問18 白もの牛乳類を使った料理行動 (SA)



【図表V-1-2 問】 18-1 白もの牛乳類の料理回数 (SA) <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

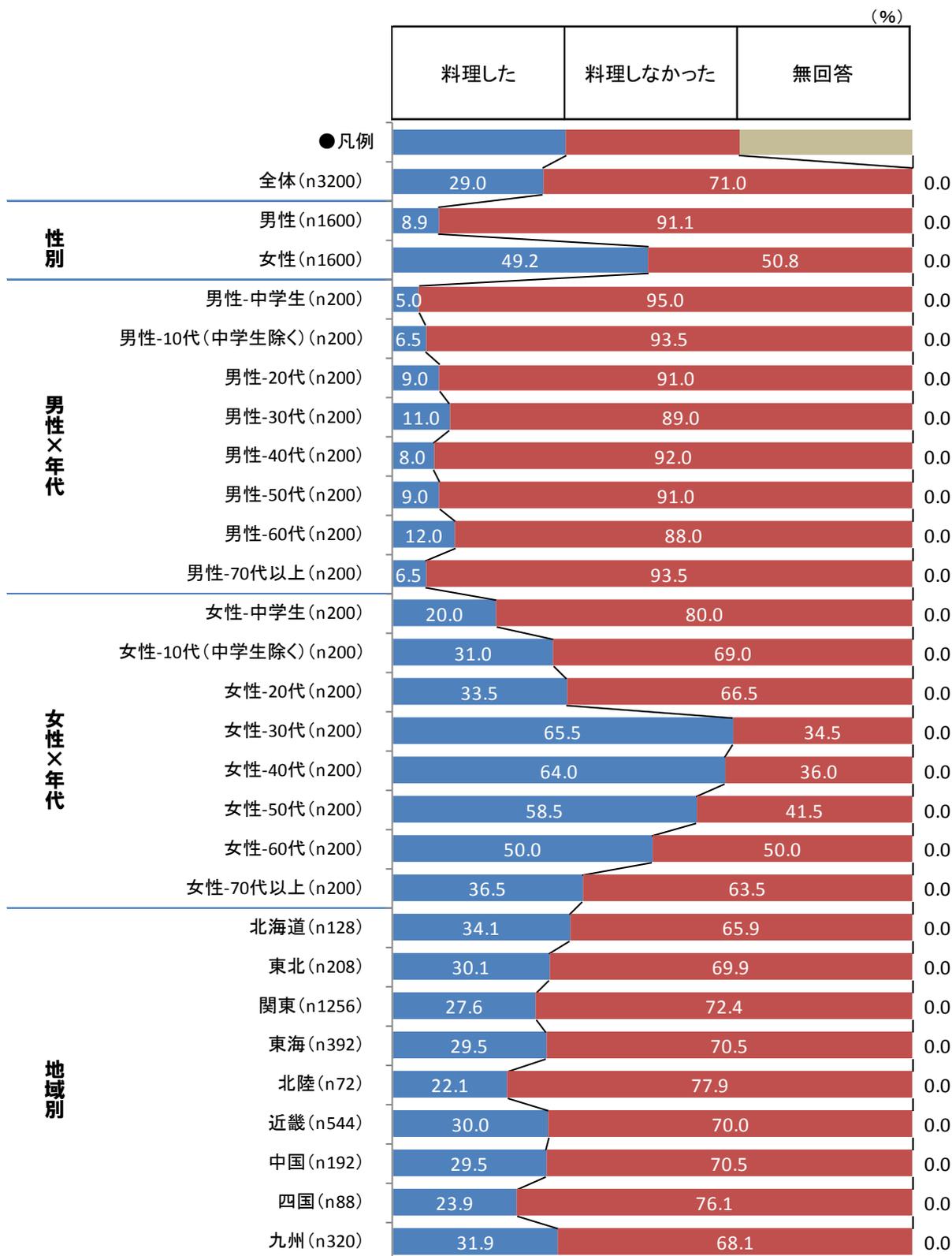


【図表V-1-3】 問 18-3 白もの牛乳類の料理使用量 (SA) <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



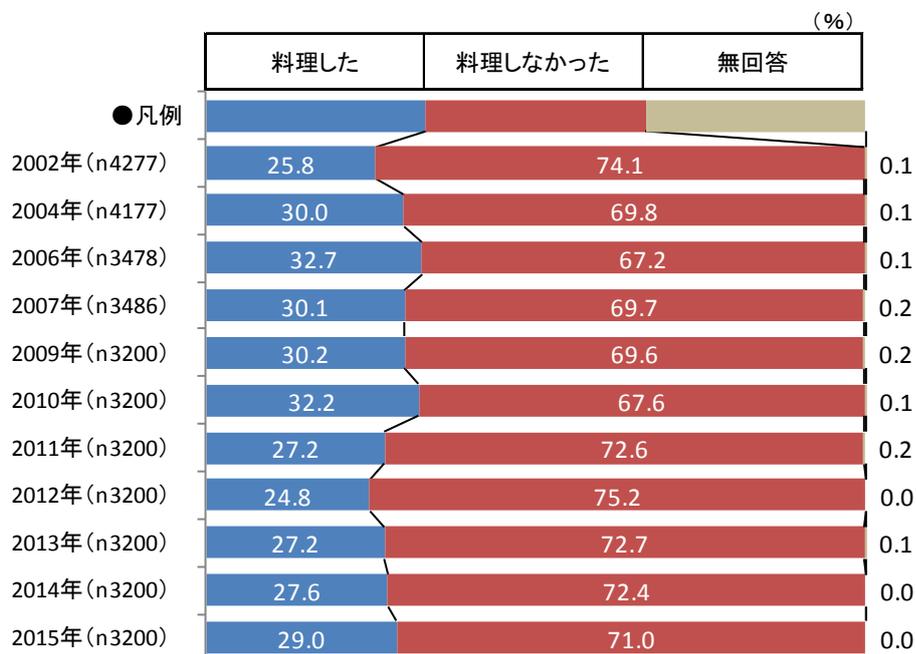
- 調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした割合を性別にみると、女性が49%と5割近い。
- 性年代別では、女性の30代で66%、40代で64%と高くなっている。
- 地域別では、北海道で34%と高く、このほか東北、近畿、九州でも3割に達する。

【図表V-1-4】性・年代別・地域別 問18 白もの牛乳類を使った料理行動（SA）



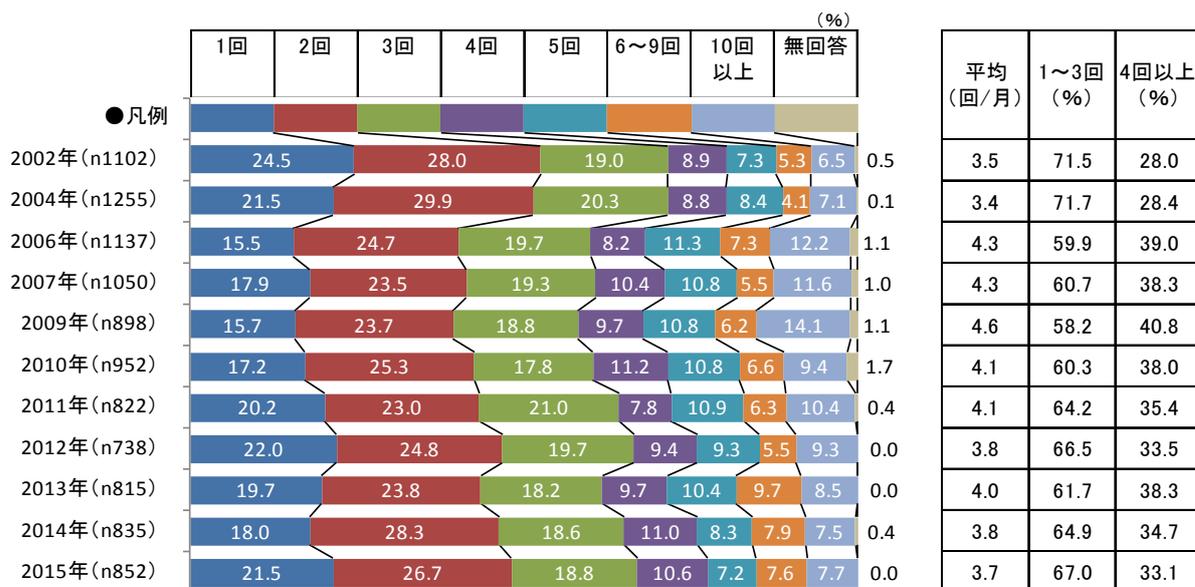
■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした割合を時系列で見ると、2012年以降微増傾向が続いている。

【図表V-1-5】時系列 問18 この1ヶ月間の白もの牛乳類を使った料理行動 (SA)



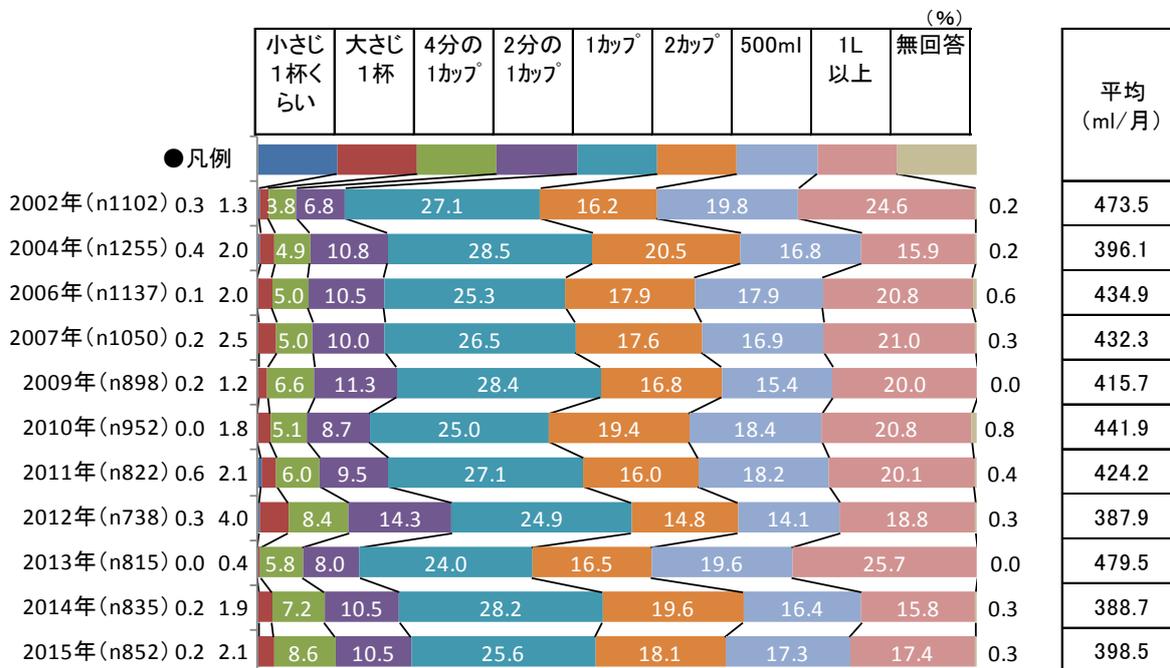
■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした回数を時系列で見ると、2015年度は月平均3.7回となり、回数の中では微減の傾向が続いている。

【図表V-1-6】時系列 問18-1 白もの牛乳類の料理回数 (SA) <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



■白もの牛乳類の料理使用量を時系列で見ると、2015年度は月平均398.5mlとなり、2014年度よりも約10ml増加した。

【図表V-1-7】時系列 問18-3 白もの牛乳類の料理使用量（SA）  
 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

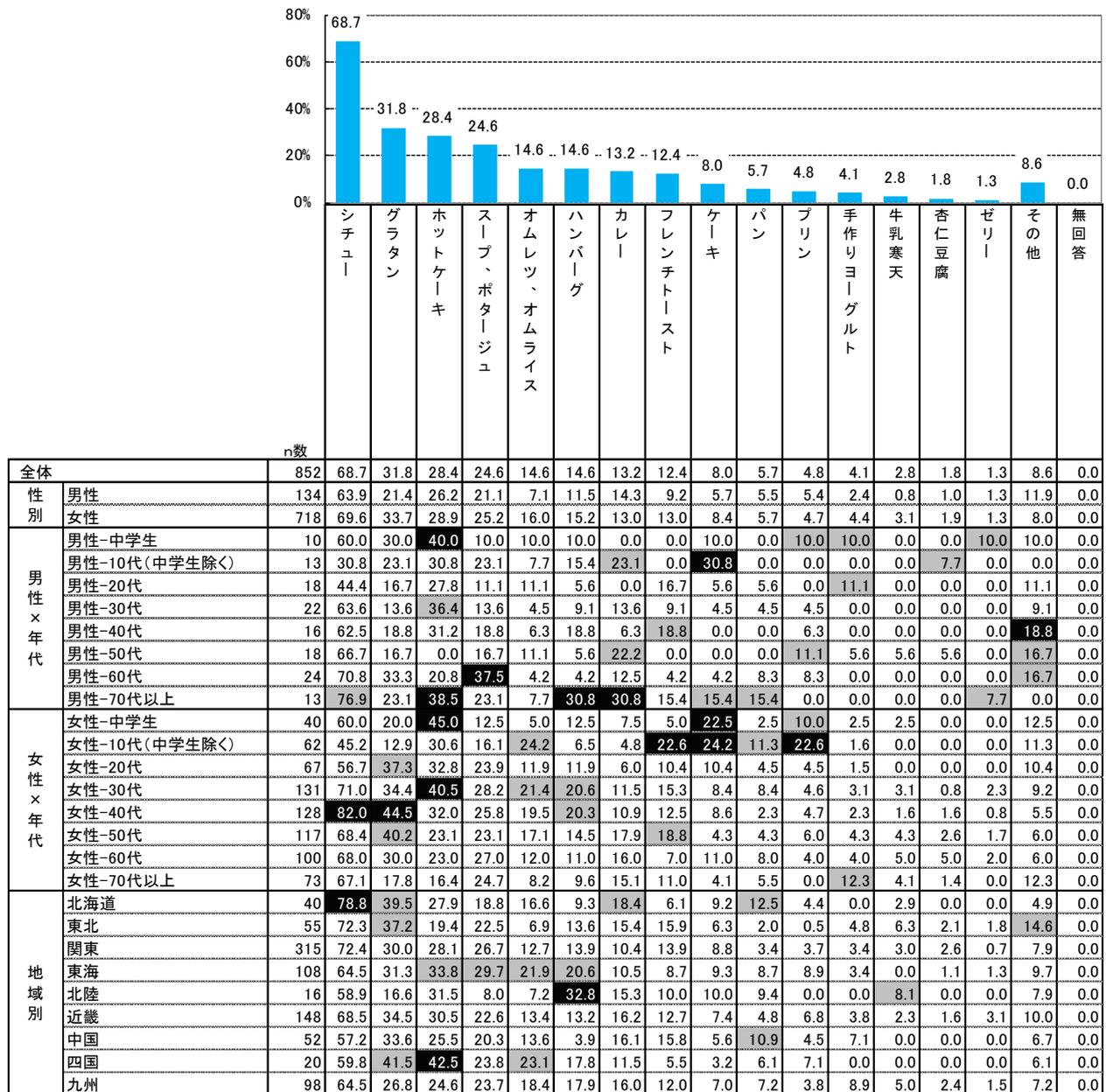


## 2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理

- 調査時点の1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人に、その種類を質問した。
- 全体では「シチュー」が69%と突出して高く、次いで「グラタン」が32%、「ホットケーキ」が28%、「スープ、ポタージュ」が25%となっている。

【図表V-2-1】 性・年齢別・地域別 問18-2 この1ヶ月の牛乳を使った料理 (MA)

＜この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース＞



※ ■ = 全体より、10%以上高い、 ■ = 全体より、5%以上高い、

【図表V-2-2】 時系列 問18-2 この1ヶ月間の牛乳を使った料理 (MA)

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理した人ベース>

(%)

年次	n数	シチュー	スープ、ポタージュ	グラタン	カレー	オムレツ、オムライス	ハンバーグ	フレンチトースト	ホットケーキ	ケーキ	パン	手作りヨーグルト	牛乳寒天	プリン	ゼリー	杏仁豆腐	その他	無回答
2010	952	63.3	23.3	30.2	16.3	17.2	21.3	12.2	36.0	6.8	5.6	6.4	6.1	7.5	2.4	1.9	7.6	0.1
2011	822	65.3	22.4	33.6	18.6	15.6	18.6	12.0	28.8	8.7	5.7	6.5	4.4	7.1	2.0	2.2	8.2	0.4
2012	738	57.6	23.9	30.1	19.8	16.9	18.8	13.5	30.7	9.5	5.3	5.3	4.9	5.1	1.9	4.0	9.0	0.0
2013	815	74.1	26.0	31.3	17.3	18.1	20.2	17.7	34.4	8.2	6.0	4.5	4.2	5.5	1.9	1.6	6.4	0.0
2014	835	70.7	25.2	35.5	14.3	17.8	18.1	14.4	32.3	8.0	4.9	4.1	3.0	5.0	1.1	1.2	6.6	0.1
2015	852	68.7	24.6	31.8	13.2	14.6	14.6	12.4	28.4	8.0	5.7	4.1	2.8	4.8	1.3	1.8	8.6	0.0

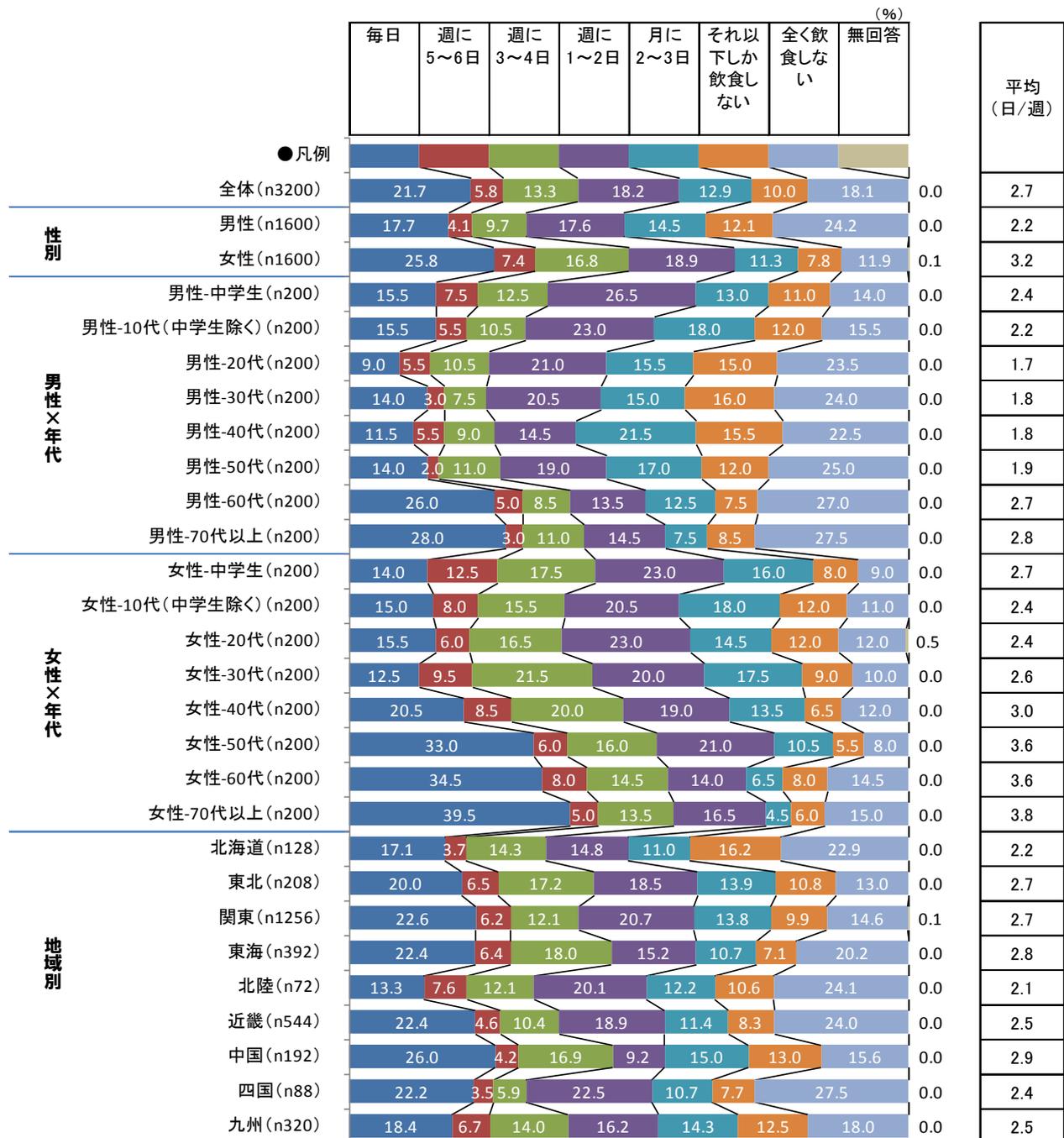
## VI. 乳製品の飲食実態

### 1. ヨーグルトの飲食状況

#### (1) ヨーグルトの飲食頻度

- 日頃どのくらいの頻度でヨーグルトを飲食するかを質問した。
- 全体では、「毎日」飲食する人は22%で、週に1日以上飲食する人の合計は59%となっている。平均飲食頻度（日/週）は2.7日。一方、「全く飲食しない」という人は18%である。
- 性別では、週に1日以上飲食する人の計は男性で49%、女性で69%となり、女性の方が20ポイント高い。
- 性年代別にみると、男性の60代、70代以上では「毎日」が26~28%と高く、平均飲食頻度も2.7~2.8日となっている。女性は50代を超える各年代で「毎日」が3割以上と高く平均飲食頻度も3.6~3.8日となっている。
- 地域別では、平均飲食頻度は中国で2.9日、東海で2.8日と高く、北陸、北海道で低い。

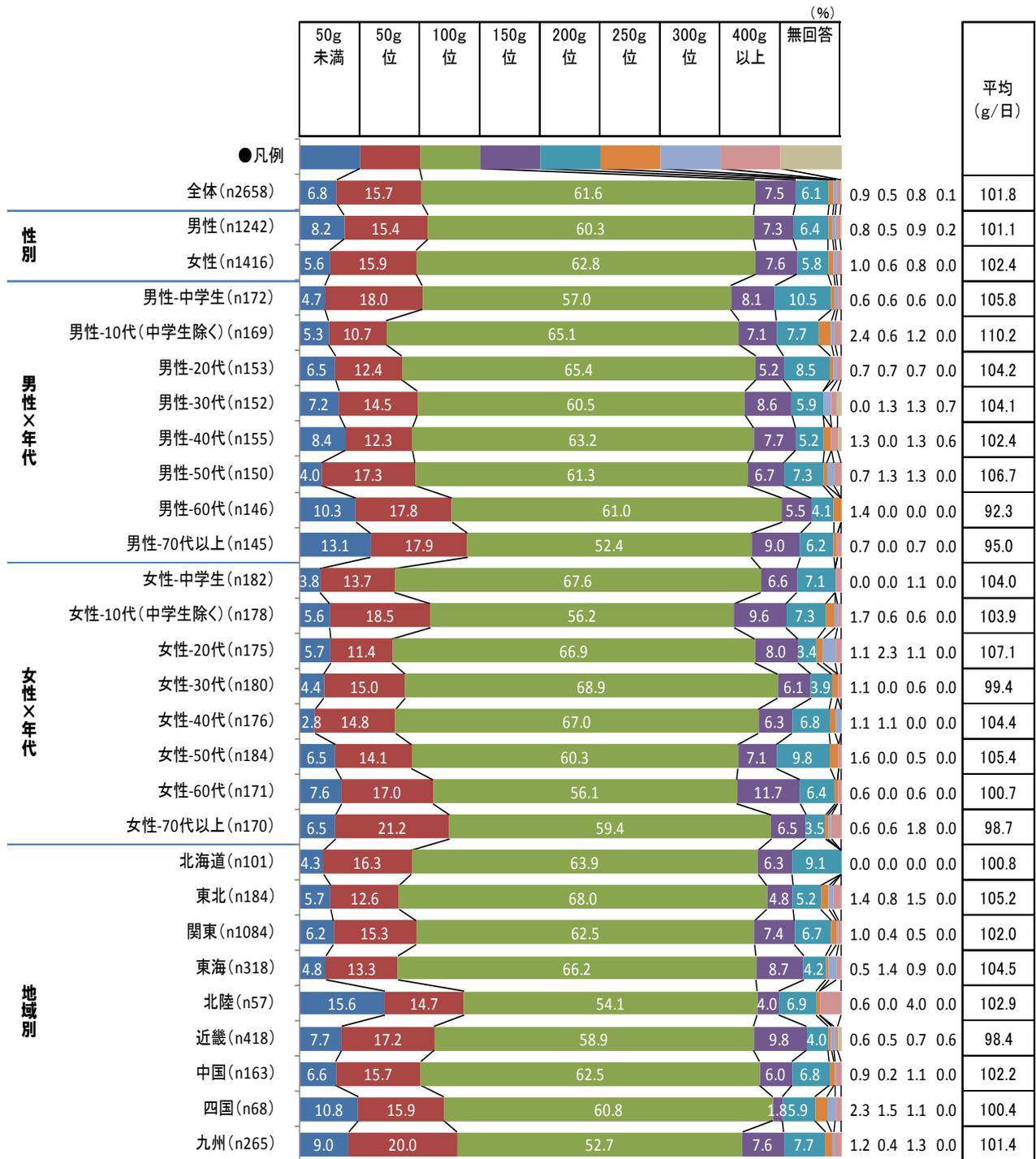
【図表VI-1-1】性・年代別・地域別 問19 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度（SA）



(2) ヨーグルトの飲食用量

- ヨーグルトを食べる（飲む）ときの一日の飲食用量を質問した。
- 全体では「100g位」と答えた人が62%と多く、平均では一日に101.8gとなっている。
- 性別では、平均飲食用量は男性で101.1g、女性で102.4gと大きな差はみられない。
- 性年代別では、男性は10代で、女性は20代で平均飲食用量がやや多くなっている。

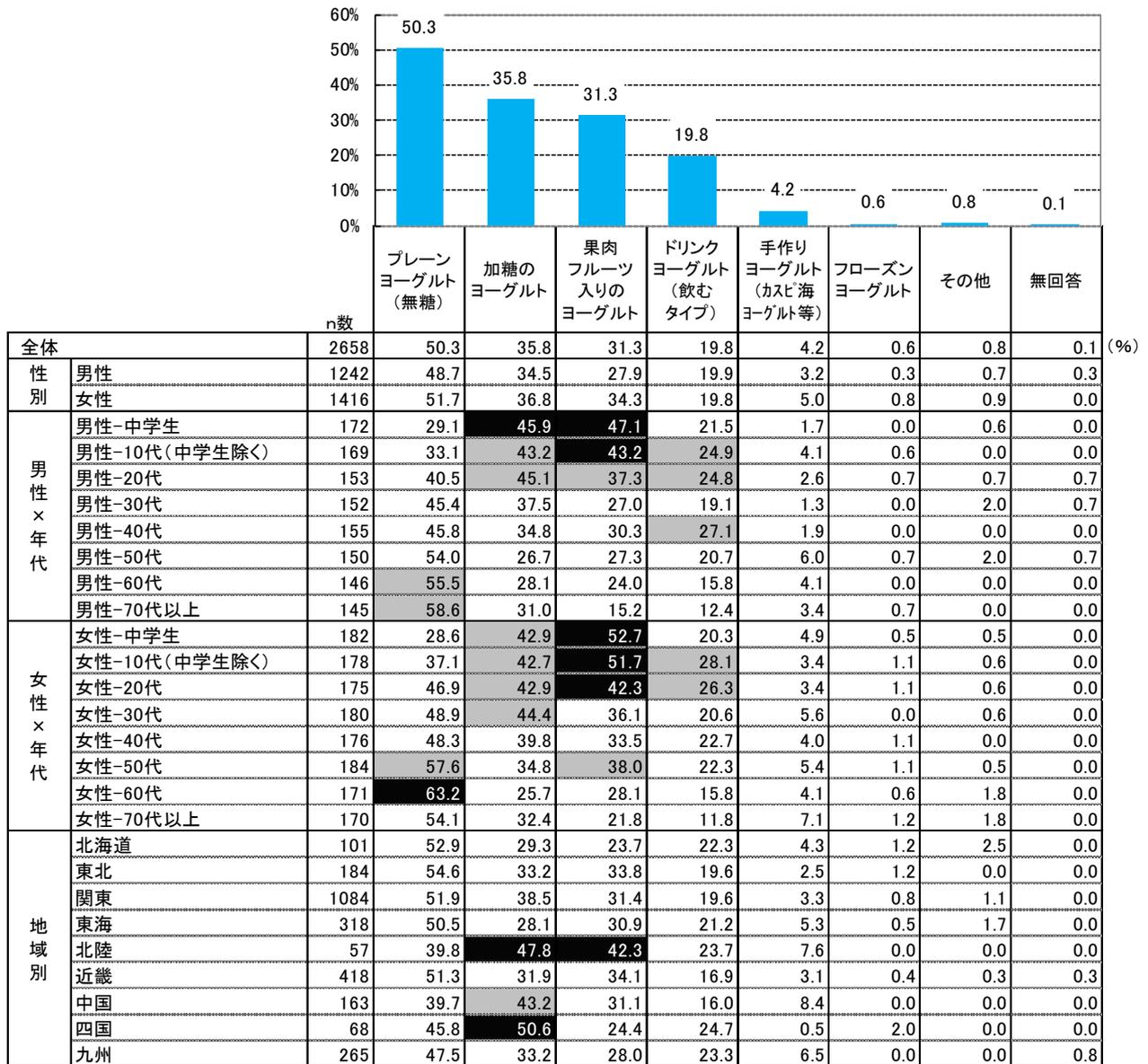
【図表VI-1-2】 性・年代別・地域別 問20 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量（SA） <飲食者ベース>



### (3) ヨーグルトのタイプ

- ヨーグルトを飲食する人に、どのようなタイプのヨーグルトを飲食することが多いかを質問した。
- 全体では、「プレーンヨーグルト（無糖）」が50%、「加糖のヨーグルト」が36%、「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が31%となっている。
- 性別で見ると、女性では「果肉フルーツ入りのヨーグルト（34%）」と男性を大きく上回る。
- 性年代別では、男女とも若年層で「加糖のヨーグルト」や「果肉フルーツ入りのヨーグルト」を食べる割合が高いのが目立つ。「プレーンヨーグルト（無糖）」は男女ともに50代より上の世代で55%前後と多く、女性60代では6割を超えている。

【図表VI-1-3】性・年代別・地域別 問21 飲食するヨーグルトのタイプ（MA）＜ヨーグルト飲食者ベース＞



※ ■ = 全体より、10%以上高い  
■ = 全体より、5%以上高い

■ 日頃ヨーグルトを飲食する頻度を時系列で見ると、2015年度の「週に1日以上食べる」割合は59%となっており、過去10年の中で最も高い割合となっている。

【図表VI-1-4】時系列 問19 日頃ヨーグルトを飲食する頻度 (SA)

(%)										
	n	毎日 食べる/ 飲む	週に 5~6日 食べる/ 飲む	週に 3~4日 食べる/ 飲む	週に 1~2日 食べる/ 飲む	月に 2~3日 食べる/ 飲む	それ以下 しか 食べない/ 飲まない	全く 食べない/ 飲まない	無回答	週に 1日以上 食べる ・計
2005年	3,896	16.5	5.8	15.3	21.0	17.7	9.0	14.6	0.1	58.6
2006年	3,478	16.3	5.6	13.1	19.1	17.6	10.4	17.7	0.1	54.1
2007年	3,486	15.2	5.2	13.4	20.9	18.1	10.7	16.4	0.1	54.7
2008年	3,200	14.6	5.0	13.9	20.3	17.6	11.8	16.8	0.1	53.8
2009年	3,200	15.0	6.3	12.2	18.9	17.8	12.1	17.7	0.1	52.4
2010年	3,200	15.2	5.2	13.2	17.6	18.2	12.7	17.9	0.0	51.2
2011年	3,200	15.4	5.7	11.1	20.1	16.4	12.1	18.9	0.3	52.3
2012年	3,200	18.4	5.5	13.3	17.3	14.6	10.9	20.1	0.0	54.4
2013年	3,200	17.2	4.8	13.1	18.5	14.1	11.8	20.4	0.0	53.7
2014年	3,200	19.5	5.6	13.6	18.3	13.1	10.5	19.3	0.0	57.1
2015年	3,200	21.7	5.8	13.3	18.2	12.9	10.0	18.1	0.0	59.0

■ 1日のヨーグルトの飲食量を時系列で見ると、2015年度は2014年度と比較して50g以下計が減少し、100g位や200g以上計が増加という結果となった。200g以上の摂取は2006年以降漸減傾向にあったが、2015年度は増加し2012年の水準に戻している。

【図表VI-1-5】時系列 問20 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量 (SA) <ヨーグルト飲食者ベース>

(%)													
	n	50g未満	50g位	100g位	150g位	200g位	250g位	300g位	400g 以上	無回答	50g以下 ・計	100g位	200g 以上・計
2005年	3,324	7.8	9.9	61.4	8.3	9.3	1.6	0.8	0.6	0.2	17.7	69.7	12.5
2006年	2,858	7.3	9.7	60.1	9.6	9.4	1.7	1.2	0.8	0.2	17.0	69.7	13.3
2007年	2,910	8.0	11.5	59.6	8.6	8.7	1.8	0.9	0.6	0.2	19.5	68.2	12.2
2008年	2,695	10.8	12.7	59.1	7.4	7.7	1.0	0.8	0.5	0.0	23.5	66.5	10.0
2009年	2,677	8.7	12.5	59.6	9.0	7.7	0.9	0.7	0.8	0.0	21.2	68.6	10.1
2010年	2,663	11.6	12.9	55.8	8.0	8.8	1.0	0.5	1.0	0.4	24.5	63.8	11.7
2011年	2,586	9.9	16.6	59.2	6.7	5.7	0.8	0.4	0.6	0.1	26.5	65.9	7.6
2012年	2,615	8.5	14.6	62.8	5.7	6.0	0.6	1.3	0.5	0.1	23.1	68.5	8.4
2013年	2,598	8.4	15.2	62.0	7.0	5.3	0.6	0.8	0.6	0.1	23.6	68.9	7.3
2014年	2,632	8.4	17.8	59.0	6.9	5.3	0.6	1.1	0.6	0.2	26.2	66.0	7.7
2015年	2,658	6.8	15.7	61.6	7.5	6.1	0.9	0.5	0.8	0.1	22.5	69.1	8.3

■ 飲食するヨーグルトのタイプを時系列で見ると、2015年度は2014年度と比較して、「プレーンヨーグルト(無糖)」が微増し、過去10年の中で最も高い割合となっている。「加糖のヨーグルト」や「果肉フルーツ入りのヨーグルト」は2014年度と同程度となっているが、「ドリンクヨーグルト」はやや減少している。

【図表VI-1-6】時系列 問21 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>

(%)									
	n	プレーン ヨーグルト (無糖)	加糖の ヨーグルト	果肉 フルーツ 入りの ヨーグルト	ドリンク ヨーグルト (飲む タイプ)	手作り ヨーグルト (カスピ海 ヨーグルト 等)	フローズン ヨーグルト	その他	無回答
2005年	3,324	48.9	40.9	46.2	25.2	10.8	1.7	1.3	0.2
2006年	2,858	44.8	40.5	41.1	24.4	7.7	1.2	1.0	0.3
2007年	2,910	42.1	42.0	38.8	21.4	6.2	0.7	0.8	0.2
2008年	2,695	42.6	40.1	39.3	20.8	6.5	1.4	1.6	0.0
2009年	2,677	43.8	40.3	41.0	22.0	4.6	1.0	1.2	0.1
2010年	2,663	44.8	39.3	38.1	19.3	4.5	0.4	1.1	0.3
2011年	2,586	46.0	36.5	34.2	15.9	4.3	0.6	0.6	0.3
2012年	2,615	45.4	38.0	36.1	17.9	3.0	0.4	0.6	0.0
2013年	2,598	44.1	39.4	36.7	21.7	3.1	0.6	0.6	0.2
2014年	2,632	49.5	35.5	31.4	22.0	2.6	0.9	0.5	0.1
2015年	2,658	50.3	35.8	31.3	19.8	4.2	0.6	0.8	0.1

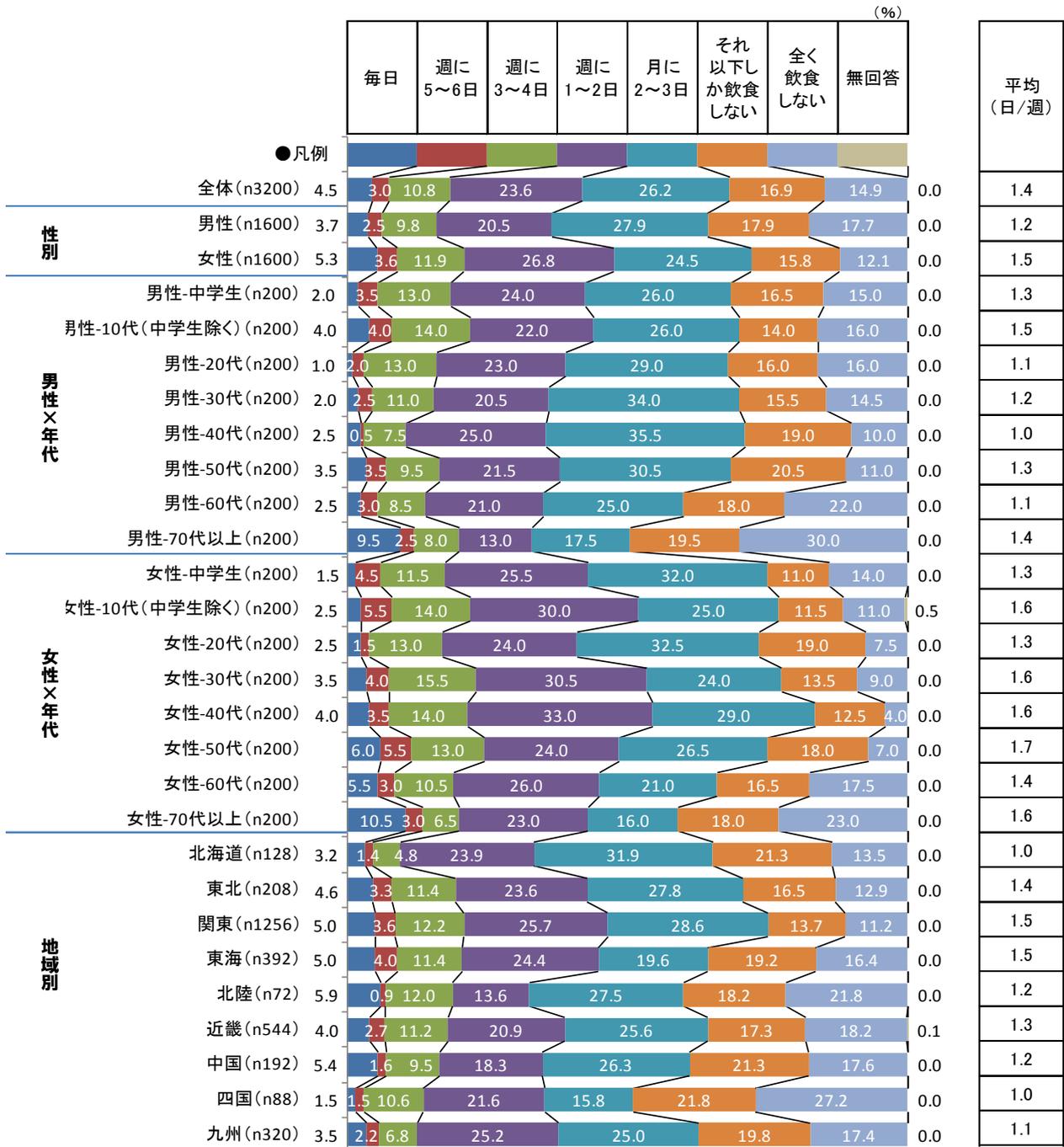
※斜線はデータなし

## 2. チーズの食用状況

### (1) チーズを食べる頻度

- 日頃どの位の頻度でチーズを食べているかを質問した。
- 全体では、「毎日」食べる人は5%であり、週に1日以上食べる人は合わせて42%である。一方、「全く食べない」という人は15%となった。
- 性別では、週に1日以上食べる人は男性で37%、女性で48%となり、女性の方が高頻度でチーズを食べている。
- 性年代別では、女性は10代や、30代、40代で週に1日以上食べる人が52~55%と半数を超える。男性は中学生や10代で週に1日以上食べる人が4割以上と多い。
- 地域別では、関東、東海、東北でチーズを食べる頻度がやや高くなっている。

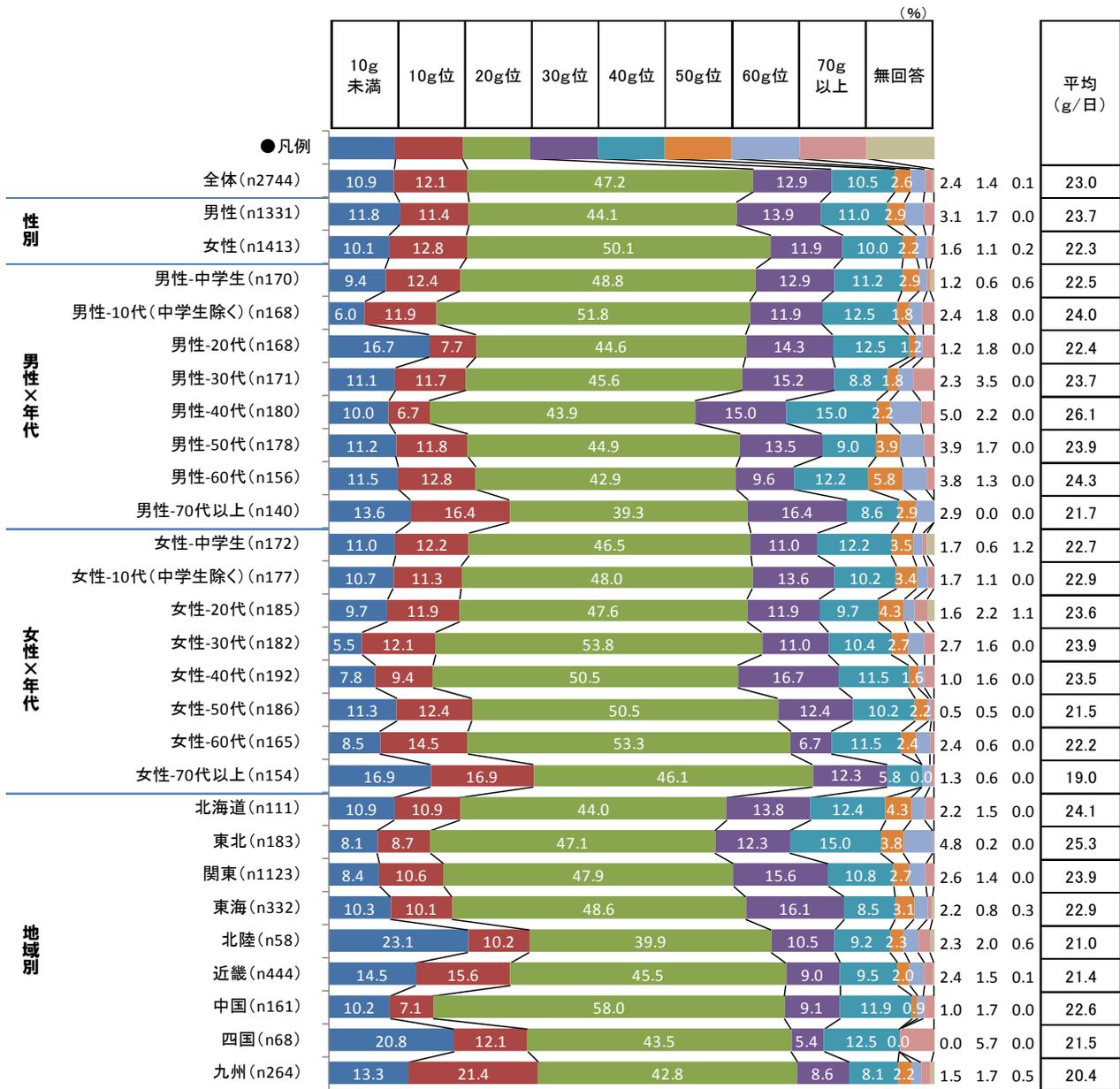
【図表VI-2-1】性・年代別・地域別 問22 日頃、チーズを食べる頻度 (SA)



## (2) チーズを食べる量

- チーズを食べるときの1日の量を質問した。
- 全体では「20g位」と答えた人が47%を占め、平均では1日に合計23.0gとなっている。
- 性別では、平均飲食物量は男性で23.7g、女性で22.3gとなっており、大きな差はみられない。
- 性年代別では、男性40代で平均飲食物量が多い。女性は70代以上の平均飲食物量が少なく、20g未満となっている。

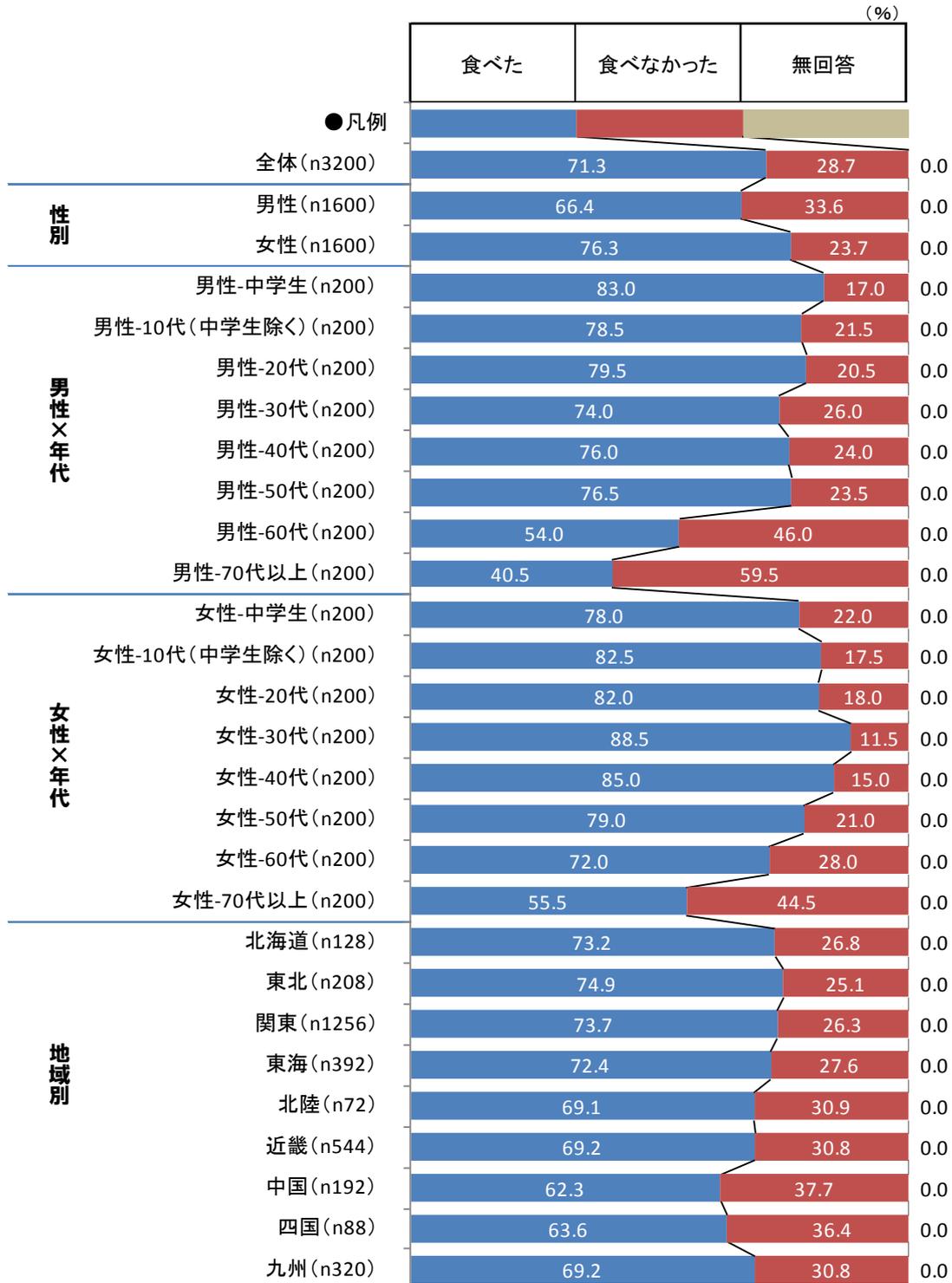
【図表VI-2-2】性・年代別・地域別 問23 1日に食べるチーズの合計量 (SA)



### (3) チーズ料理

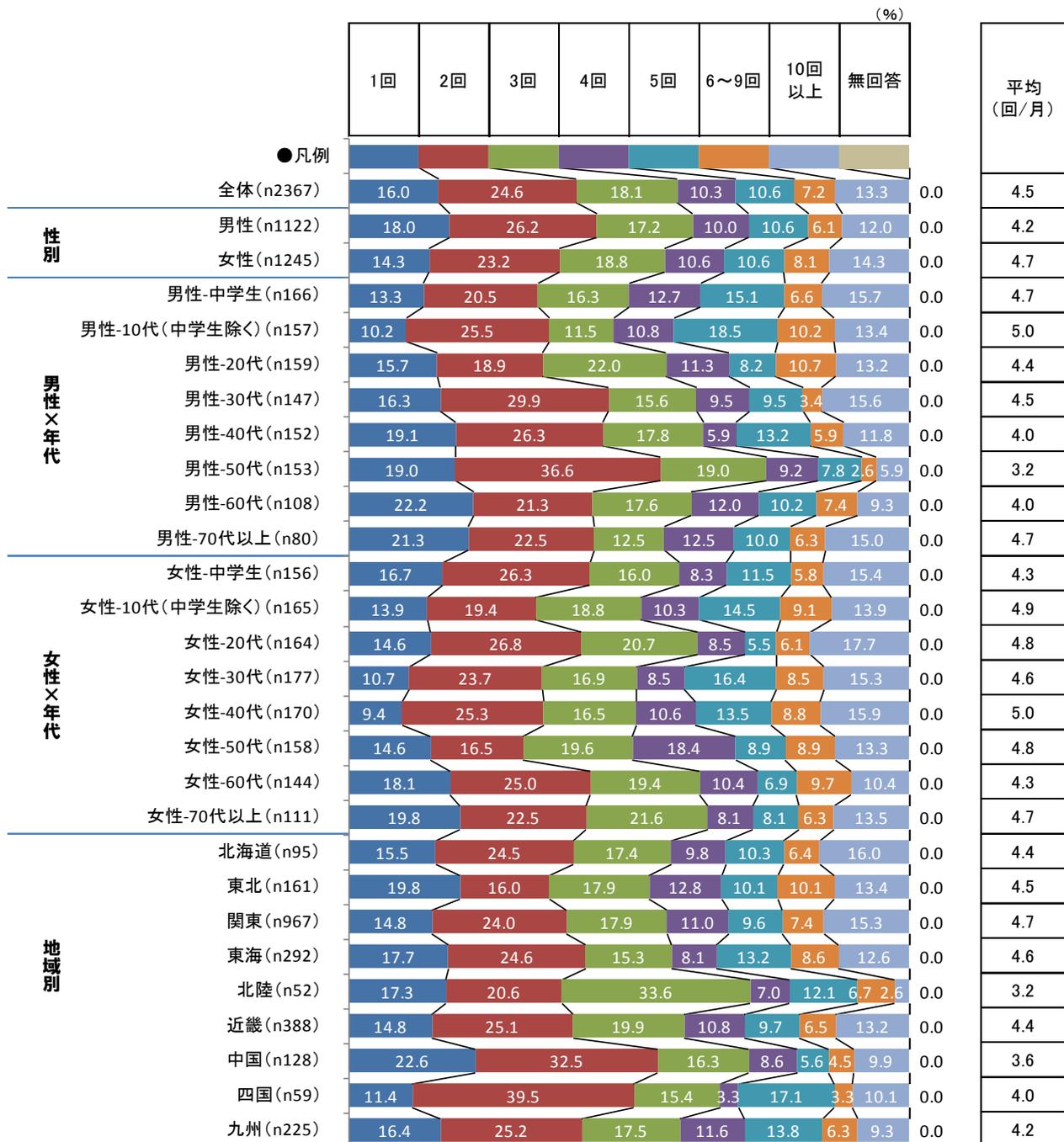
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズを使った料理を食べた人は、全体で71%となっている。
- 性別で見ると、チーズ料理を食べた人は男性が66%、女性が76%となり、女性の方が約10ポイント高い。
- 性年代別では、男性では中学生で8割を超え、女性は30代を中心に10~40代で85%前後となっており、チーズ料理を多く食べている傾向がうかがえる。男性60代や70代以上、女性70代以上では、「食べた」割合が低い。
- 地域別では、チーズ料理を食べる割合は北海道~東海でやや高く、北陸~四国ではやや低くなっている。

【図表VI-2-3】性・年代別・地域別 問24 この1ヶ月間にチーズ料理を食べたか (SA)



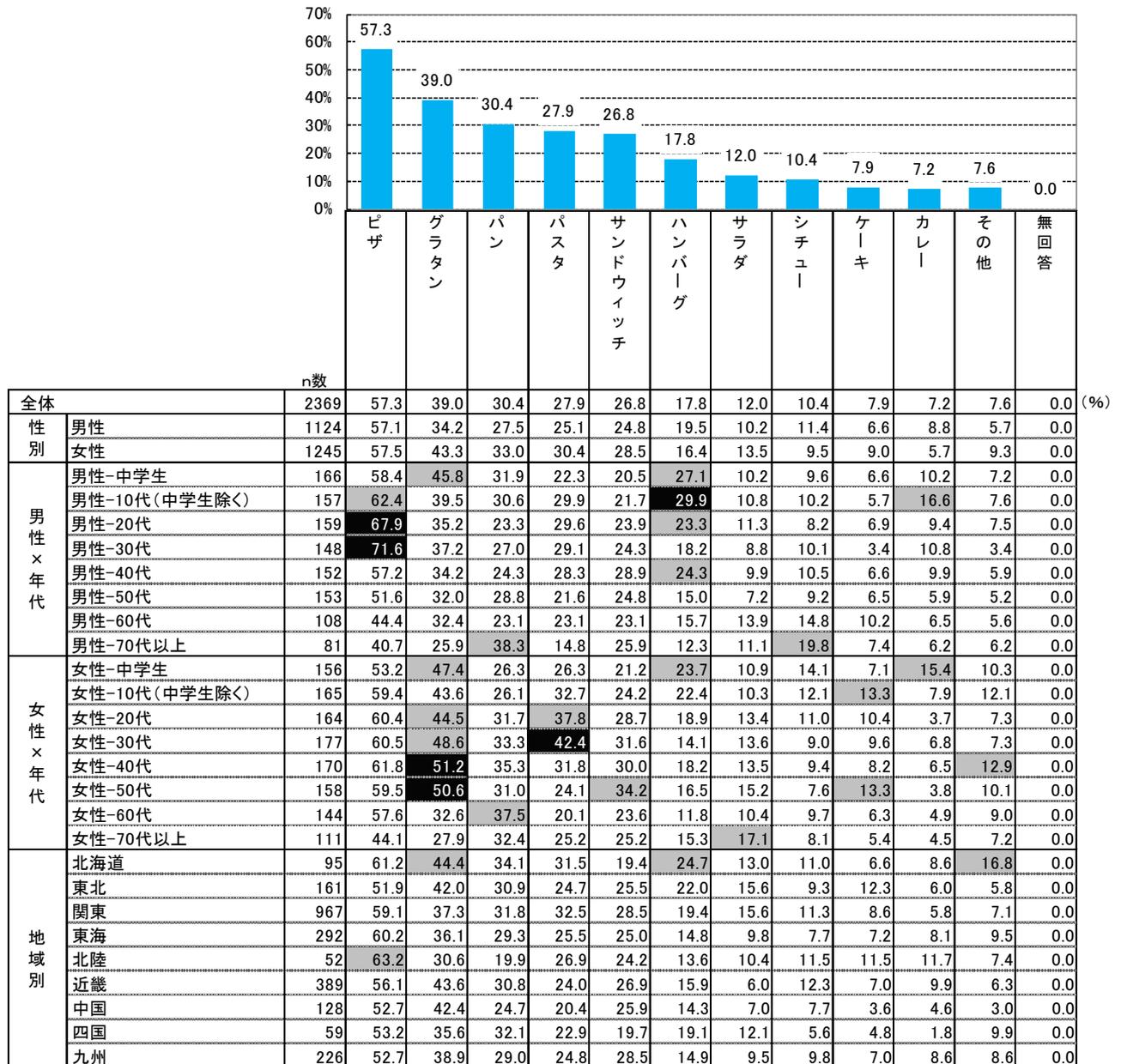
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズ料理を食べた人の回数は、全体で「2回」が25%で最も多く、次いで「3回」が18%、「1回」が16%となっている。平均飲食回数(回/月)は4.5回である。
- 性別で見ると、平均飲食回数は男性で4.2回、女性では4.7回と、女性の方がやや多い。
- 性年代別では、男性は男子中学生と10代、女性は10代から50代の各年代で、チーズ料理を食べる回数が多く、男性10代と女性40代では平均回数が5.0回に達する。
- 地域別では、関東で平均回数が4.7回と最も多い。

【図表VI-2-4】性・年代別・地域別 問24-1 この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数(SA)



- 1ヶ月間にどんなチーズ料理を食べたかを見ると、全体では「ピザ」が57%で最も多く、次いで「グラタン(39%)」、「パン(30%)」、「パスタ(28%)」、「サンドウィッチ(27%)」と続いている。
- 性別では、女性で「グラタン」が43%と多く、男性よりも9ポイント高い。
- 性年代別では、男性20代、30代で「ピザ」が、女性は40代、50代で「グラタン」が、それぞれ全体よりも10ポイント以上高くなっている。このほか、女性30代では「パスタ」、男性10代では「ハンバーグ」が全体よりも10ポイント以上高い。
- 地域別では、北陸では「ピザ」、北海道で「グラタン」や「ハンバーグ」が比較的多くあげられている。

【図表VI-2-5】性・年代別・地域別 問24-2 飲食するチーズ料理 (MA)



※ ■ = 全体より、10%以上高い

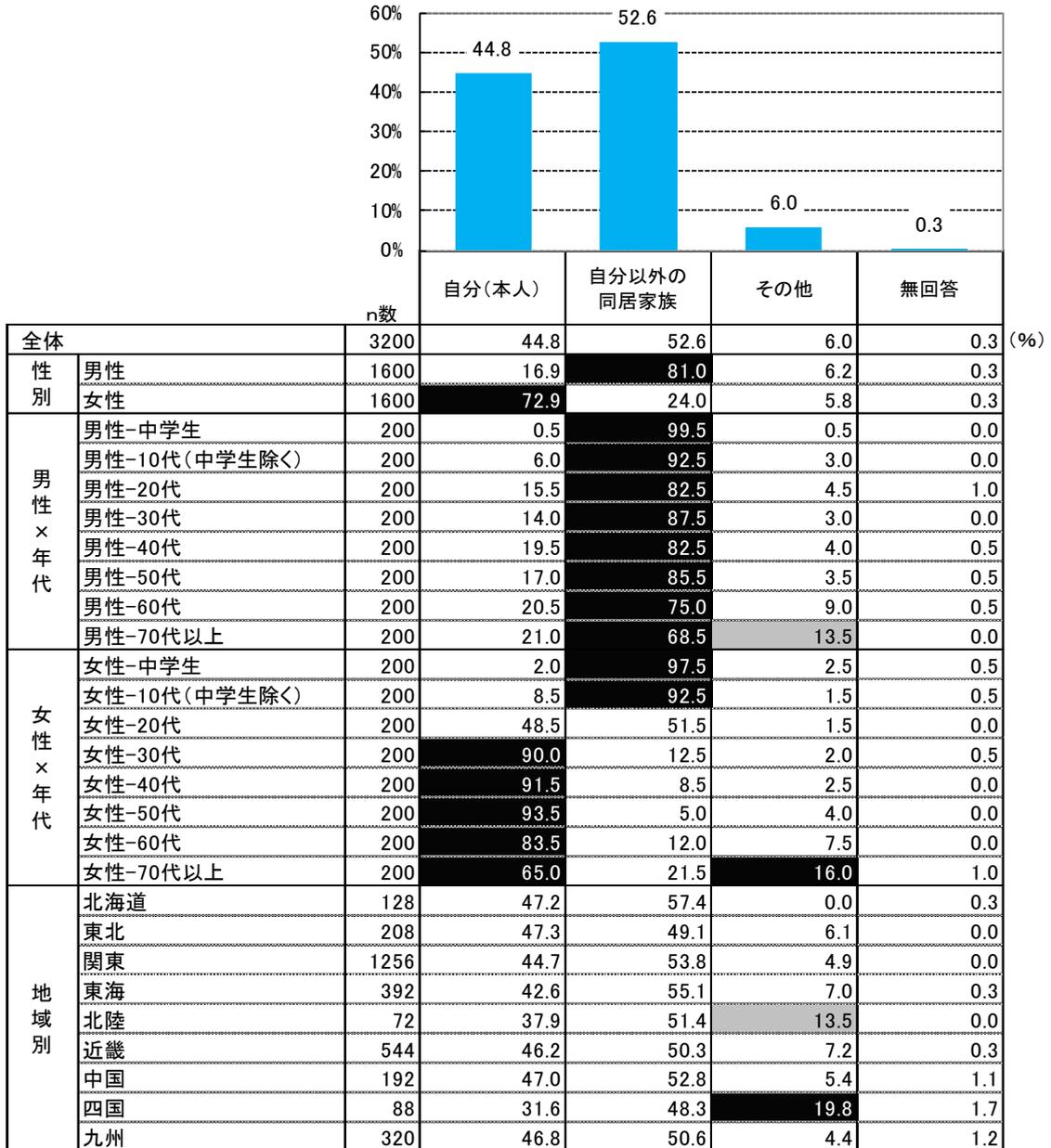
■ = 全体より、5%以上高い

(4) チーズを購入する人

■世帯の中でチーズを購入する人は誰か、複数回答で質問した。

■全体では、「自分(本人)」が45%、「自分以外の同居家族」が53%となっている(白もの牛乳の購入者と同様の回答となっている)。

【図表VI-2-6】性・年代別・地域別 問25 チーズを購入する人(MA)

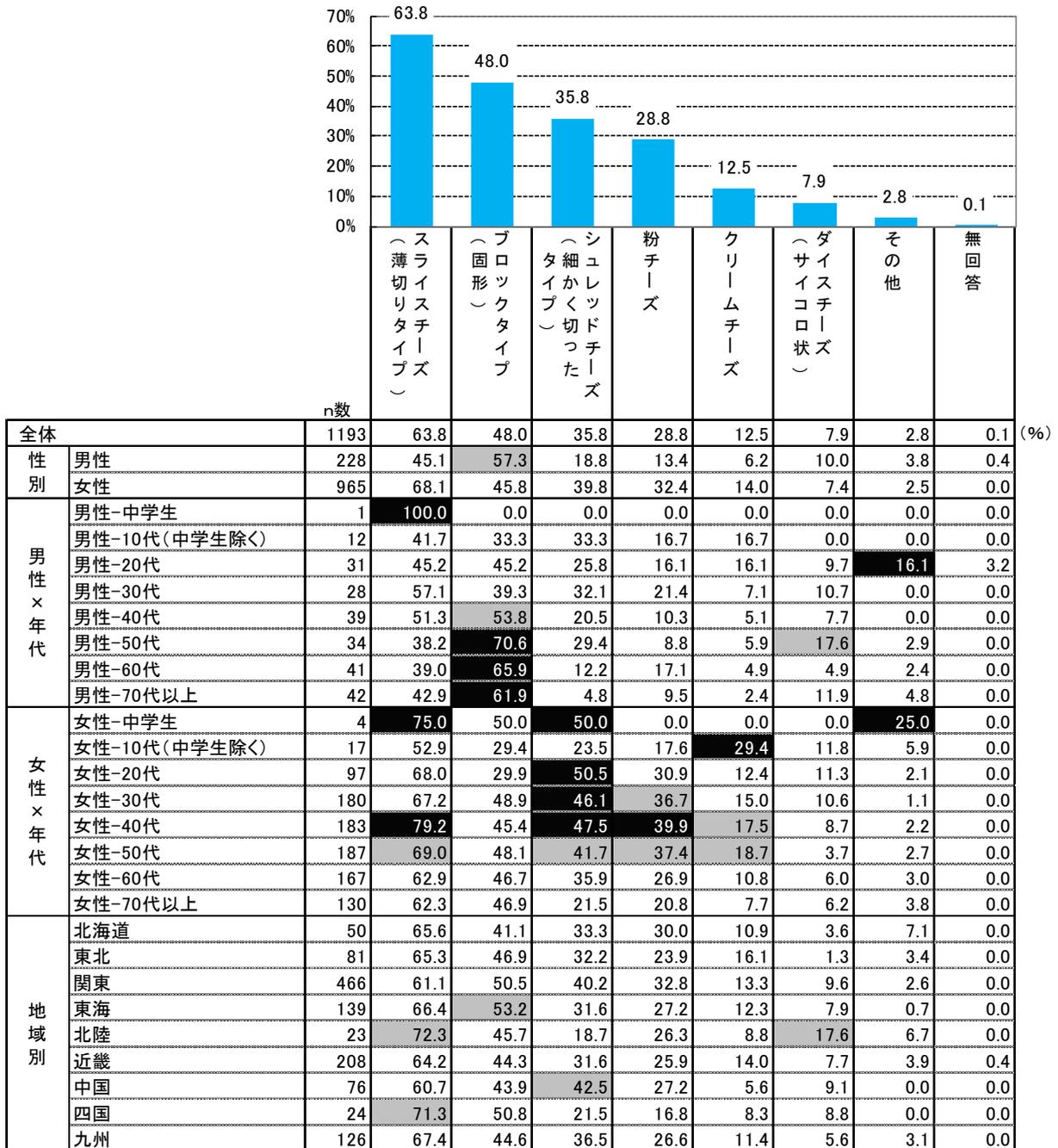


※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

(5) 購入するチーズのタイプ

- 自分でチーズを購入する人に、どのようなタイプのチーズを購入することが多いか質問した。
- 形状は、「スライスチーズ」が64%で最も多く、次いで「ブロックタイプ」が48%、「シュレッドチーズ」が36%、「粉チーズ」が29%となっている。
- 性別で見ると、男性では「ブロックタイプ」が最多で約6割、女性よりも10ポイント以上高くなっている。  
女性では「スライスチーズ」「シュレッドチーズ」「粉チーズ」の購入が多く、男性よりも20ポイント以上高くなっている。
- 性年代別では、男性の50代以上の年代で「ブロックタイプ」が6~7割と高いのが目立つ。女性では40代、50代で、様々なタイプのチーズを購入している様子が見える。

【図表VI-2-7】性・年代別・地域別 問26-1 購入するチーズのタイプ (MA) <チーズ購入者ベース>

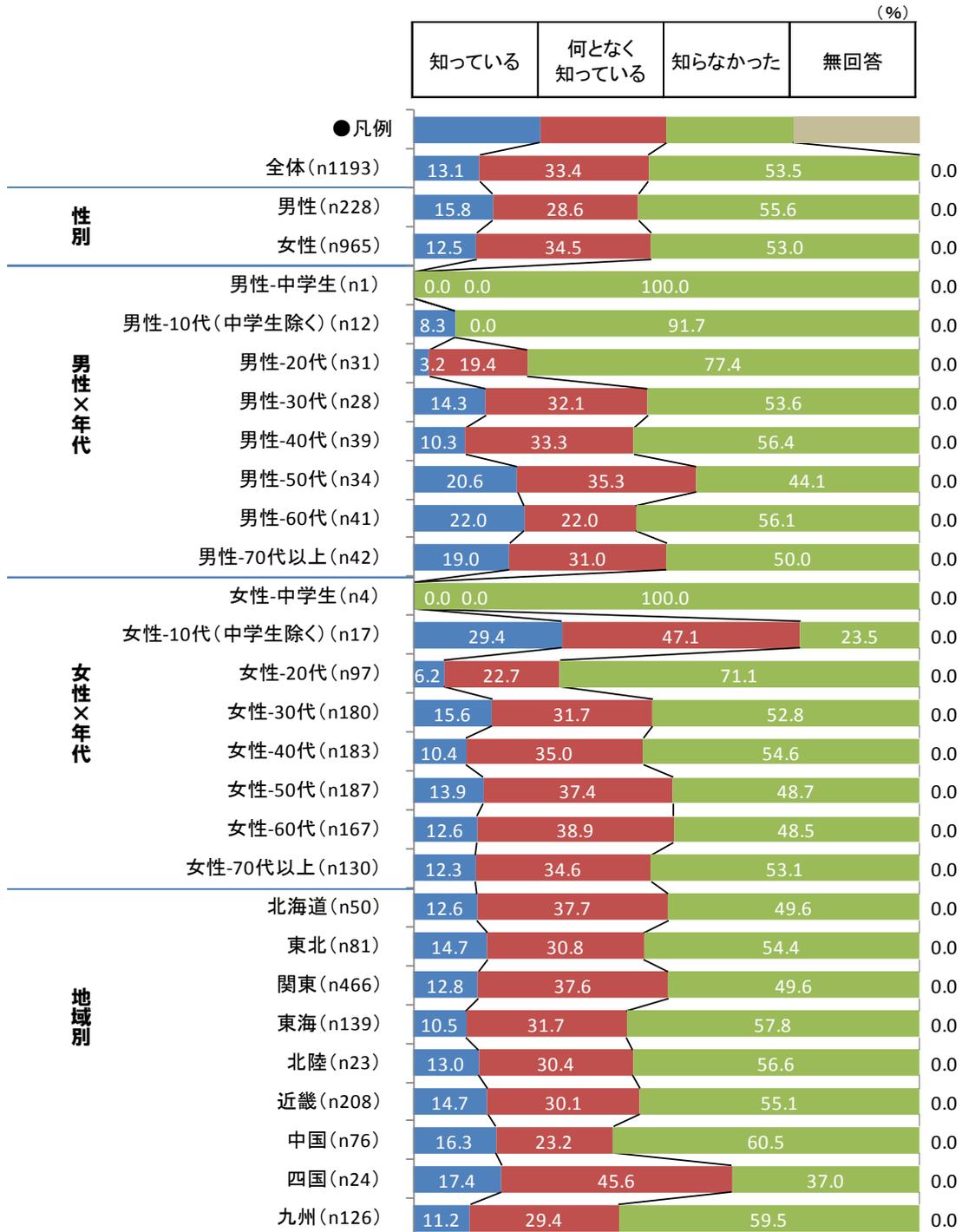


※ ■ = 全体より、10%以上高い  
■ = 全体より、5%以上高い

(6) ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況

- 自分でチーズを購入する人に、ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いを知っているか質問した。
- 全体では、「知っている」が13%、「何となく知っている」が33%となり、認知している人は5割近い。
- 性別で見ると、認知に大きな差はみられないが、男性の方が「知っている」の回答がわずかに多い。
- 性年代別では、男性50代以上で「知っている」が2割前後と高い。「知っている」+「何となく知っている」の計で見ると、男性50代や女性の50~60代で5割を超える。
- 地域別では、北海道や関東、四国で「知っている」+「何となく知っている」の計が5割以上となっている。

【図表VI-2-8】性・年代別・地域別 問26-2 ナチュラルチーズ、プロセスチーズの違いの認識（SA）＜チーズ購入者ベース＞

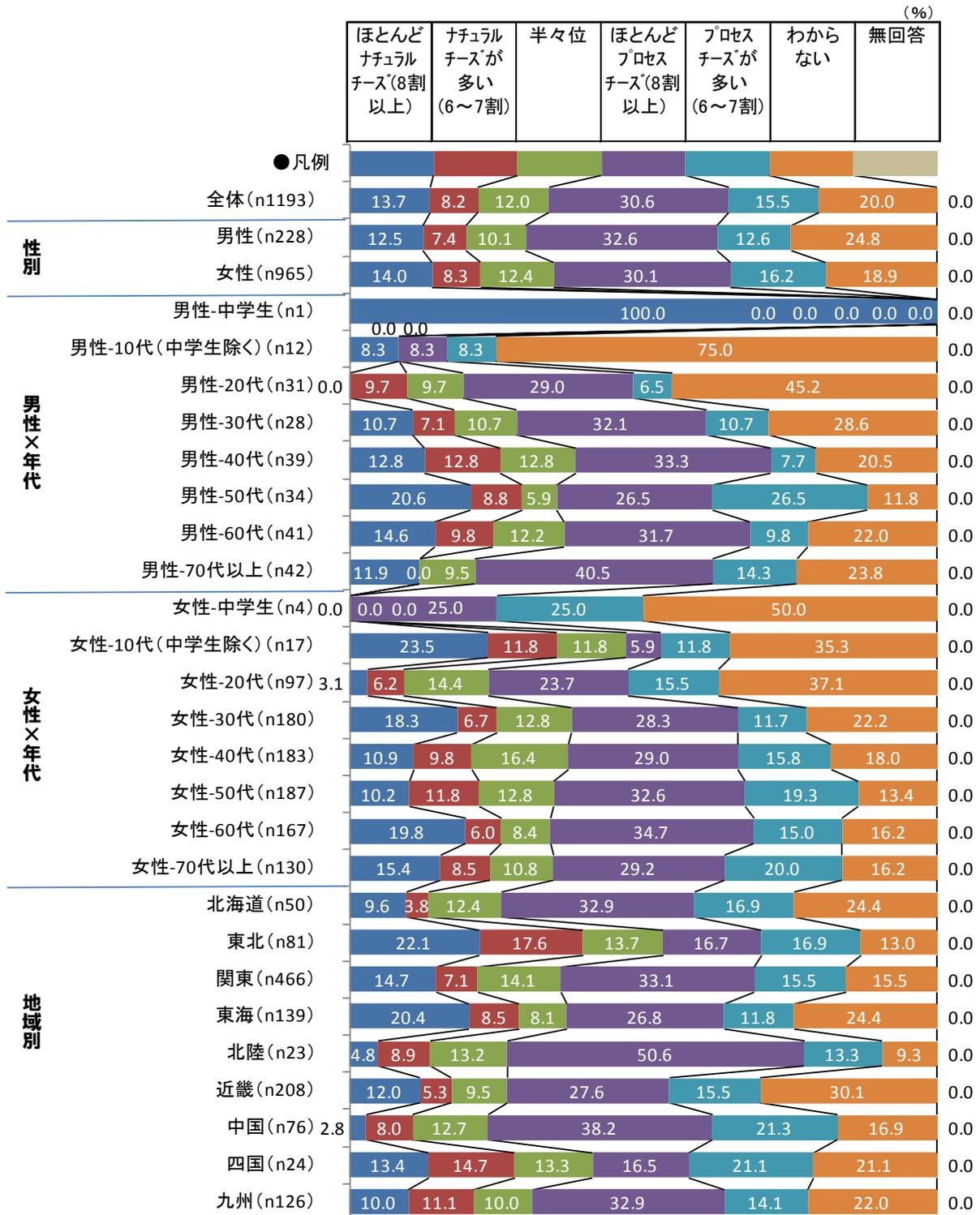


※この「ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況」という質問は、平成24年度（2012年度）から設定した。

■自分で購入するチーズはナチュラルチーズかプロセスチーズかを質問したところ、全体では「ほとんどプロセスチーズ（8割以上）」という人が31%と最も多く、「プロセスチーズが多い（6～7割）」を合わせたプロセス派は46%を占めた。一方、ナチュラル派（「ほとんどナチュラルチーズ（8割以上）」＋「ナチュラルチーズが多い（6～7割）」は22%、「半々くらい」は12%、「わからない」は20%となっている。

■性年代別では、男性の50代と70代、女性の50代でプロセス派が5割以上と多い。男性50代はナチュラル派も比較的多く、約3割を占める。

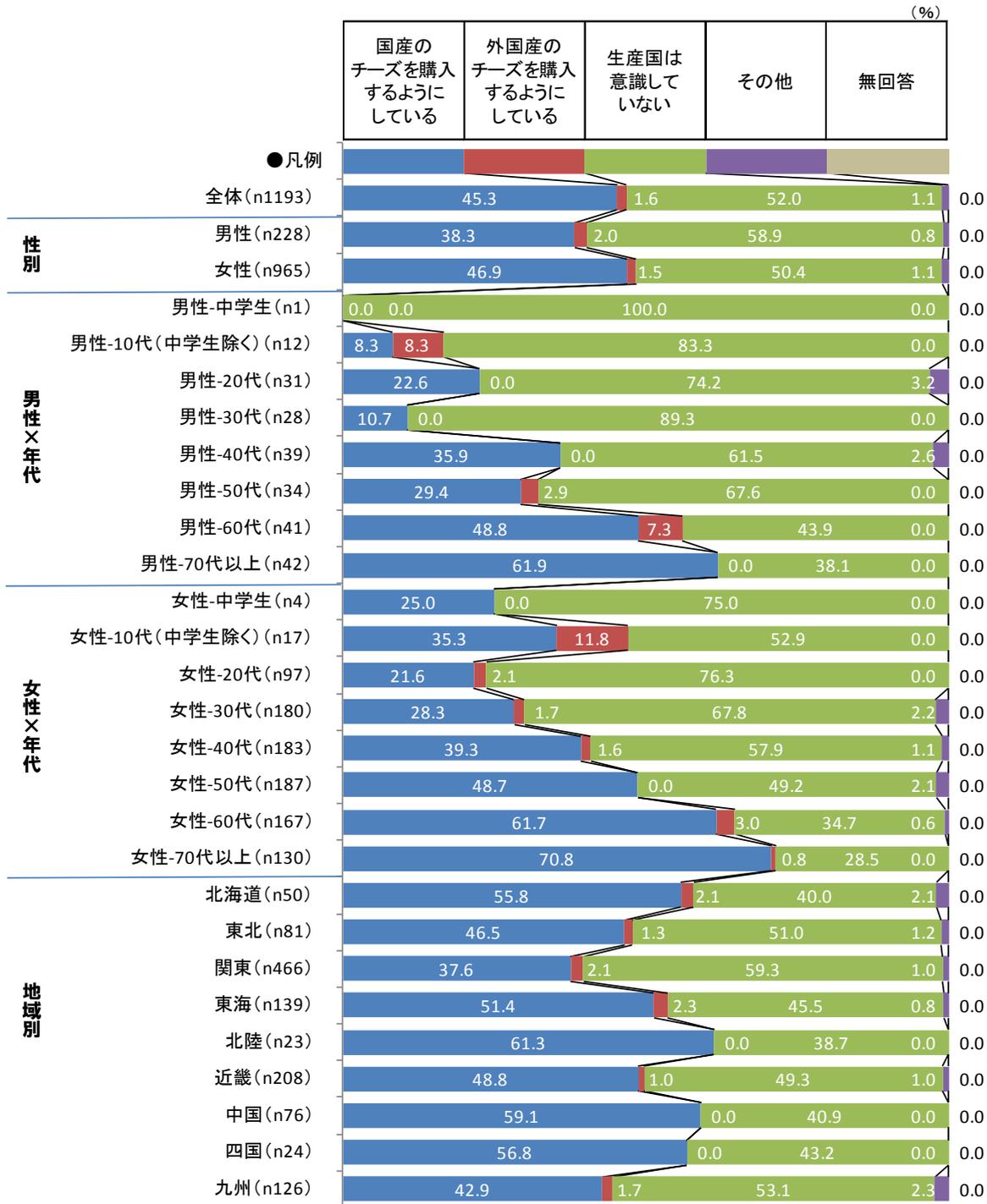
【図表VI-2-9】性・年代別・地域別 問27 購入するチーズの割合（ナチュラルかプロセス・SA）＜チーズ購入者ベース＞



(7) 普段チーズを購入する時に意識すること

- 普段チーズ購入時に意識することを質問したところ、全体では「国産のチーズを購入するようにしている」が45%、「生産国は意識していない」が52%で、「外国産のチーズを購入するようにしている」はわずか2%となった。
- 性別では、女性で「国産のチーズを購入するようにしている」割合が47%を占め、男性（38%）より高い。男性は、6割弱が「生産国は意識していない」と回答している。
- 性年代別でみると、男女ともに年代が上昇するほど、国産を選ぶ割合が高くなる傾向がみられ、女性70代以上では7割に達する。

【図表VI-2-10】 性・年代別・地域別 問28 チーズ購入時の意識する事（SA）＜チーズ購入者ベース＞



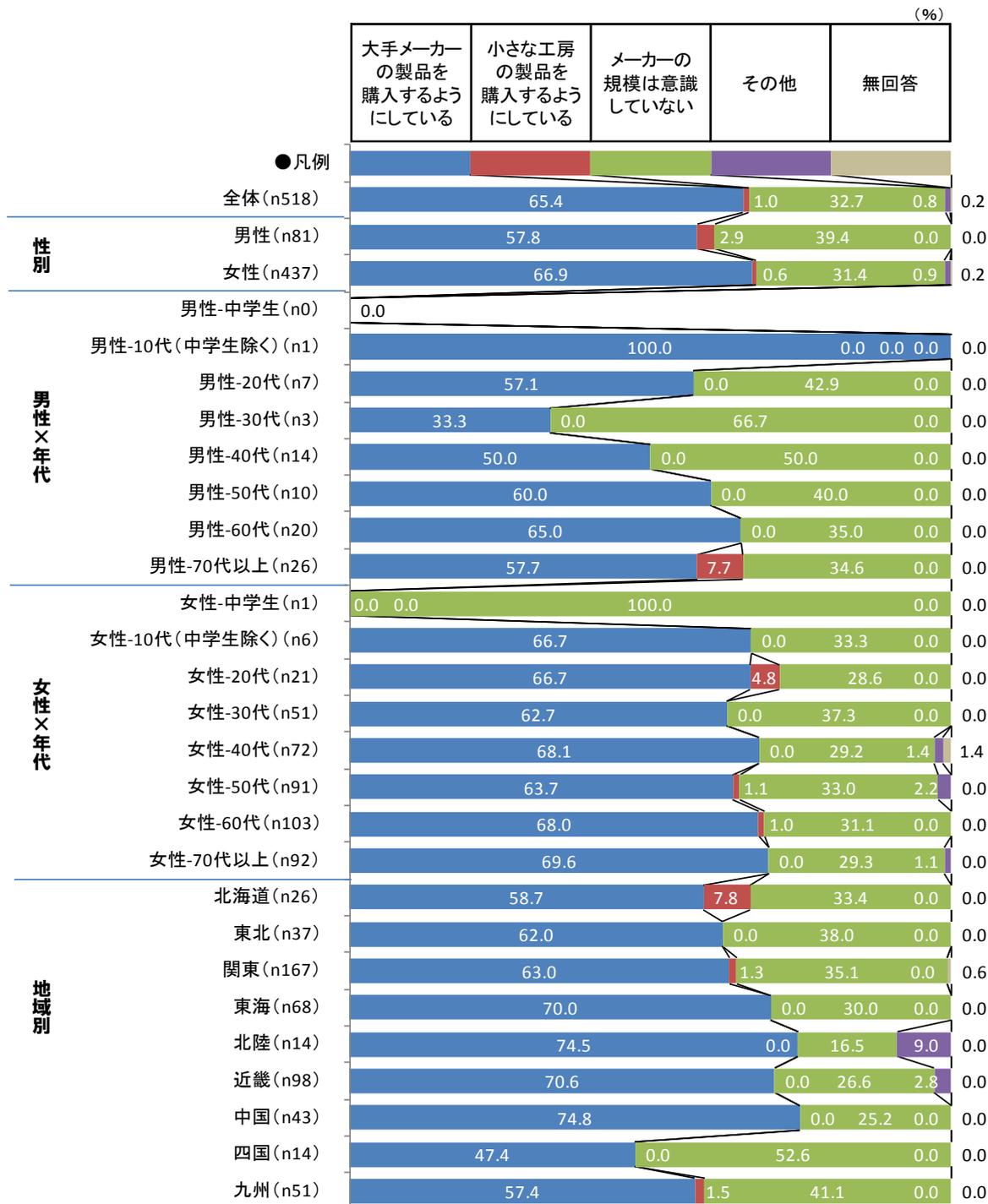
- 普段チーズ購入時に意識することの質問の中で、意識する理由を自由回答でたずねた。「国産のチーズを買うように意識している」人の理由は「安心、安全、信用、信頼」をあげる人が271件と圧倒的に多く、国産チーズ派は食の安全を重視して購入していることがわかる。
- 「外国産のチーズを購入するようにしている」人は少ないが、その理由は「美味しさ、味、好み」である。
- 「生産国を意識していない」人は、「こだわりはない、何となく」が116件と最も多いが、「美味しさ、味、好み」をあげる人が104件、「安さ、価格」をあげる人が86件となっている。

【図表VI-2-11】 問28 チーズ購入時の意識する事・その理由（自由回答）

順位	意識する事・その理由	件数
	<b>■ 国産チーズを購入</b>	<b>415</b>
1	安心、安全、信用、信頼	271
2	美味しさ、味、好み	27
3	メーカー・商品を決めている	22
4	国産	20
5	安さ、価格	14
6	食べなれている、昔から	12
7	いつもの	8
8	こだわりはない、何となく	7
8	外国産は不安	7
10	店によくある、並んでいる	6
11	外国産は高い、味がわからない	5
12	中国産以外なら、不安	3
12	北海道のもの	3
12	成分、添加物を気にして	3
15	料理に使う	1
16	体によい	1
-	その他	5
	<b>■ 外国産チーズを購入</b>	<b>16</b>
1	美味しさ、味、好み	12
2	安さ、価格	1
2	いつもの	1
2	メーカー・商品を決めている	1
2	中国産以外なら、不安	1
	<b>■ 生産国は意識しない</b>	<b>382</b>
1	こだわりはない、何となく	116
2	美味しさ、味、好み	104
3	安さ、価格	86
4	メーカー・商品を決めている	13
5	味は同じ	8
6	安心、安全、信用、信頼	7
7	外国産がいい、本場、種類が多い	6
8	いつもの	4
8	中国産以外なら、不安	4
8	料理に使う	4
11	国産	3
11	食べなれている、昔から	3
11	見た目	3
14	生協	2
15	成分、添加物を気にして	1
-	その他	18
	<b>■ その他</b>	<b>8</b>
1	こだわりはない、何となく	2
2	安心、安全、信用、信頼	1
2	安さ、価格	1
2	美味しさ、味、好み	1
2	メーカー・商品を決めている	1
2	食べなれている、昔から	1
2	体によい	1

- 国産チーズを購入するよう意識している人に購入に際して意識することを質問したところ、全体では「大手メーカーの製品を購入するようにしている」が65%を占めた。
- 「小さな工場の製品を購入するようにしている」はわずか1%にとどまり、「メーカーの規模は意識していない」が33%を占めている。

【図表VI-2-12】性・年代別・地域別 問28-1 国産チーズ購入で意識する事（SA）＜国産チーズ購入者ベース＞



- 「大手メーカーの製品を購入するようにしている人の理由としては、「安心、安全」133件、「大手メーカーは安全、安心」34件、「信用、信頼、品質」25件と安全な食品への要望が購入につながっている。
- 「メーカーの規模は意識しない」人でも、その理由には「国産ならば」、「安心、安全」をあげる人が上位であった。

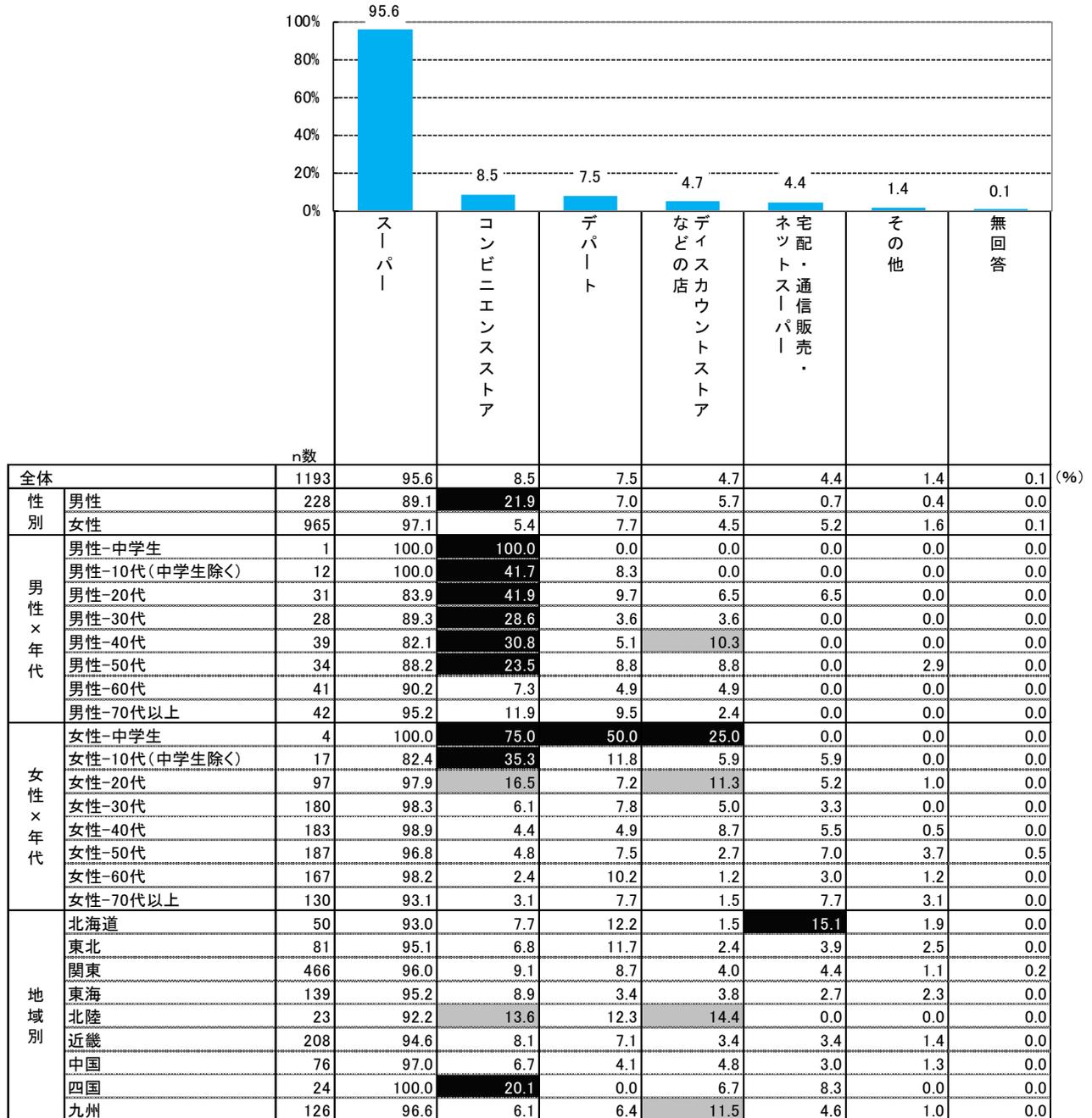
【図表VI-2-13】問28-1 国産チーズ購入で意識する事・その理由（自由回答）

順位	意識する事・その理由	件数
	<b>■大手メーカーの製品を購入</b>	<b>269</b>
1	安心、安全	133
2	大手メーカーは安全、安心	34
3	信用、信頼、品質	25
4	メーカー、商品を決めている、好き	22
5	安い、価格	12
6	スーパーなどどこでも手に入る	12
7	美味しい、味が好み	7
8	食べなれている、使いなれている	6
9	なんとではなく、こだわりはない	6
10	衛生的	3
11	国産ならば	2
12	添加物、余分なものがない	1
13	種類が豊富	1
-	その他	5
	<b>■小さな工場の製品を購入</b>	<b>4</b>
1	安心、安全	2
2	大手メーカーは安全。安心	1
-	その他	1
	<b>■メーカーの規模は意識しない</b>	<b>111</b>
1	美味しい、味が好み	19
1	安い、価格	19
1	国産ならば	19
4	安心、安全	16
5	なんとではなく、こだわりはない	11
6	その時しだい	5
7	メーカー、商品を決めている、好き	4
7	スーパーなどどこでも手に入る	4
9	規模は関係ない	3
10	用途、大きさ	2
10	信用、信頼、品質	2
10	チーズは同じ	2
13	食べなれている、使いなれている	1
13	添加物、余分なものがない	1
-	その他	3
	<b>■その他</b>	<b>4</b>
1	美味しい、味が好み	1
1	安い、価格	1
1	スーパーなどどこでも手に入る	1
-	その他	1

(8) チーズの購入場所

- チーズの購入場所を質問したところ、全体では「スーパー」が96%にのぼった。この他の購入場所は少なく、いずれも1割を下回る。
- 性別では、男性で「コンビニエンスストア」が多く、2割を超える。

【図表VI-2-14】性・年代別・地域別 問29 チーズの購入場所 (MA) <チーズ購入者ベース>

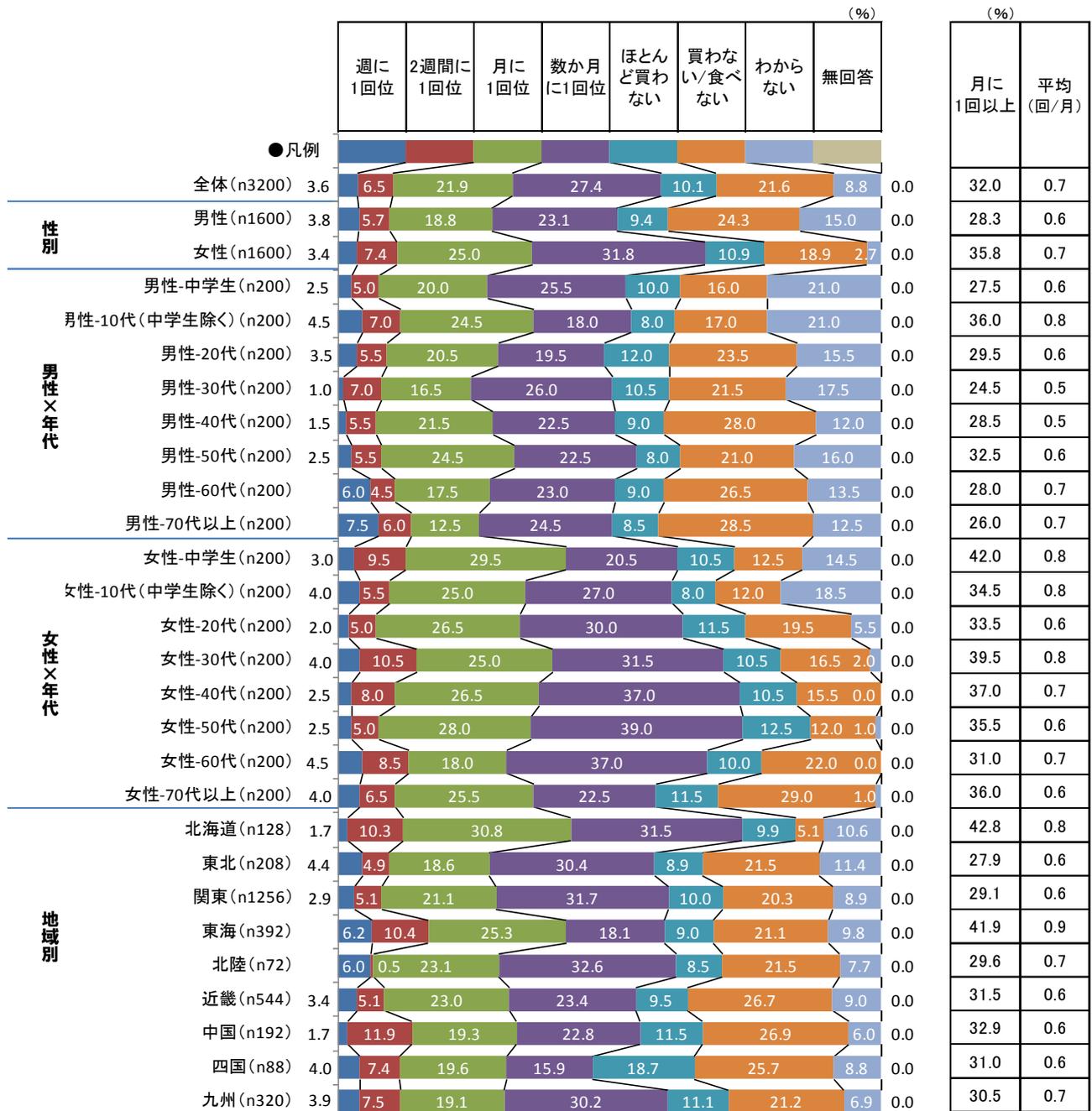


※            = 全体より、10%以上高い            = 全体より、5%以上高い

### 3. バターの食用状況 (1) バターの購入頻度

- 日頃どの位の頻度でバターを購入しているかを質問した。
- 全体では、「数カ月に1回位」と答えた人が27%と最も多く、次いで「月に1回位」が22%となっている。「月に1回以上」は32%で、月平均購入回数は0.7回となっている。
- 性別では、女性で「月に1回以上」が36%と多く、「数カ月に1回位」も3割以上と多い。
- 地域別では、北海道と東海で「月に1回以上」の割合が4割強と多い。

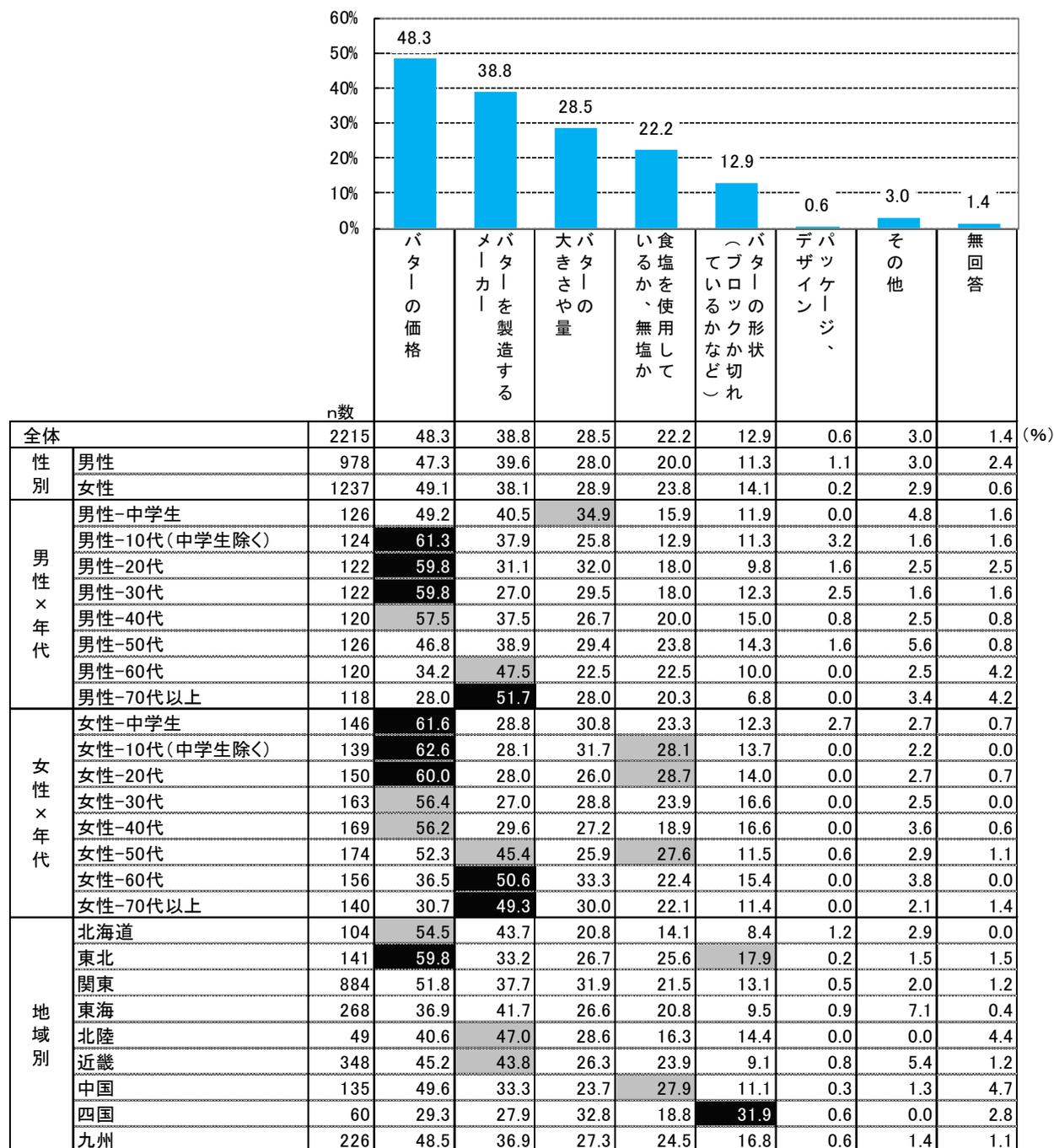
【図表VI-3-1】性・年代別・地域別 問31 日頃、バターを購入する頻度（SA）



## (2) バターを購入するときに意識すること

- バターを購入する人に、どのようなことを意識して購入するかを質問した。
- 「バターの価格」が48%で最も多く、次いで「バターを製造するメーカー」が39%、「バターの大きさや量」が29%となっている。
- 性年代別で見ると、男女ともに40代以下の各年代で「バターの価格」、60代、70代以上では「バターを製造するメーカー」がそれぞれ高い傾向がみられる。女性では10代、20代、50代で「食塩を使用しているか、無塩か」が3割弱と高い。

【図表VI-3-2】性・年代別・地域別 問32 バター購入時の意識 (MA) <バター購入者ベース>



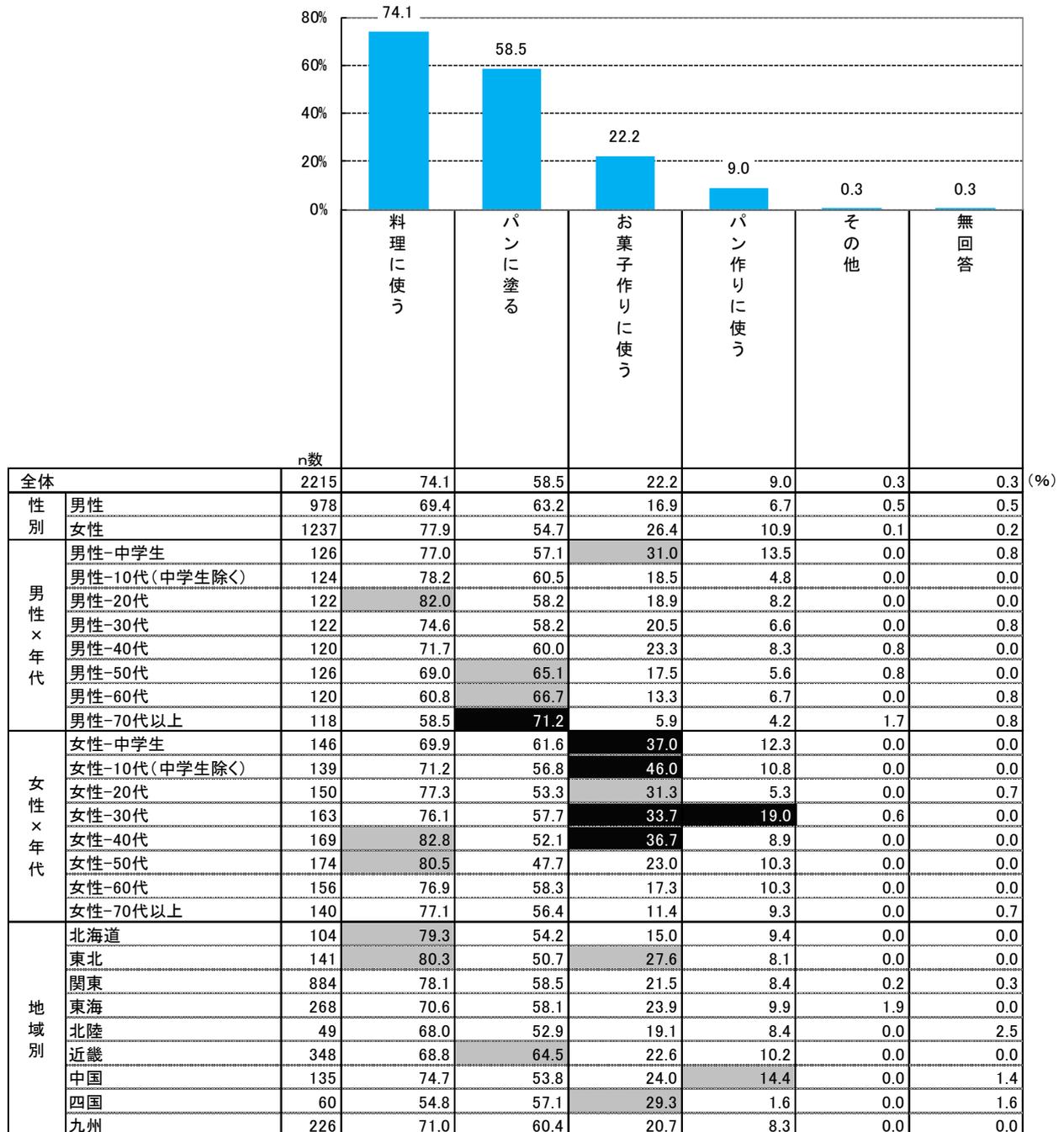
※      = 全体より、10%以上高い

     = 全体より、5%以上高い

### (3) バターの使い方

- バターを購入する人に、どのように利用するかを質問した。
- 「料理に使う」が74%で最も多く、次いで「パンに塗る」が59%で、この2つの利用が主となっている。
- 性年代別でみると、男性20代と女性の40代、50代で「料理に使う」が8割以上と高くなっている。男性の50代以上の各年代で「パンに塗る」が高く、女性は中学生から40代までの各年代で「お菓子作りに使う」が高いのが特徴的である。
- 地域別でみると、北海道と東北で「料理に使う」が約8割と高い。

【図表VI-3-3】性・年代別・地域別 問33 バターの利用方法 (MA) <バター購入者ベース>

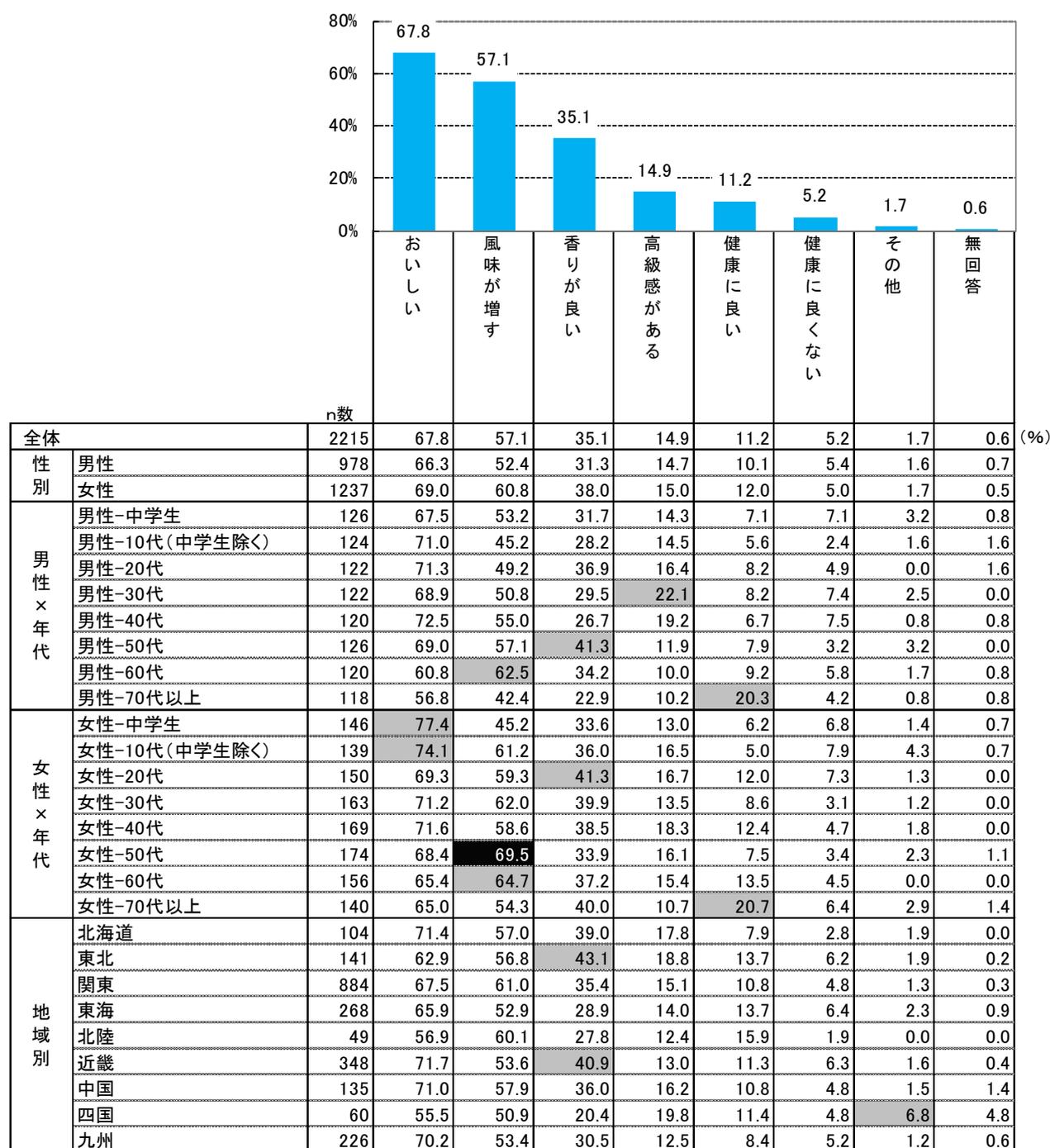


※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

#### (4) バターについての評価

- バターを購入する人に、バターについての評価を質問した。
- 「おいしい」が68%で最も多く、次いで「風味が増す」が57%、「香りが良い」が35%となっている。
- 性年代別でみると、女性の中学生、10代で「おいしい」が75%前後と高く、「風味が増す」は女性の50代で70%と特に高くなっている。男女ともに70代以上では「健康に良い」が20%以上で、他の年代に比べて高くなっている。

【図表VI-3-4】性・年代別・地域別 問34 バターについての評価 (MA) <バター購入者ベース>

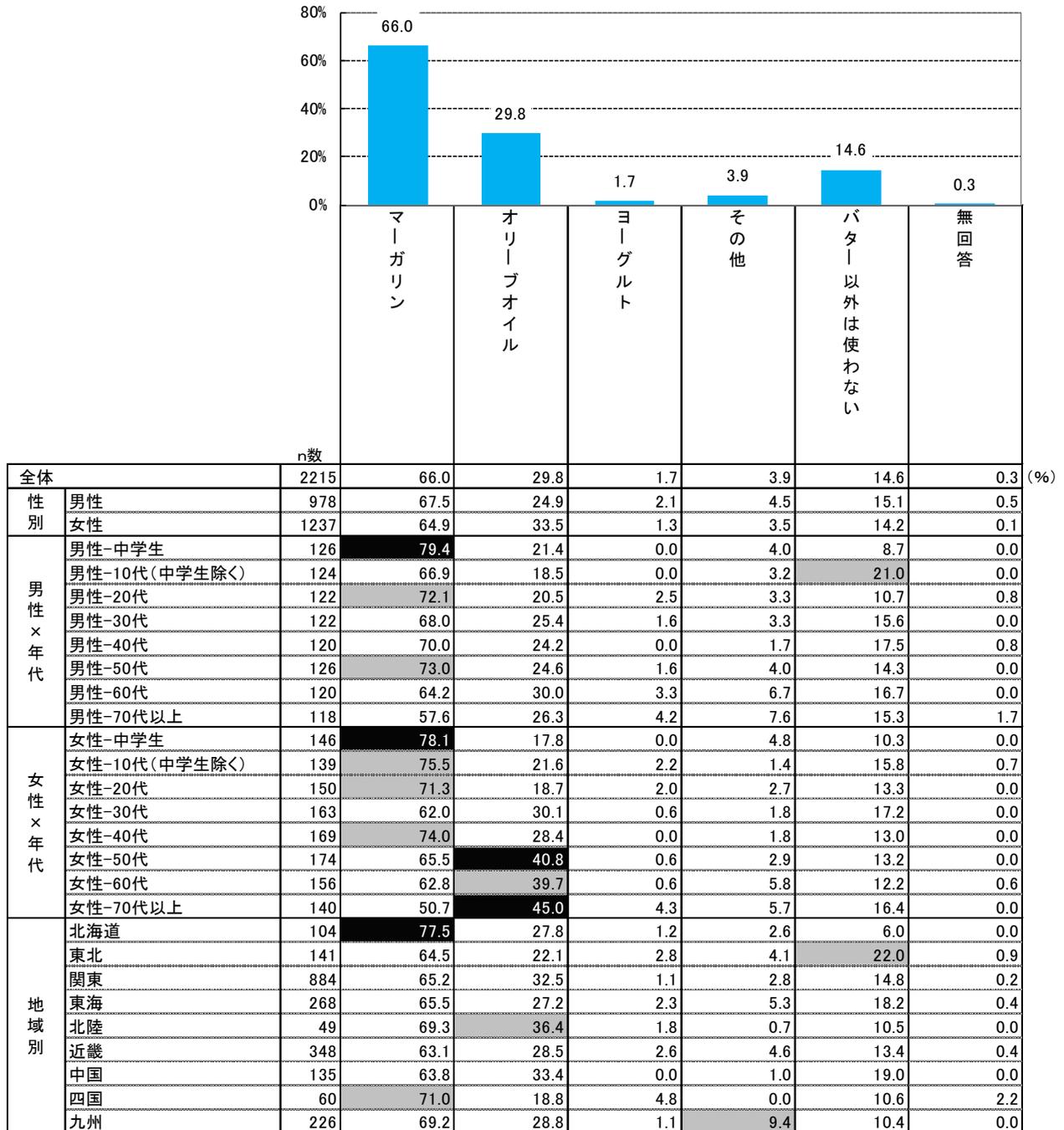


※            = 全体より、10%以上高い  
           = 全体より、5%以上高い

(5) バターがない時に使うもの

- バターを購入する人に、バターがない時に代わりに使うものを質問した。
- 「マーガリン」が66%で最も多く、次いで「オリーブオイル」が30%、「バター以外は使わない」が15%となっている。
- 性年代別でみると、「マーガリン」は男女ともに50代以下で利用が多い傾向がみられる。また、「オリーブオイル」は女性の50代、60代、70代以上で40~45%と利用している人が多い。

【図表VI-3-5】性・年代別・地域別 問35 バターがない時に使うもの(MA) <バター購入者ベース>

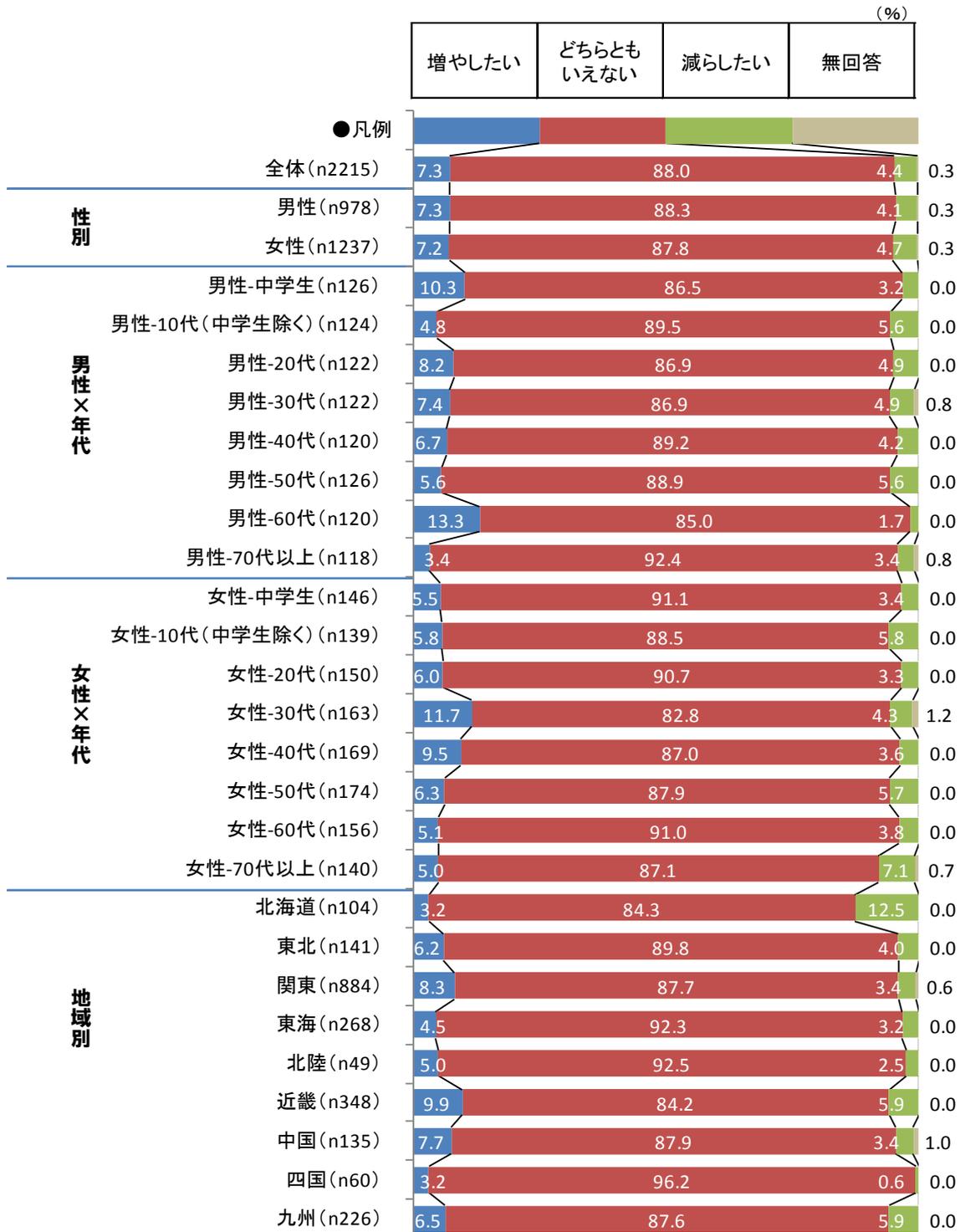


※ ■ = 全体より、10%以上高い  
■ = 全体より、5%以上高い

(6) バターの購入意向

- バターを購入する人に今後のバターの購入意向について質問した。
- 全体では、「どちらともいえない」と回答した人が88%を占め、「増やしたい」が7%、「減らしたい」が4%となっている。
- 性別では、男子中学生や男性60代、女性30代で「増やしたい」が1割以上となっている。
- 地域別では、北海道で「減らしたい」が1割以上とやや多くなっている。

【図表VI-3-6】性・年代別・地域別 問36 バターの購入意向（SA）＜バター購入者ベース＞



- バターの購入意向についての理由では「増やしたい」とした人は「美味しい、風味が良い」43件と味への評価が高い。ついで「マーガリンは体に良くない」24件が続く。
- 「どちらともいえない」人では「高い、価格が上がったので」が145件と2位、「減らしたい」でも44件と多くなっており、価格が大きな影響を与えている。

【図表VI-3-7】 問36 バターの購入意向・その理由（自由回答）

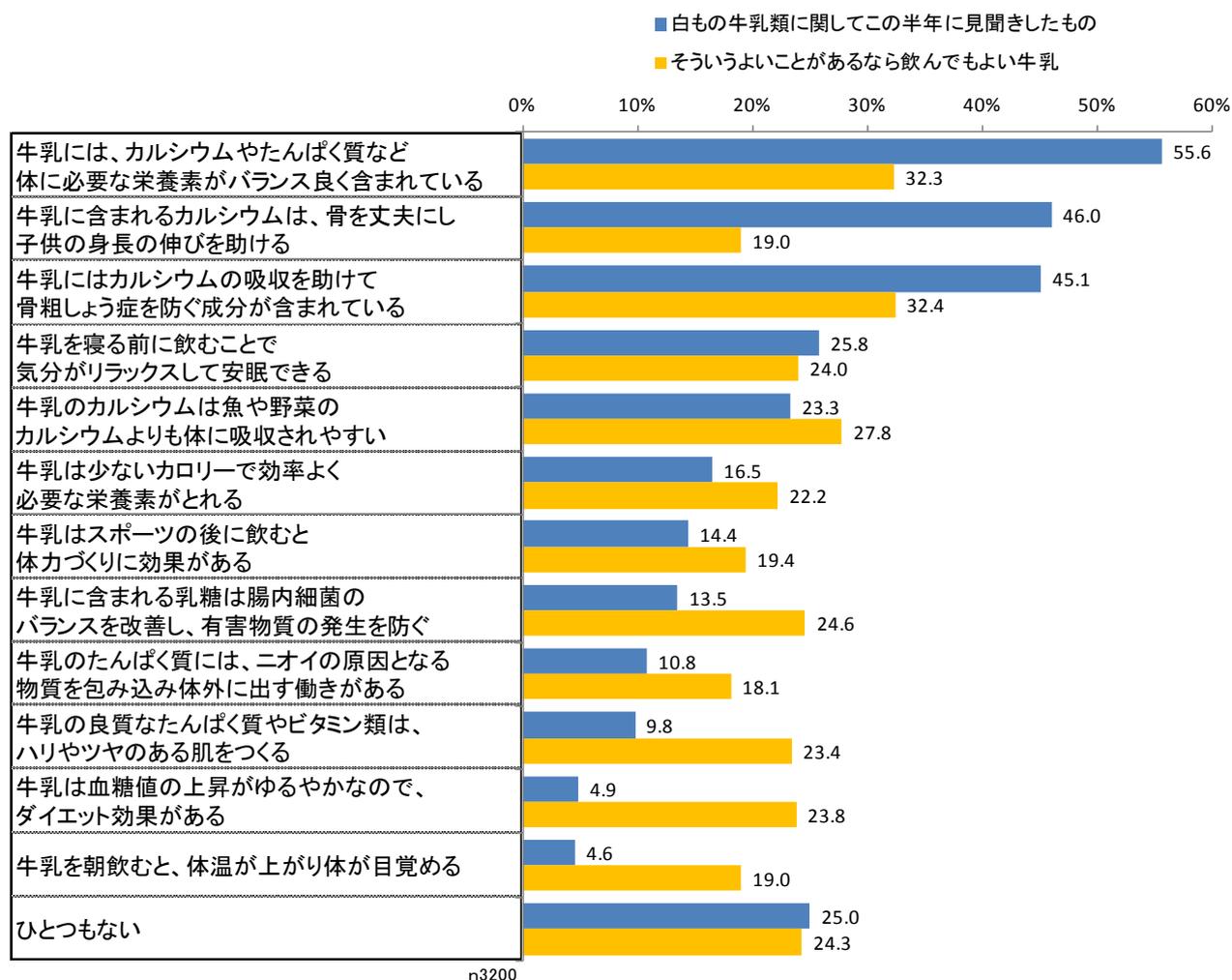
順位	意識する事・その理由	件数
	<b>■ 増やしたい</b>	<b>138</b>
1	美味しい、風味が良い	43
2	マーガリンは体に良くない	24
3	料理、お菓子、パンなどに使う	20
3	安くなるならば	16
5	体に良い、栄養がある	9
6	食べたい	8
6	品薄に備えて、ストック	8
8	子供のために	5
9	いつもある	3
-	その他	2
	<b>■ どちらともいえない</b>	<b>917</b>
1	これまでのまま、今くらいでよい	327
2	高い、価格が上がったので	145
3	料理などでに使うだけ	130
4	あまり使わない、食べない	56
5	必要があれば買う、なくなれば	40
6	マーガリンを使う、代用する	36
7	カロリーやコレステロールが気になる	36
8	特に必要ではない	29
9	安くなれば、価格によって	26
10	品薄なので	19
11	美味しい、風味が良い	12
12	パンに塗る、使う	11
13	体に良い、栄養がある	8
14	他で代用する	7
14	その時の気分、状況	7
16	オリーブオイルなどを使う	5
17	マーガリンは体に良くない	4
17	太る、ダイエットを気にして	4
19	体によい、栄養がある	3
20	料理、お菓子、パンなどに使う	2
-	その他	10
	<b>■ 減らしたい</b>	<b>92</b>
1	高い、価格が上がったので	44
2	カロリーやコレステロールが気になる	17
3	体に良くない	12
4	太る、ダイエットを気にして	6
5	栄養がある、健康によい	4
6	マーガリンで代用する	3
6	オリーブオイルなどを使う	3
8	特に必要ではない	2
9	料理などでに使うだけ	1

## VII. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識

### 1. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識

- 「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳」について質問した。
- 見聞きしたことがあるものは、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が56%で最も多かった。これに、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし、子どもの身長を伸ばすのを助ける」が46%、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が45%で続く。
- 「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものでは、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」と「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」がともに32%で多く、次いで「牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい」が28%で続く。全般的に、牛乳のカルシウムを評価する結果となっている。
- 現状ではあまり見聞かされていないもののニーズの高さがうかがえるものは、「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」「牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める」などで見聞きでは1割に満たないがニーズでは2割を超えている。また「牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ」への評価は24.6%で、見聞きの13.5%に対し10ポイント以上高い。これらのベネフィットは、今後の牛乳普及のための効果的な訴求ポイントであり、広報活動で強くアピールすべきであると考えられる。

【図表VII-1】 問30 見聞きしたことがある白もの牛乳類のベネフィットとニーズ (MA)

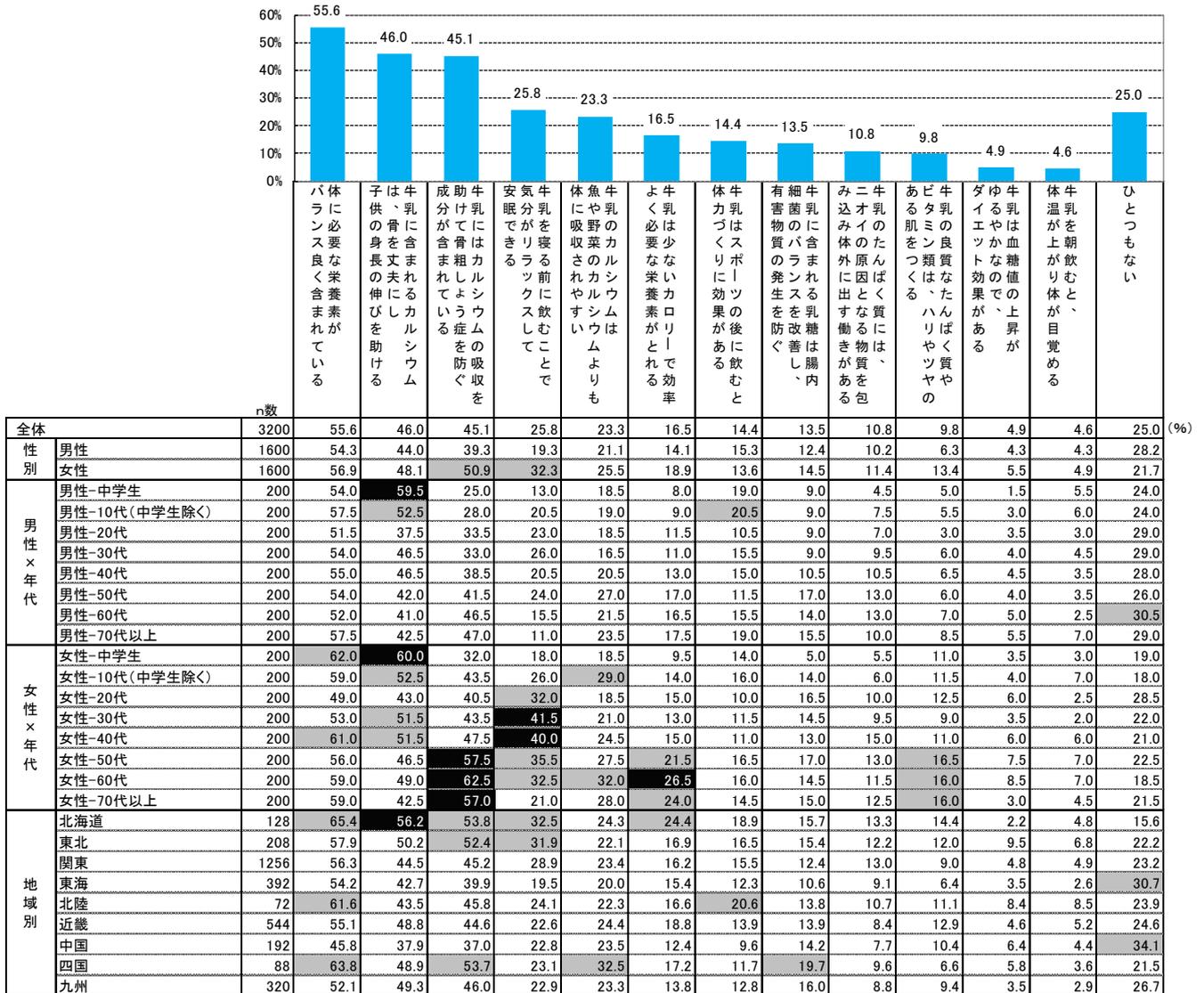


## 2. 見聞きしたことの白もの牛乳類のベネフィット

■白もの牛乳類に関してこの半年くらいの間に見たり聞いたりしたものについて性別で見ると、女性は男性に比べ、「カルシウム（骨を丈夫にする、骨粗しょう症防止等）」や「リラックス効果」について見聞きしている割合が高い。

■性年代別では、男女中学生で「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし、子供の身長を伸ばすのを助ける」が、女性50代以上の各年代では「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」、女性の30代、40代で「牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる」、女性60代では「牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる」が、それぞれ全体を10ポイント以上上回っている。

【図表VII-2】性・年代別・地域別 問30（1）白もの牛乳類に関してこの半年に見聞きしたもの（MA）

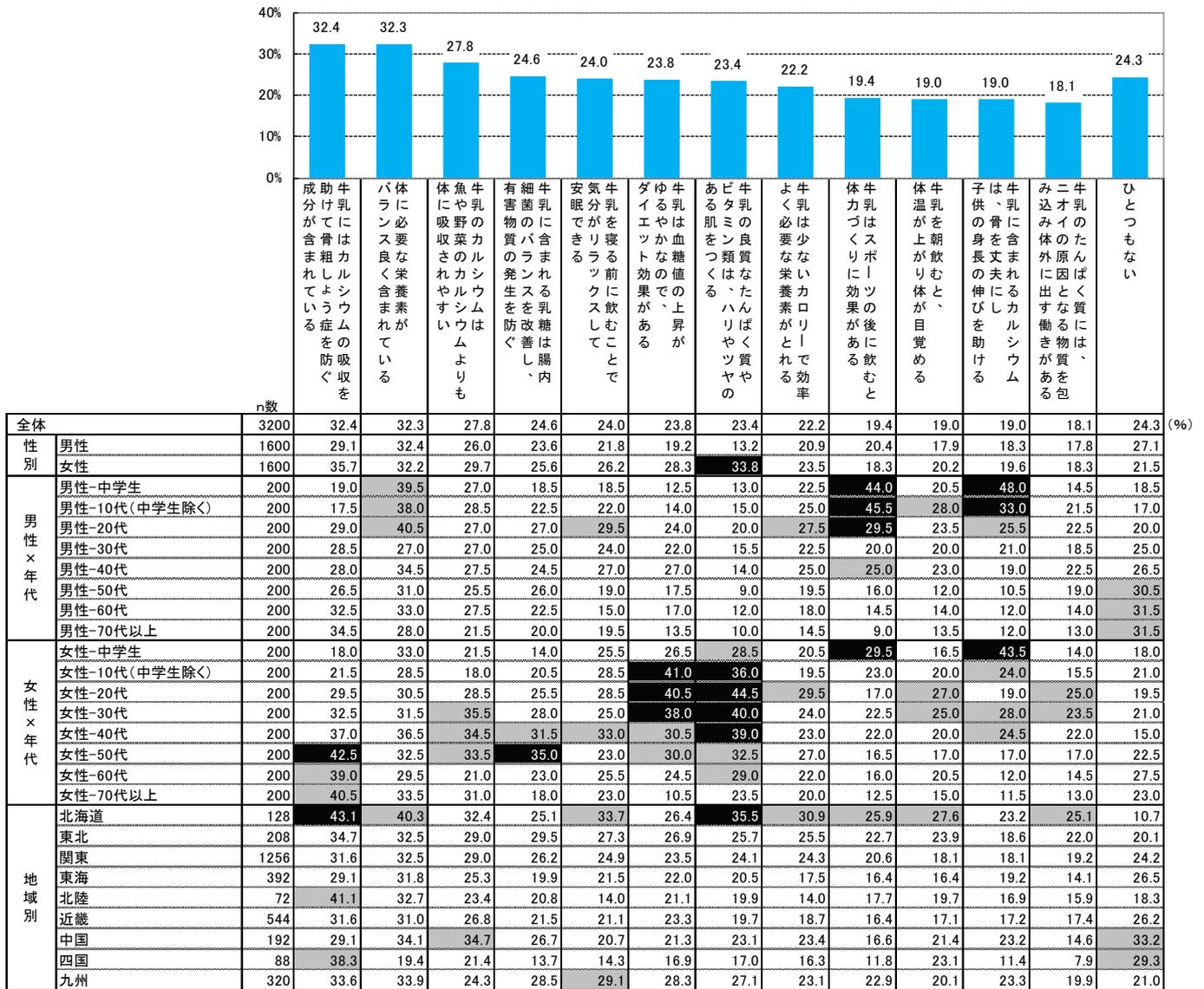


※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

### 3. 白もの牛乳類についてのニーズ

- 「そういうよいことがあるなら飲んでもよいと牛乳」について性別でみると、「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」は女性で高く、男性よりも20ポイント以上上回る。また、「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」でも、女性の方が男性より10ポイント近く上回って高くなっている。全般に男性よりも女性の方が高い値となっており、健康志向を反映している。
- 性年代別でみると、「美肌効果」は10～40代の女性、「ダイエット効果」は10～30代の女性で特に高いニーズを示している。このほか「体づくり」に効果がある」は男女中学生から男性10代、20代に、「骨を丈夫にし身長の伸びを助ける」は男女中学生、男性10代で、「骨粗鬆症を防ぐ成分が含まれている」「腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ」は女性50代で、それぞれ特に高いニーズとなっている。

【図表VII-3-1】性・年代別・地域別 問30(2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳(MA)

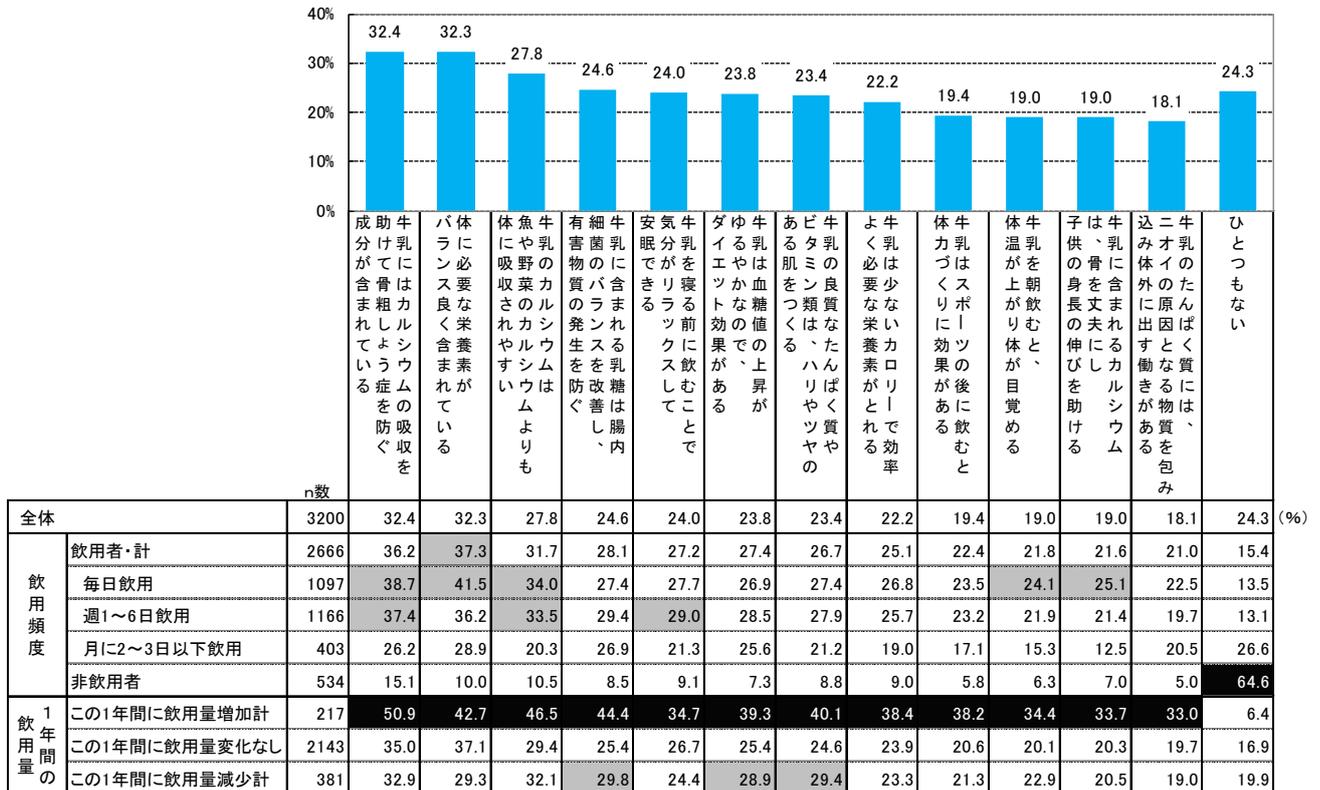


※ 黒塗り = 全体より、10%以上高い      灰色塗り = 全体より、5%以上高い

■「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものについて、飲用行動別にみると、この1年間に白もの牛乳類の飲用量が増えた人では、全ての項目で全体を上回る高い値を示しており、牛乳の持つ長所に高いニーズを示している。全ての項目について飲用頻度が高い人ほどニーズの高さが顕著で、毎日飲用する人では、カルシウム、栄養バランスなどで特にニーズが高くなっている。

■一方、非飲用者では6割以上が「ひとつもない」と回答している。

【図表VII-3-2】飲用行動別 問30(2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳(MA)



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

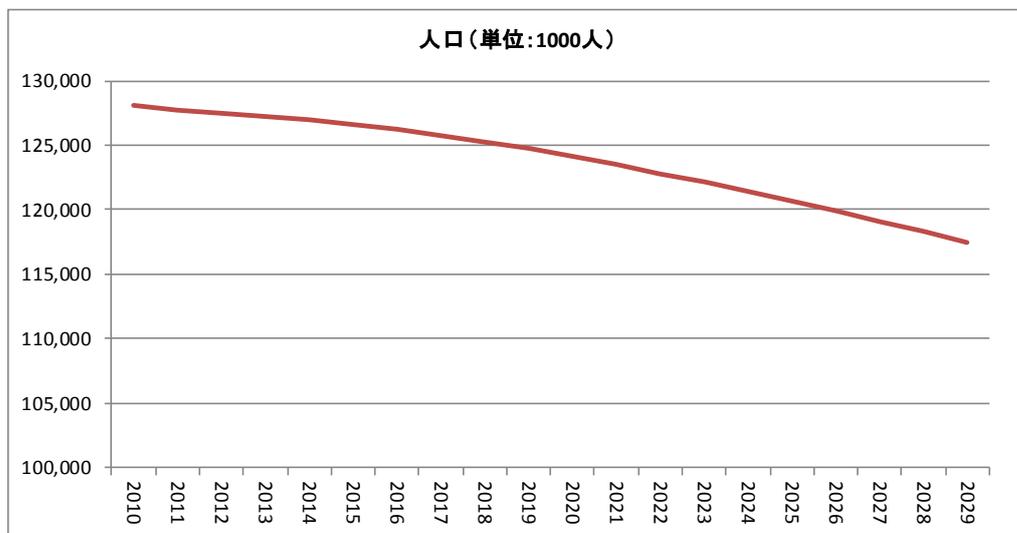
## Ⅷ. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向

### 1. 我が国の人口動向

■我が国の人口は2012年時点で約1億2750万人である。今後、我が国は人口減少が予測され、2020年には約1億2410万人、2012年との比較では▲2.7%となると考えられている。牛乳・乳製品も人口減少の影響から、消費市場の縮小が懸念される。また年代別では0～14歳の割合が減少する一方、65歳以上の高齢者が大きく増加することへの対応が必要である。

■一方、世帯数に関しては、核家族化や晩婚化、高齢者単独世帯の増加などの背景があると考えられ、世帯数は緩やかに増加していき、2020年まで対前年比はプラスとなることが予測される。このことから牛乳・乳製品に関しては、容量の少量化や多品種少量生産などの少人数家族への対応が求められることが考えられる。

【図表Ⅷ-1-1】 我が国の将来人口予測



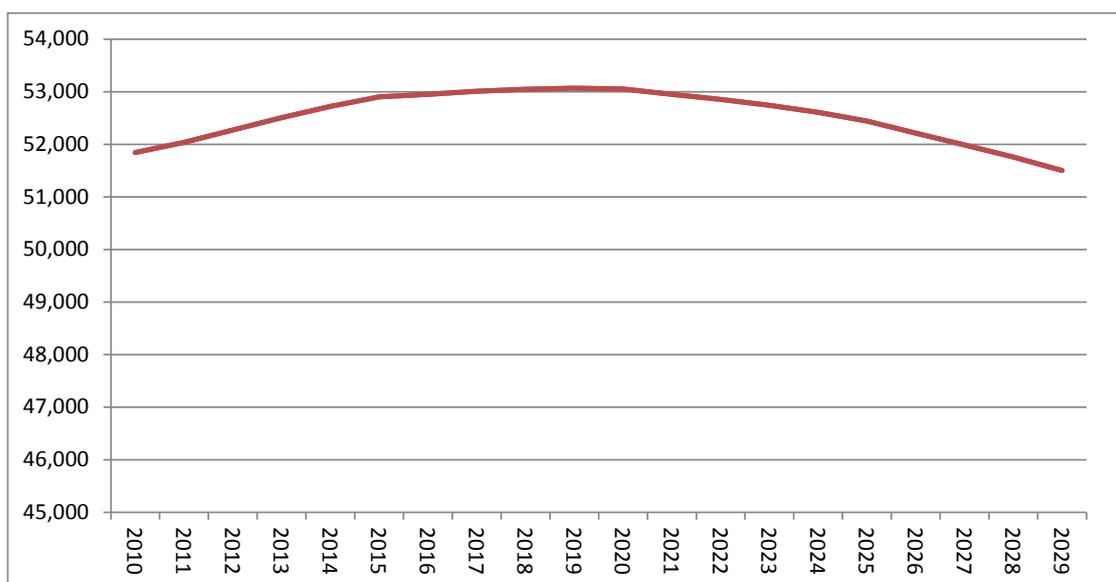
※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

【図表Ⅷ-1-2】 我が国の将来人口予測（詳細）

年次	人口(1,000人)				割合(%)		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 22 (2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23 (2011)	127,753	16,685	81,303	29,764	13.1	63.6	23.3
24 (2012)	127,498	16,493	80,173	30,831	12.9	62.9	24.2
25 (2013)	127,247	16,281	78,996	31,971	12.8	62.1	25.1
26 (2014)	126,949	16,067	77,803	33,080	12.7	61.3	26.1
27 (2015)	126,597	15,827	76,818	33,952	12.5	60.7	26.8
28 (2016)	126,193	15,574	75,979	34,640	12.3	60.2	27.5
29 (2017)	125,739	15,311	75,245	35,182	12.2	59.8	28.0
30 (2018)	125,236	15,056	74,584	35,596	12.0	59.6	28.4
31 (2019)	124,689	14,800	74,011	35,877	11.9	59.4	28.8
32 (2020)	124,100	14,568	73,408	36,124	11.7	59.2	29.1
33 (2021)	123,474	14,318	72,866	36,290	11.6	59.0	29.4
34 (2022)	122,813	14,049	72,408	36,356	11.4	59.0	29.6
35 (2023)	122,122	13,766	71,920	36,436	11.3	58.9	29.8
36 (2024)	121,403	13,505	71,369	36,529	11.1	58.8	30.1
37 (2025)	120,659	13,240	70,845	36,573	11.0	58.7	30.3
38 (2026)	119,891	12,959	70,349	36,584	10.8	58.7	30.5
39 (2027)	119,102	12,706	69,799	36,597	10.7	58.6	30.7
40 (2028)	118,293	12,466	69,187	36,640	10.5	58.5	31.0
41 (2029)	117,465	12,242	68,522	36,701	10.4	58.3	31.2

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

【図表Ⅷ-1-3】我が国の将来世帯数予測



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2013(平成25)年1月推計)

【図表Ⅷ-1-4】我が国の将来世帯数予測 (詳細)

年次	一般世帯数 (1,000世帯)							一般世帯 人員 (1,000人)	平均世帯 人員 (人)
	総数	単独	核 家 族 世 帯				その他		
			総数	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親 と子			
平成 22 (2010)	51,842	16,785	29,278	10,269	14,474	4,535	5,779	125,546	2.42
23 (2011)	52,033	16,923	29,455	10,376	14,457	4,622	5,655	125,218	2.41
24 (2012)	52,271	17,100	29,644	10,510	14,419	4,716	5,527	124,937	2.39
25 (2013)	52,503	17,279	29,824	10,639	14,377	4,808	5,400	124,660	2.37
26 (2014)	52,717	17,460	29,984	10,760	14,327	4,897	5,273	124,340	2.36
27 (2015)	52,904	17,637	30,116	10,861	14,274	4,982	5,150	123,968	2.34
28 (2016)	52,950	17,757	30,148	10,889	14,204	5,055	5,045	123,535	2.33
29 (2017)	53,006	17,895	30,177	10,932	14,113	5,132	4,934	123,051	2.32
30 (2018)	53,046	18,029	30,196	10,972	14,018	5,206	4,821	122,524	2.31
31 (2019)	53,065	18,156	30,202	11,010	13,918	5,274	4,707	121,961	2.30
32 (2020)	53,053	18,270	30,189	11,037	13,814	5,338	4,594	121,356	2.29
33 (2021)	52,949	18,348	30,096	11,013	13,696	5,387	4,505	120,706	2.28
34 (2022)	52,853	18,440	30,000	11,003	13,559	5,437	4,413	120,018	2.27
35 (2023)	52,739	18,524	29,896	10,995	13,418	5,483	4,319	119,307	2.26
36 (2024)	52,606	18,598	29,784	10,987	13,276	5,522	4,223	118,578	2.25
37 (2025)	52,439	18,648	29,664	10,973	13,132	5,558	4,127	117,824	2.25
38 (2026)	52,214	18,664	29,496	10,929	12,988	5,579	4,053	117,039	2.24
39 (2027)	51,989	18,687	29,324	10,891	12,827	5,605	3,979	116,216	2.24
40 (2028)	51,755	18,708	29,145	10,855	12,664	5,626	3,902	115,378	2.23
41 (2029)	51,501	18,716	28,961	10,815	12,500	5,646	3,824	114,522	2.22

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(平成25年1月推計)

## 2. 諸外国の消費動向

■世界の牛乳・乳製品の消費動向を見てみる。米国農務省によると、北米・南米・EU・アジア等の諸外国の牛乳の消費量は、2016年は1億8257万トンとなるものと予測しており、増加傾向は続いており2011年から7.0%増になる。同様にチーズの消費量も2011年⇒2016年で7.0%増、2016年は1822.8万トン、バターは2011年⇒2016年で14.4%増、2016年は934.1万トンの予測となっている。世界的な視点で見ると、牛乳・乳製品の消費量は増加傾向が続いている。

【図表Ⅷ-2-1】世界の牛乳の消費量

※単位:千トン

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
<b>North America</b>						
Canada	3,164	3,040	2,982	2,946	2,946	2,945
Mexico	4,100	4,168	4,160	4,180	4,225	4,240
United States	27,839	27,740	27,334	27,060	26,789	26,521
Sub-total	35,103	34,948	34,476	34,186	33,960	33,706
<b>South America</b>						
Argentina	2,093	2,133	2,065	2,044	2,074	2,105
Brazil	8,355	8,562	9,036	9,660	9,900	10,095
Sub-total	10,448	10,695	11,101	11,704	11,974	12,200
<b>European Union</b>	<b>33,870</b>	<b>33,800</b>	<b>33,800</b>	<b>34,046</b>	<b>34,000</b>	<b>34,000</b>
<b>Former Soviet Union</b>						
Russia	11,650	11,000	10,150	9,825	9,310	9,080
Ukraine	5,442	5,588	5,316	5,538	5,497	5,124
Sub-total	17,092	16,588	15,466	15,363	14,807	14,204
<b>South Asia</b>						
India	51,660	52,000	54,400	57,000	59,750	62,750
<b>Asia</b>						
China	12,600	13,517	14,350	15,111	15,200	15,515
Japan	4,058	4,045	3,975	3,911	3,920	3,900
Sub-total	16,658	17,562	18,325	19,022	19,120	19,415
<b>Oceania</b>						
Australia	2,422	2,511	2,494	2,600	2,700	2,710
New Zealand	300	425	451	495	497	497
Sub-total	2,722	2,936	2,945	3,095	3,197	3,207
<b>TOTAL SELECTED COUNTRIES</b>	<b>167,553</b>	<b>168,529</b>	<b>170,513</b>	<b>174,416</b>	<b>176,808</b>	<b>0</b>

※米国農務省「World Markets and Trade」December 2015、2015年:Preliminary、2016年:Forecast.

【図表Ⅷ-2-2】世界のチーズの消費量

※単位:千トン

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
<b>North America</b>						
Canada	395	400	403	407	417	417
Mexico	344	349	368	369	392	400
United States	4,716	4,786	4,839	4,949	5,105	5,228
Sub-total	5,455	5,535	5,610	5,725	5,914	6,045
<b>South America</b>						
Argentina	514	513	507	510	521	525
Brazil	715	724	750	754	769	783
Sub-total	1,229	1,237	1,257	1,264	1,290	1,308
<b>European Union</b>	<b>8,374</b>	<b>8,597</b>	<b>8,656</b>	<b>8,816</b>	<b>8,936</b>	<b>8,936</b>
<b>Former Soviet Union</b>						
Russia	1,143	1,214	1,157	1,058	1,050	1,055
Ukraine	117	94	91	98	96	100
Sub-total	1,260	1,308	1,248	1,156	1,146	1,155
<b>Asia</b>						
Japan	260	282	285	278	287	292
Korea	101	101	107	118	130	137
Sub-total	361	383	392	396	417	429
<b>Oceania</b>						
Australia	256	240	220	239	244	244
New Zealand	30	39	39	40	40	40
Sub-total	286	279	259	279	284	284
<b>TOTAL SELECTED COUNTRIES</b>	<b>16,965</b>	<b>17,339</b>	<b>17,422</b>	<b>17,636</b>	<b>17,987</b>	<b>18,157</b>

※米国農務省「World Markets and Trade」December 2015、2015年:Preliminary、2016年:Forecast.

【図表VIII-2-3】世界のバター消費量

※単位:千トン

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
<b>North America</b>						
Canada	97	99	102	98	101	101
Mexico	223	226	234	221	230	229
United States	757	792	782	782	854	854
Sub-total	1,077	1,117	1,118	1,101	1,185	1,184
<b>South America</b>						
Argentina	35	38	41	41	43	44
Brazil	78	88	87	80	88	87
Sub-total	113	126	128	121	131	131
<b>European Union</b>	<b>1,982</b>	<b>2,027</b>	<b>2,031</b>	<b>2,162</b>	<b>2,105</b>	<b>2,110</b>
<b>Former Soviet Union</b>						
Russia	334	340	357	365	365	362
Ukraine	78	96	100	116	96	95
Sub-total	412	436	457	481	461	457
<b>Asia</b>						
India	4,320	4,525	4,735	4,876	5,026	5,190
Japan	83	77	72	75	77	77
Taiwan	20	20	19	22	26	28
Sub-total	4,423	4,622	4,826	4,973	5,129	5,295
<b>Oceania</b>						
Australia	78	82	85	87	95	98
New Zealand	20	21	22	22	22	
Sub-total	98	103	107	109	117	98
<b>TOTAL SELECTED COUNTRIES</b>	<b>8,105</b>	<b>8,431</b>	<b>8,667</b>	<b>8,947</b>	<b>9,128</b>	<b>9,275</b>

※米国農務省「World Markets and Trade」December 2015、2015年:Preliminary、2016年:Forecast.

■1人あたりの牛乳・乳製品の供給量を見ると（国際連合のデータベース「FAOSTAT」）、全世界では増加の傾向が見られる。ただし、日本では、特に牛乳・チーズの供給量が減少傾向にあり、今後、人口減少・少子高齢化が進行することが予想される中、さらに減少するものと思われる。

【図表VIII-2-4】世界の牛乳・チーズ・バター、1人1日あたりの供給量

牛乳 ※単位:グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	136.32	136.60	136.22	138.15	136.39	133.14	131.04	132.57	134.00	127.00	100.0
World + (Total)	122.79	124.26	121.48	124.14	127.99	130.13	131.99	137.29	137.00	139.00	109.4
Europe + (Total)	260.18	258.05	256.62	254.25	256.76	260.98	247.71	254.62	245.00	250.00	196.9
European Union + (Total)	228.05	223.71	232.75	224.09	225.35	221.60	212.02	213.83	214.00	208.00	163.8
Americas + (Total)	265.75	276.97	259.89	259.49	269.30	262.84	262.49	280.04	267.00	270.00	212.6
Asia + (Total)	74.31	74.46	74.23	79.14	83.36	87.97	93.06	96.49	99.00	101.00	79.5
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	89.46	90.81	92.55	94.45	93.71	93.42	99.29	101.93	117.00	118.00	92.9

チーズ ※単位:グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	7.13	6.99	7.00	6.80	7.34	7.14	7.09	7.49	7.00	7.00	100.0
World + (Total)	7.32	7.47	7.54	7.56	7.61	7.70	7.69	7.77	8.00	8.00	114.3
Europe + (Total)	30.47	32.05	32.73	33.16	33.62	34.58	35.24	36.16	36.00	36.00	514.3
European Union + (Total)	41.40	42.75	43.14	43.05	43.39	44.11	44.90	45.85	45.00	45.00	642.9
Americas + (Total)	18.55	18.57	18.55	18.40	18.45	18.50	18.25	18.43	19.00	19.00	271.4
Asia + (Total)	1.08	1.07	1.07	1.07	1.19	1.21	1.19	1.22	1.00	1.00	14.3
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.40	2.37	2.49	2.74	2.58	2.54	2.53	2.64	3.00	3.00	42.9

バター ※単位:グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	1.90	1.73	1.88	2.00	1.86	1.93	1.83	1.92	2.00	2.00	100.0
World + (Total)	3.28	3.36	3.45	3.50	3.52	3.55	3.61	3.60	4.00	4.00	200.0
Europe + (Total)	9.65	9.71	9.75	9.91	9.44	9.35	9.76	9.41	9.00	9.00	450.0
European Union + (Total)	11.46	11.21	11.14	11.18	10.93	10.88	11.23	10.81	10.00	10.00	500.0
Americas + (Total)	3.04	3.03	3.08	3.08	3.20	3.07	3.01	3.00	3.00	3.00	150.0
Asia + (Total)	2.50	2.66	2.81	2.86	3.00	3.09	3.16	3.25	3.00	3.00	150.0
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.18	2.13	2.18	2.22	2.18	2.23	2.17	2.17	2.00	2.00	100.0

※項目: Food supply quantity (単位: grams/capita/day) ※出典: FAOSTAT | C FAO Statistics Division

**調查票、參考資料**

■ ■ ■ ご記入にあたって ■ ■ ■

1. 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に(1つだけ○印)とあれば「1つだけ」、(いくつでも○印)とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
2. 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、( )内に具体的な内容をご記入ください。
3. ほとんどの質問が回答を選んでもいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
4. 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)や【 】の指示に従ってお進みください。

■ ■ ■ 白もの牛乳類(注)についてお聞きします。 ■ ■ ■

(注)ここでいう白もの牛乳類とは、生乳100%の普通の牛乳や、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、機能強化牛乳(カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの)などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含みません。

【全ての方に】

問1 あなたは、日頃、どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル(オートミール、コーンフレーク等)にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。  
ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。(1つだけ○印)

- |               |             |             |             |             |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 毎日飲む       | 2. 週に5~6日飲む | 3. 週に3~4日飲む | 4. 週に1~2日飲む | 5. 月に2~3日飲む |
| 6. それ以下しか飲まない | 7. 全く飲まない   |             |             |             |

■ ■ ■ 白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします。 ■ ■ ■

【全ての方に】

問2 あなたは、日頃、どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。  
コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。  
ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含めます。

		そのまま飲む						
		毎日飲む	5週 以内に 6日 飲む	3週 以内に 4日 飲む	1週 以内に 2日 飲む	2月 以内に 3日 飲む	飲ま れな い下 しか	全 く飲 まな い
	(それぞれ1つずつ○印) →							
ア)	夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ)	冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ)	年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

【全ての方に】

問3 では、あなたは、日頃、どの程度白もの牛乳類をコーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

		他のものと混ぜて飲む						
		毎日飲む	5週 以内に 6日 飲む	3週 以内に 4日 飲む	1週 以内に 2日 飲む	2月 以内に 3日 飲む	飲ま れな い下 しか	全 く飲 まな い
	(それぞれ1つずつ○印) →							
ア)	夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ)	冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ)	年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

白もの牛乳類を全く飲まない方(問1で「7」とお答えの方)は、問7にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。  
夏場、冬場、年間平均でお知らせください。  
コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

		1日に白もの牛乳類を飲む量							
		50 ml 未 満	50 ml く ら い	100 ml (牛 乳 ビ ン 半 分 )	200 ml (牛 乳 ビ ン 1 本 )	400 ml (牛 乳 ビ ン 2 本 )	600 ml (牛 乳 ビ ン 3 本 )	800 ml (牛 乳 ビ ン 4 本 )	1 ℓ (牛 乳 ビ ン 5 本 ) 以 上
ア)	夏場は	1	2	3	4	5	6	7	8
イ)	冬場は	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ)	年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7	8

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問5 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。  
(いくつでも○印)

1. 朝、起きぬげに	7. おやつや、間食時	13. 勉強や仕事をしながら
2. 朝食をとりながら	8. 夜食時	14. レジャーやスポーツ時
3. 朝食後	9. 風呂上り	15. くつろいでいる時
4. 朝食代わりに	10. 夜寝る前	16. 乗り物での移動中
5. 昼食時	11. のどが潤いた時	17. 来客時
6. 夕食時	12. ちょっとおながすいた時	18. その他( )

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問6 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1. おいしいから	12. 良質のタンパク質があるから
2. 好きだから	13. 美容によいから
3. 栄養があるから	14. 便秘に効果があるから
4. カルシウムがあるから	15. 健康によいから
5. 朝食など食事代わりに	16. ぐっすり眠るために
6. 水などの代わりに	17. 気持ちをリラックスさせるために
7. 他のものと混ぜたり、他のものにかけてりするため	18. 背が高くなりたいから
8. 習慣で	19. 医師など医療関係者がすすめるから
9. いつも家にあるから	20. 他の飲み物に比べて安いから
10. 家族がすすめるから	21. その他( )
11. 骨粗しょう症が心配だから	

■■■この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問7 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(ア)そのまま飲む場合、(イ)混ぜて飲む場合、(ウ)全体では、それぞれについてお知らせください。

		非飲 むに 量 増 が え た	や飲 む 増 量 が え た	変 わ ら な い	や飲 む 減 量 つ が た	非飲 むに 量 減 が つ た	飲こ まの な1 く年 な位 つで た全 く	飲牛 ま乳 なは いも とも と
		ア)	そのまま飲む場合	1	2	3	4	5
イ)	混ぜて飲む場合	1	2	3	4	5	6	7
ウ)	全体では	1	2	3	4	5	6	7

問9へ

問8へ

問7の(ウ)で「1」「2」「3」とお答えの方  
全体では「飲む量が非常に増えた」「  
飲む量がやや増えた」「変わらない」  
方  
⇒問9へ

問7の(ウ)で「4」「5」「6」「7」とお答え  
の方  
全体では「飲む量がやや減った」「飲む  
量が非常に減った」「この1年くらいで  
全く飲まなくなった」「牛乳はもともと飲  
まない」方  
⇒問8へ

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方（問7の(ウ)で4、5、6、7」とお答えの方)に】

問8 次のア)～ソ)のことからは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

		あてはまる	ややあてはまる	いどちらもないとも	あてはまらない	あてはまらない
(それぞれ1つずつ○印)						
ア)	牛乳は味にクセがあるから	1	2	3	4	5
イ)	牛乳のニオイが嫌いだから	1	2	3	4	5
ウ)	牛乳は飲んだあと口に残るから	1	2	3	4	5
エ)	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなるから	1	2	3	4	5
オ)	牛乳を飲むと太ると思うから	1	2	3	4	5
カ)	牛乳はコレステロールが気になるから	1	2	3	4	5
キ)	牛乳は日持ちしないから	1	2	3	4	5
ク)	牛乳は持ち歩けないから	1	2	3	4	5
ケ)	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がないから	1	2	3	4	5
コ)	飲みたい牛乳がないから	1	2	3	4	5
サ)	牛乳が体によくないという情報を本などで得たから	1	2	3	4	5
シ)	医者に言われたから	1	2	3	4	5
ス)	牛乳アレルギーがあるから	1	2	3	4	5
セ)	価格が高くなったため牛乳を買い控えるようになったから	1	2	3	4	5
ソ)	いつもの年より夏が暑かったから	1	2	3	4	5

【全ての方に】

問9 あなたは、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思いますか。「1 とても飲みたい」から「5 全く飲みたいくない」までの数字の中から1つお選びください。(1つだけ○印)

1. とても飲みたい	2. まあ飲みたい	3. どちらともいえない	4. あまり飲みたいくない	5. 全く飲みたいくない
------------	-----------	--------------	---------------	--------------

■■■白もの牛乳類の購入についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問10 お宅では、ふだん白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。(1つだけ○印)

1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回	3. 週に1回	4. 2週間に1回	5. 月に1回
6. ほとんど買わない	7. わからない			

【全ての方に】

問11 お宅では、平均すると1週間に白もの牛乳類をどのくらい購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。下記の記入例に従い、リットルを単位として小数点以下1位までお答えください。なお、白もの牛乳類を全く買わない場合は「0」とお書きください。わからない場合は、「\*わからない」をお選びください。

<記入例>

1週間に1リットルパックを2本と200ml瓶を3本買っている場合(100mlは0.1リットルです)

約  .  リットル

1週間に購入する量の合計 → 約   .  リットル \*わからない

【全ての方に】

問12 お宅では、ふだんあなたが白もの牛乳類を購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。  
(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他( )
-----------	------------------	-----------

⇒ 「1 自分(本人)」を選んだ方は問13へ

⇒ 「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問16へ

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問13 では、この1年くらいの間に、あなたの白もの牛乳の「買い方」は変わりましたか。(1つだけ○印)

1. 購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	4. 牛乳以外の飲み物を購入し、代用するようになった
2. 牛乳を購入する頻度を減らした	5. これまでと変わらない
3. 1回に購入する牛乳の量を減らした	6. いずれもあてはまらない

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問14 あなたがふだん主に購入している白もの牛乳は、次のどれですか。(1つだけ○印)

1. 生乳100%の普通の牛乳	⇒問16へ	2. 成分調整牛乳	⇒問15へ
3. 低脂肪牛乳	⇒問15へ	4. その他の白もの牛乳	⇒問16へ

【問14で「2 成分調整牛乳」または「3 低脂肪牛乳」とお答えの方に】

問15 あなたはどのような理由で成分調整牛乳または低脂肪牛乳を購入していますか。  
次のア)~エ)のそれぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

(それぞれ1つずつ○印) →		あてはまる	ややあてはまる	いどちらもない	あてはまらない	あてはまらない
		1	2	3	4	5
ア)	普通牛乳よりも価格が安いので	1	2	3	4	5
イ)	味が普通牛乳よりも好みなため	1	2	3	4	5
ウ)	普通牛乳より脂肪分が少なく体に良さそうなので	1	2	3	4	5
エ)	値段の割には普通牛乳と変わらないので	1	2	3	4	5

■ ■ ■ ふだんよく飲む飲み物についてお聞きします。 ■ ■ ■

【全ての方に】

問16 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)

問17 では、あなたは、問16でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印)

		↓	問16 ふだんよく飲む (いくつでも○印)	問17 最もよく飲む (1つだけ○印)
ア)	白もの牛乳類		1	1
イ)	色もの乳飲料(いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ミルクココアなど)		2	2
ウ)	ドリンクヨーグルト		3	3
エ)	乳酸菌飲料(ヤクルトなど)		4	4
オ)	果汁飲料		5	5
カ)	野菜ジュース		6	6
キ)	豆乳		7	7
ク)	炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)		8	8
ケ)	コーヒー(コーヒー飲料も含む)		9	9
コ)	紅茶(紅茶飲料も含む)		10	10
サ)	無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)		11	11
シ)	スポーツ飲料(ポカリスエットなど)		12	12
ス)	栄養・機能性飲料(アミノ式・アミノサプリなど)		13	13
セ)	ミネラルウォーター		14	14
ソ)	この中にはない		15	-

**■■■牛乳を使った料理（デザートやお菓子を含む）についてお聞きします。■■■**

【全ての方に】

問18 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理（デザートやお菓子を含む）をしましたか。（1つだけ○印）

1. した ⇒問18-1へ	2. しなかった ⇒問19へ
---------------	----------------

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回
------------------------	---	----------------------	----------------------	---

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも○印）

1. シチュー	5. オムレツ、オムライス	9. ケーキ	13. プリン
2. スープ、ポタージュ	6. ハンバーグ	10. パン	14. ゼリー
3. グラタン	7. フレンチトースト	11. 手作りヨーグルト	15. 杏仁豆腐
4. カレー	8. ホットケーキ	12. 牛乳寒天	16. その他( )

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-3 この1ヶ月間にあなたが料理（デザートやお菓子を含む）に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。（1つだけ○印）

1. 小さじ1杯くらい(5ml)	2. 大さじ1杯(15ml)	3. 4分の1カップ(50ml)	4. 2分の1カップ(100ml)
5. 1カップ(200ml)	6. 2カップ(400ml)	7. 500ml	8. 1ℓ以上

**■■■ヨーグルトについてお聞きします。■■■**

【全ての方に】

問19 あなたは、日頃どの程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。（1つだけ○印）

1. 毎日食べる/飲む	2. 週に5～6日食べる/飲む	3. 週に3～4日食べる/飲む
4. 週に1～2日食べる/飲む	5. 月に2～3日食べる/飲む	6. それ以下しか食べない/飲まない
7. 全く食べない/飲まない	⇒問22へ	

【ヨーグルトを食べる/飲む方（問19で「1～6」とお答えの方）に】

問20 あなたが、ヨーグルトを食べる（飲む）ときは、1日に合計でどのくらいの量（食べる量＋飲む量）になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。（1つだけ○印）

1. 50g未満	2. 50gくらい	3. 100gくらい	4. 150gくらい	5. 200gくらい
6. 250gくらい	7. 300gくらい	8. 400g以上		

【ヨーグルトを食べる/飲む方（問19で「1～6」とお答えの方）に】

問21 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。（いくつでも○印）

1. プレーンヨーグルト(無糖)	4. ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	7. その他( )
2. 加糖のヨーグルト	5. 手作りヨーグルト(カスピ海ヨーグルト等)	
3. 果肉フルーツ入りのヨーグルト	6. フローズンヨーグルト	

**■■■チーズについてお聞きします。■■■**

【全ての方に】

問22 あなたは、日頃どの程度チーズを食べていますか。（1つだけ○印）

1. 毎日食べる	2. 週に5～6日食べる	3. 週に3～4日食べる
4. 週に1～2日食べる	5. 月に2～3日食べる	6. それ以下しか食べない
7. 全く食べない	⇒問24へ	

【チーズを食べる方（問22で「1～6」とお答えの方）に】

問23 あなたは、チーズを食べるときは、1日に合計でどのくらいの量になりますか。市販のスライスチーズ1枚が約20gです。（1つだけ○印）

1. 10g未満	2. 10gくらい	3. 20gくらい	4. 30gくらい	5. 40gくらい
6. 50gくらい	7. 60gくらい	8. 70g以上		

【全ての方に】

問24 あなたは、この1ヶ月間にチーズ料理を食べましたか。(1つだけ○印)

1. 食べた	⇒問24-1へ	2. 食べなかった	⇒問25へ
--------	---------	-----------	-------

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問24-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回
--------------------	---	----------------------	----------------------	---

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問24-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. ピザ	4. ハンバーグ	7. サラダ	10. ケーキ
2. グラタン	5. シチュー	8. サンドウィッチ	11. その他( )
3. パスタ	6. カレー	9. パン	

【全ての方に】

問25 お宅では、ふだんあなたがチーズを購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他( )
-----------	------------------	-----------

⇒「1 自分(本人)」を選んだ方は問26-1へ

⇒「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問30へ

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方に)に】

問26-1 あなたは、どのようなタイプのチーズを購入しますか。(いくつでも○印)

1. ブロックタイプ(固形)	4. ダイスチーズ(サイコロ状)	7. その他( )
2. スライスチーズ(薄切りタイプ)	5. 粉チーズ	
3. シュレッドチーズ(細かく切ったタイプ)	6. クリームチーズ	

問26-2 あなたは、「ナチュラルチーズ」「プロセスチーズ」の違いについて、ご存じですか。(1つだけ○印)

※「ナチュラルチーズ」とは、加熱処理を加えず、チーズ中にある乳酸菌や酵素、熟成目的に添加したカビ等がそのまま残っているチーズです。一方、「プロセスチーズ」は、数種類のチーズを混合し、加熱溶解し、殺菌した後に成型したものです。

1. 知っている	2. 何となく知っている	3. 知らなかった
----------	--------------	-----------

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方に)に】

問27 あなたが購入するチーズは、ナチュラルチーズですか、プロセスチーズですか。(1つだけ○印)

1. ほとんどナチュラルチーズ(8割以上)	4. ほとんどプロセスチーズ(8割以上)
2. ナチュラルチーズが多い(6~7割)	5. プロセスチーズが多い(6~7割)
3. 半々くらい	6. わからない

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方に)に】

問28 あなたは、普段チーズを購入する時にどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

1. 国産のチーズを購入するようにしている	*その理由 ( )
2. 外国産のチーズを購入するようにしている	
3. 生産国は意識していない	
4. その他( )	

【国産のチーズを購入するようにしている方(問28で「1」とお答えの方に)に】

問28-1 あなたは、国産のチーズを購入するときにどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

1. 大手メーカーの製品を購入するようにしている	*その理由 ( )
2. 小さな工房の製品を購入するようにしている	
3. メーカーの規模は意識していない	
4. その他( )	

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方に)に】

問29 あなたは、ふだんチーズをどこで購入していますか。(いくつでも○印)

1. スーパー	3. デパート	5. 宅配・通信販売・ネットスーパー
2. コンビニエンスストア	4. ディスカウントストアなどの店	6. その他( )

■■■健康や食生活についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問30 次にあげる白もの牛乳類に関することがらについて、(1)、(2)にあてはまるものをすべてお答えください。

- (1) あなたが、この半年くらいの間に、テレビや新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたものはどれですか。(いくつでも○印)  
 (2) あなたが、「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでよい」と思うものはどれですか。(いくつでも○印)

	↓	(1) この半年位の間に 見たり、聞いたり したもの (いくつでも○印)	(2) 「そういうよいこと があるなら飲んで よい」と 思うもの (いくつでも○印)
ア) 牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている		1	1
イ) 牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める		2	2
ウ) 牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある		3	3
エ) 牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる		4	4
オ) 牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長を助ける		5	5
カ) 牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある		6	6
キ) 牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる		7	7
ク) 牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる		8	8
ケ) 牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ		9	9
コ) 牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある		10	10
サ) 牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい		11	11
シ) 牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている		12	12
ス) ひとつもない		13	13

■■■バターについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問31 お宅では、ふだんバターをどのくらいの頻度で購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。(1つだけ○印)

1. 週に1回位	2. 2週間に1回位	3. 月に1回位	4. 数か月に1回位	5. ほとんど買わない
6. 買わない/食べない	⇒F1へ		7. わからない	⇒F1へ

【バターを購入するようにしている方(問31で「1~5」とお答えの方)に】

問32 お宅では、バターを購入するときどのようなことを意識していますか。(いくつでも○印)

1. バターを製造するメーカー	2. バターの大きさや量	3. パッケージ、デザイン
4. バターの形状(ブロックか切れているかなど)	5. バターの価格	6. 食塩を使用しているか、無塩か
7. その他( )		

問33 お宅では、バターをどのようにお使いですか。(いくつでも○印)

1. パンに塗る	2. 料理に使う
3. お菓子作りに使う	4. パン作りに使う
5. その他( )	

問34 あなたは、バターについてどのように思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. おいしい	2. 高級感がある	3. 香りが良い
4. 風味が増す	5. 健康に良い	6. 健康に良くない
7. その他( )		

問35 お宅にバターがないときに、バターの代わりに使うものはありますか。使うものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. マーガリン	2. ヨーグルト
3. オリーブオイル	4. その他( )
5. バター以外使わない	

